BRAVIA Signage

ヘルプ

©2018,2019,2020,2021,2022,2023 Sony Corporation

目次

1. 概要 3
2. 基本的な操作方法 4
    画面の構成について 4
    スケジュール配信画面 6
    登録されている配信スケジュールの変更方法 12
    即時配信画面 18
    プレイリスト画面 23
    コンテンツライブラリ画面 32
    コンテンツ作成画面 38
    ディスプレイ管理画面 43
    イベントログ画面 58
    設定画面 61
3. 進んだ使い方と運用上の注意事項 64
    スケジュール管理(応用編) 64
    プレイリストのダウンロード運用 68
    コンテンツライブラリの設定 75
    複数のタイムゾーンでの配信スケジュールの運用 77
    メールでのレポーティング 80
Appendix I. プレイリストのダウンロード仕様 83
    ダウンロードの対象となるプレイリストについて 83
    ダウンロードの実行開始条件について 84
    情報更新時の動作について 85
    ダウンロードが完了してないコンテンツの再生方法 85
    そのほか注意事項 85
Appendix II. サイトマップファイル仕様 86
    サイトマップファイルのパス名 86
    サイトマップで定義されるのタグ名 86
    サイトマップファイルのサンプル 88
    そのほか 88
Appendix III. イベントログ一覧 89
Appendix IV. config.txt 仕様 92
    ファイル形式 92
    設定値仕様 93
    config.txt のサンプル 94
Appendix V. m3u8 ファイルについて 95

1. 概要

再生で利用するコンテンツやプレイリスト、再生/電源のスケジュールなど、サイネージの運用に関する設定は管理 Web アプリから行います。 管理 Web アプリは以下のような複数の画面があり、以下のような機能を提供しています。

- **[スケジュール配信] 画面**
  - ディスプレイのグループごとに、日付または曜日、時刻を指定し、再生や電源のスケジュールを登録し管理することができます。登録したスケジュールをディスプレイに配信することで、そのスケジュールとおりにディスプレイが動作します。
  - 再生スケジュールでは、日付または曜日、開始時刻と終了時刻、再生するプレイリストを指定することができます。
  - 電源スケジュールでは、日付または曜日、電源オンとオフの時刻を指定することができます。また終日電源オフする場合の指定もできます。
- **[即時配信] 画面**
  - スケジュール配信だけでなく非常時や非定期にコンテンツを配信することができます。
  - あらかじめプレイリストと配信対象のグループを指定し配信情報を準備しておき、配信時に開始をすることで配信をすることができます。
- **[プレイリスト] 画面**
  - コンテンツライブラリ画面で登録したコンテンツまたはウェブの URL を指定しプレイリストを作成することができます。プレイリストとは、動画や静止画、HTML コンテンツについて、再生する順番をリスト化したものです。たとえば、動画 A、静止画 B、動画 C を順番に再生したい場合、動画 A, 静止画 B, 動画 C を順番に並べたものがプレイリストです。
  - プレイリストのコンテンツには、動画、静止画、HTML を指定することができ、各々再生時間を指定することができます。
  - 通常プレイリストに指定されたコンテンツは、ディスプレイにストリーミング配信され再生されますが、プレイリストのダウンロードの設定を有効にすることで、ディスプレイに接続した USB メモリーにコンテンツをダウンロードし再生することができます。
- **[コンテンツライブラリ] 画面**
  - プレイリストに指定するコンテンツを登録し、コンテンツの一覧表示、コンテンツ名の変更、フォルダ管理などコンテンツを管理することができます。
- **[コンテンツ作成] 画面**
  - レイアウトと素材を指定することで、そのレイアウトに沿ったコンテンツを作成することができます。動画、静止画、HTML、BRAVIA の外部入力を素材として指定することができます。
- **[ディスプレイ管理] 画面**
  - ディスプレイの情報 (ディスプレイ名、IP アドレス、MAC アドレス、モデル名、ファームウェアのバージョンなど) や稼働状態 (電源オン、電源オフ、オフライン、エラーなど) やグループを表示、管理することができます。ディスプレイはグループという単位で管理され、またスケジュールや即時配信はグループごとに登録、管理されます。
  - ディスプレイの電源オン/オフや再起動を、ネットワーク経由で実行することができます。
- **[イベントログ] 画面**
  - ディスプレイの稼働状態やプレイリストの再生結果などの運用時の実行履歴が表示されます。
- **[設定] 画面**
  - 上記の機能やそのほかサイネージ運用に関する設定の管理画面です。

2. 基本的な操作方法

ここでは、管理 Web アプリの画面の基本的な表示内容や操作方法について説明します。

画面の構成について

管理 Web アプリは以下のような要素で構成されています。

(A) 画面上部

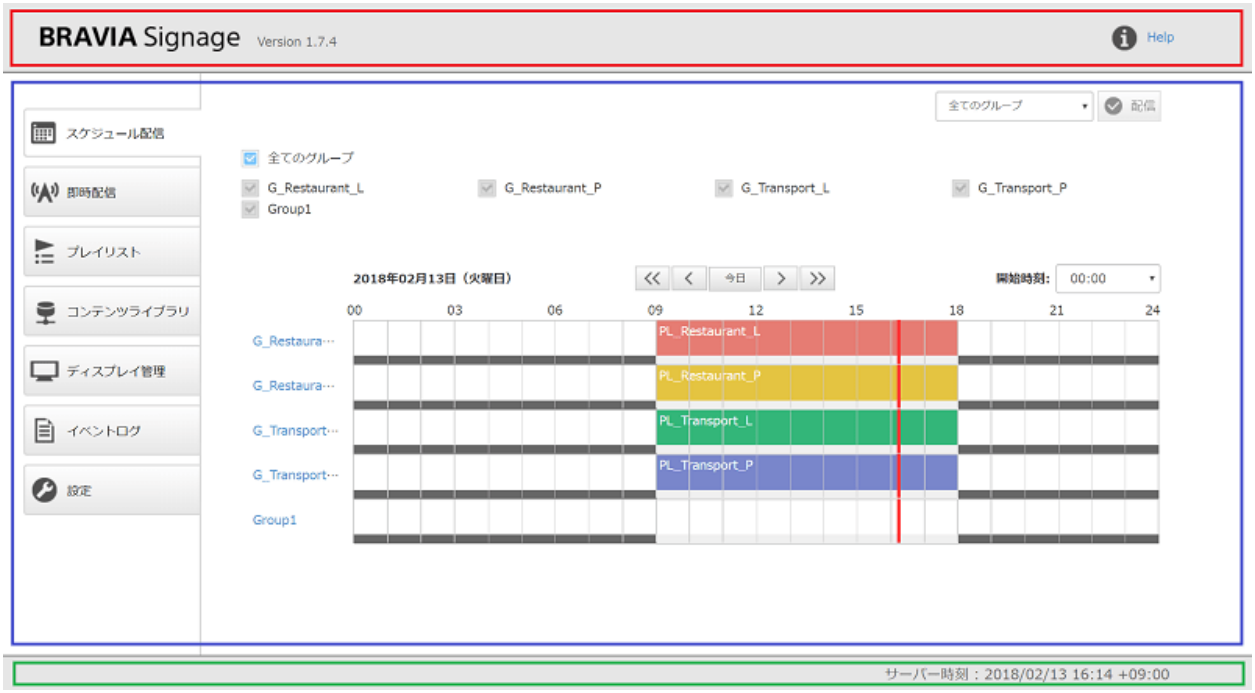
- **BRAVIA Signage Server のバージョン:** 画面左側に BRAVIA Signage Server のバージョンが表示されます。
- **i アイコン:** 画面右側の i アイコンをマウスオーバするとサーバ PC のネットワークアダプタ名と IP アドレス (IPv4 のみ) が表示されます。有線 LAN および無線 LAN など複数 IP アドレスが割り当てられている場合については複数表示されます。
- **Help:** 画面右側の [Help] をクリックすると、本ドキュメントが表示されます。

(B) 画面中央部

- **メニュータブ:** 左側に画面選択のメニュータブが表示されます。
- **操作エリア:** 選択されたメニューに応じて右側に操作画面が表示されます。

(C) 画面下部

- **サーバ時刻:** BRAVIA Signage Server が稼働している PC に設定されている時刻が表示されます。配信スケジュールや電源スケジュールなど、BRAVIA Signage Player はこの時刻に基づいて動作します。



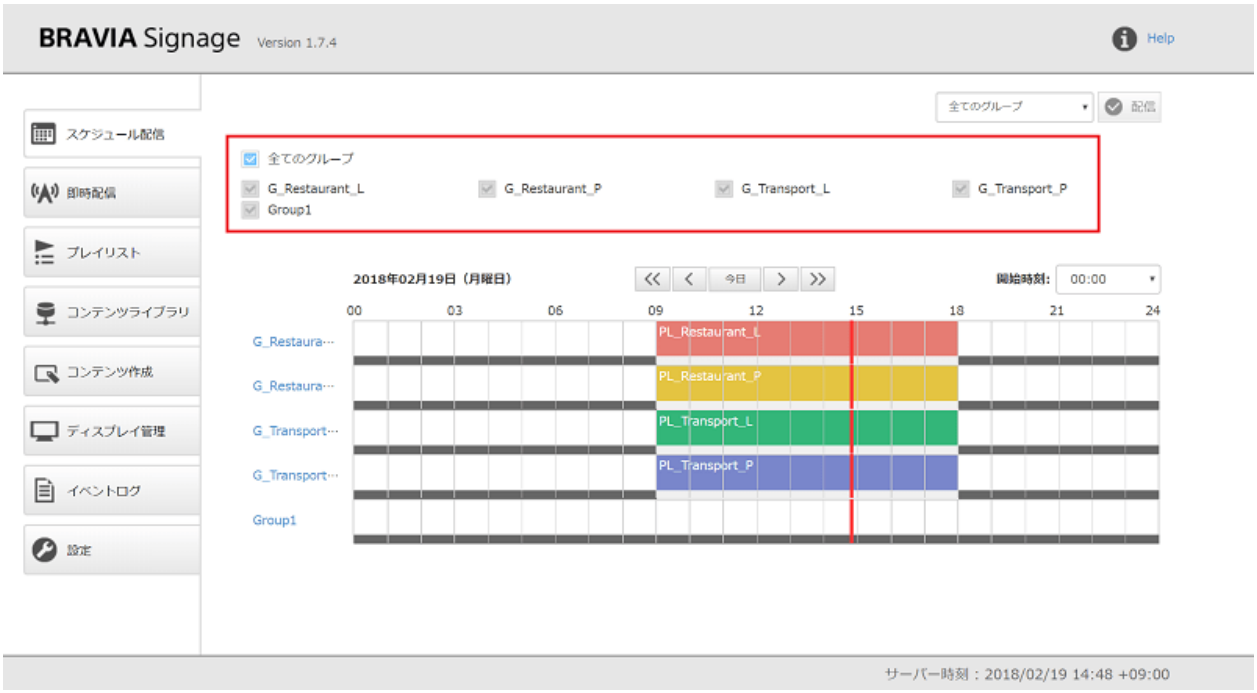
以降では主に [操作エリア] の説明を行います。なお画面の説明において、画面左上の BRAVIA Sigange Server のバージョン表記がお使いのバージョンと異なる場合がありますが、表示内容や操作方法は同様です

スケジュール配信画面

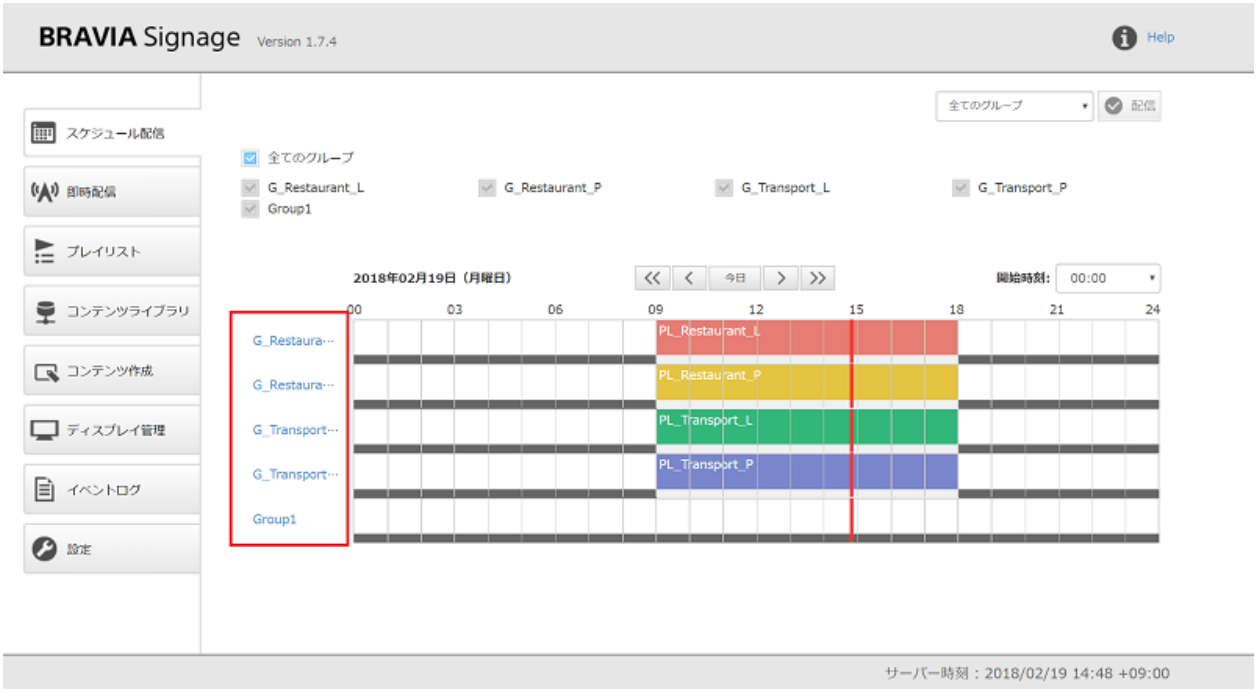
本画面では、配信スケジュールおよび電源スケジュールを登録し管理することができます。ここでは画面上の操作方法について説明します。なおスケジュール登録において、曜日でなく日付を指定してスケジュールを登録、また 24:00 以降の時刻を指定することができますが、これら応用的な利用方法に関する動作や注意事項については、スケジュール管理(応用編) を参照ください。

[スケジュール配信] 画面の見方について

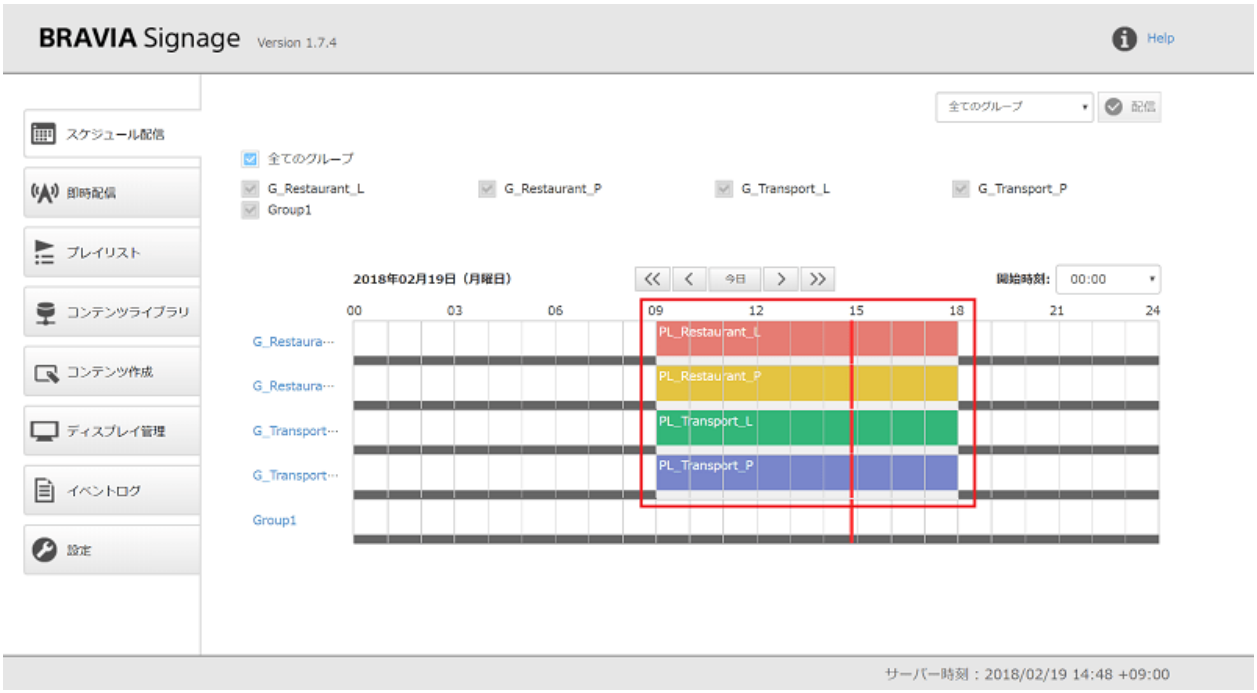
- 画面上部には [ディスプレイ管理] 画面で登録されているグループが表示されます。チェックしたグループの配信スケジュールおよび電源スケジュールが画面上に表示されます。



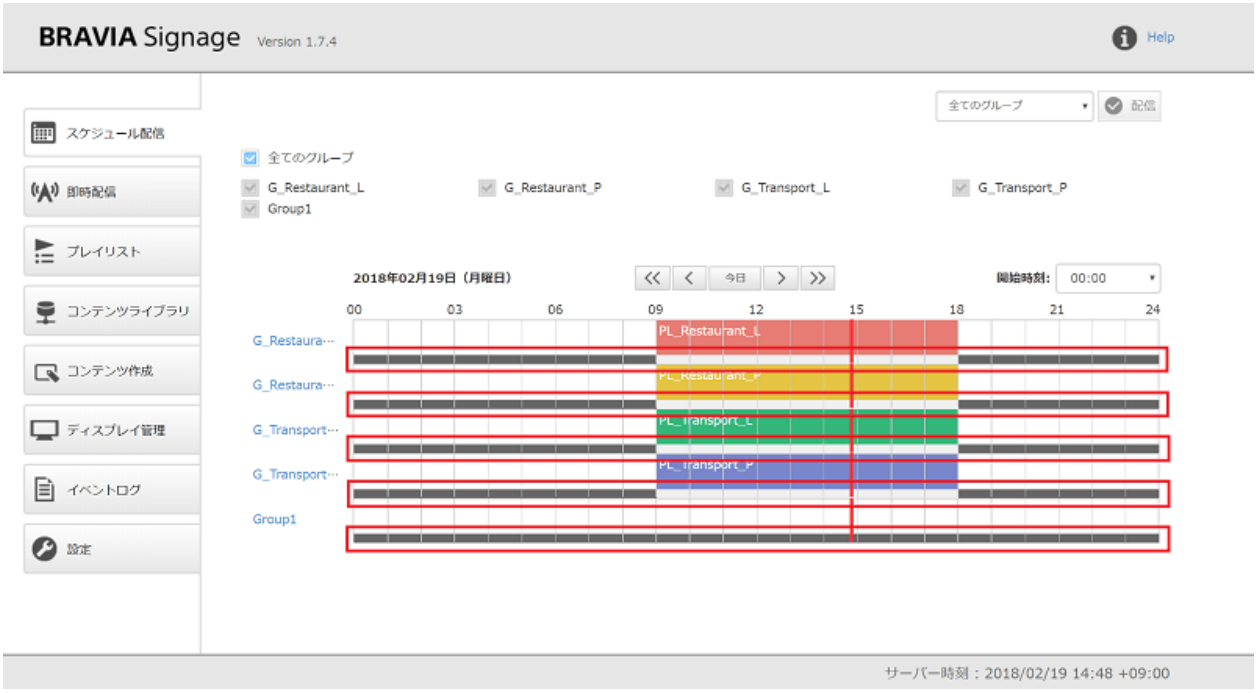
- スケジュールの情報はグループごとに表示されます。スケジューラの左側にグループ名が表示されます。



- 登録した配信スケジュールの情報は、プレイリスト名と 24 色の背景色の組み合わせで表示されます。また登録されたスケジュール上をマウスオーバーすると、登録した情報の詳細が表示されます。



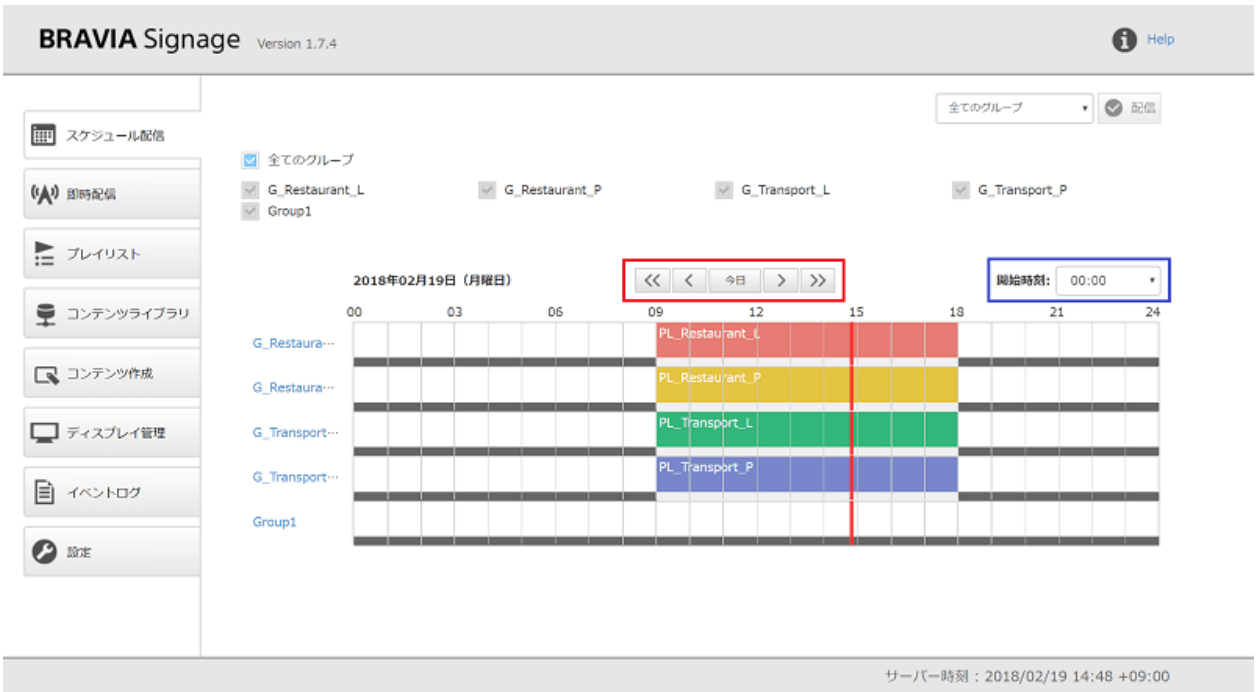
- 配信スケジュールと合わせ、スケジューラの下部分に電源スケジュールが灰色で表示されます。薄い灰色が “電源オン期間” を表し、濃い灰色が “電源オフ期間” を表しています。



スケジュール情報の表示の切替方法

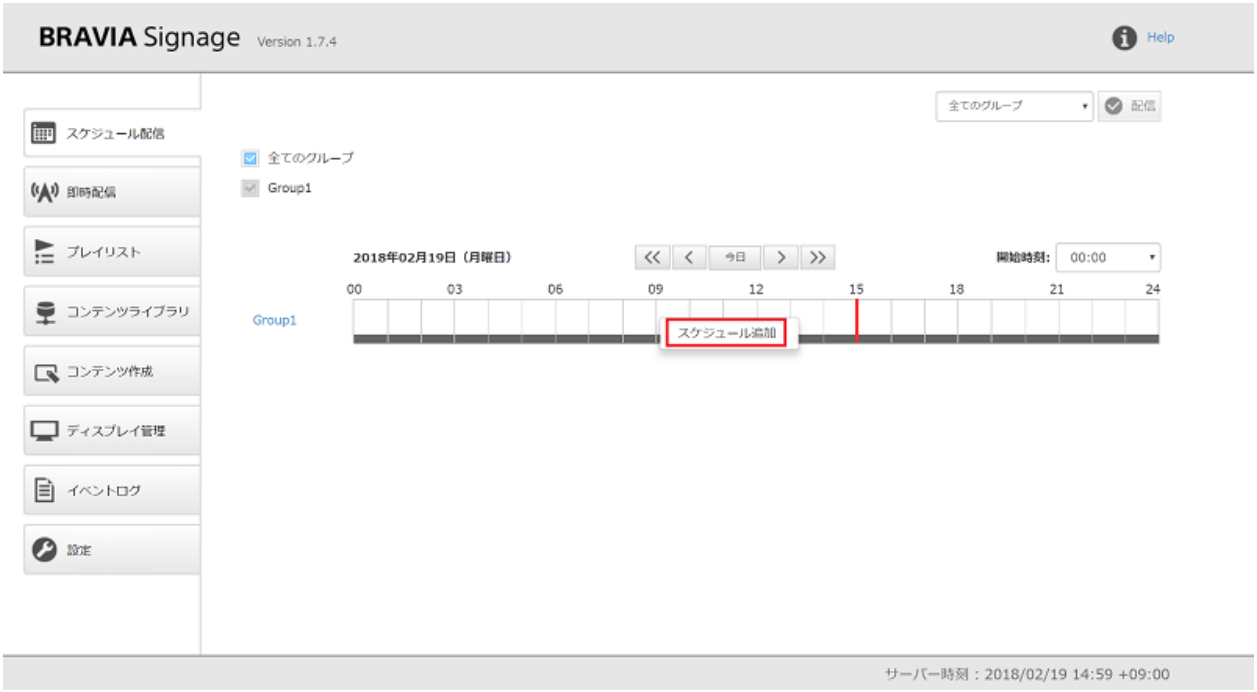
- 表示するスケジュールの日付は、[今日] ボタン、[<] ボタン、[>] ボタン、[<<] ボタン、[>>] ボタンで切り替えることができ、ボタンを押下すると、各々 当日、1 日前、1 日後、1 週間前、1 週間後のスケジュールに表示が切り替わります。

- [開始時刻] ボックスにおいて、表示上の開始時刻を 00:00 から 3 時間置きの時間で指定することができます。たとえば、18:00 に開店するお店では、15:00 から表示を切り替えて利用する、などユーザの運用時間帯に応じて表示を切り替えることができます。



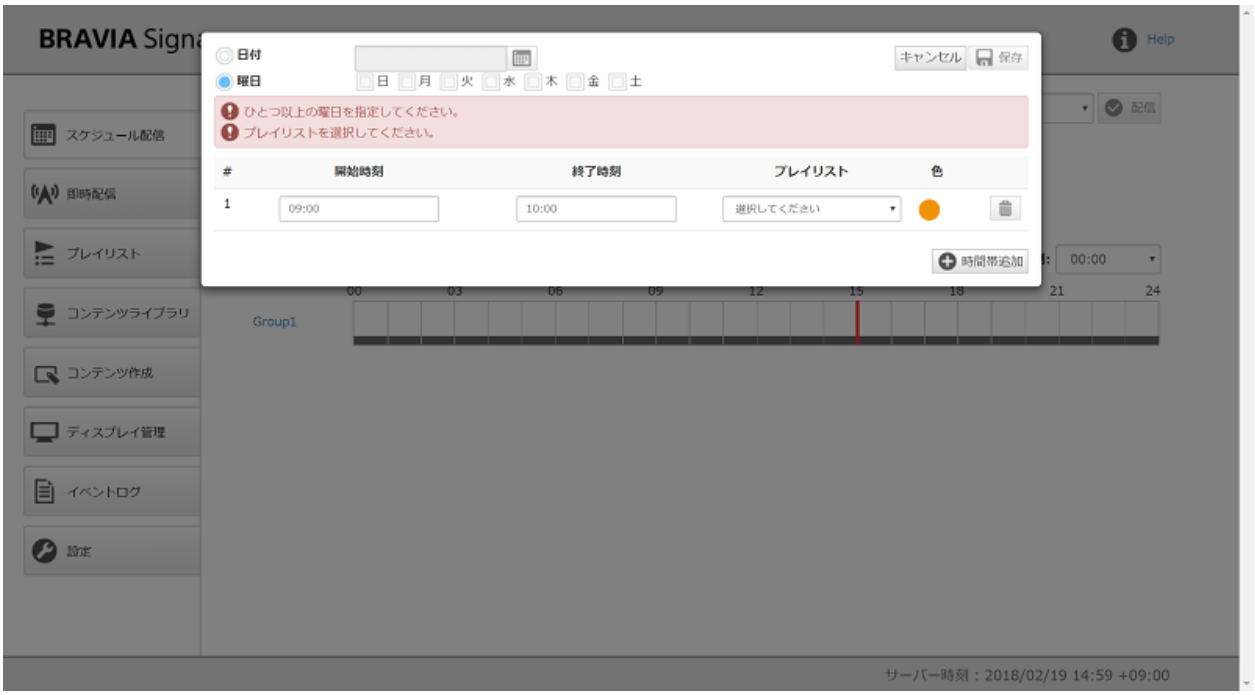
[新規配信スケジュールの登録方法]

[1] スケジュールを登録するグループのスケジューラ上を左クリックし、[スケジュール追加] を選択します。

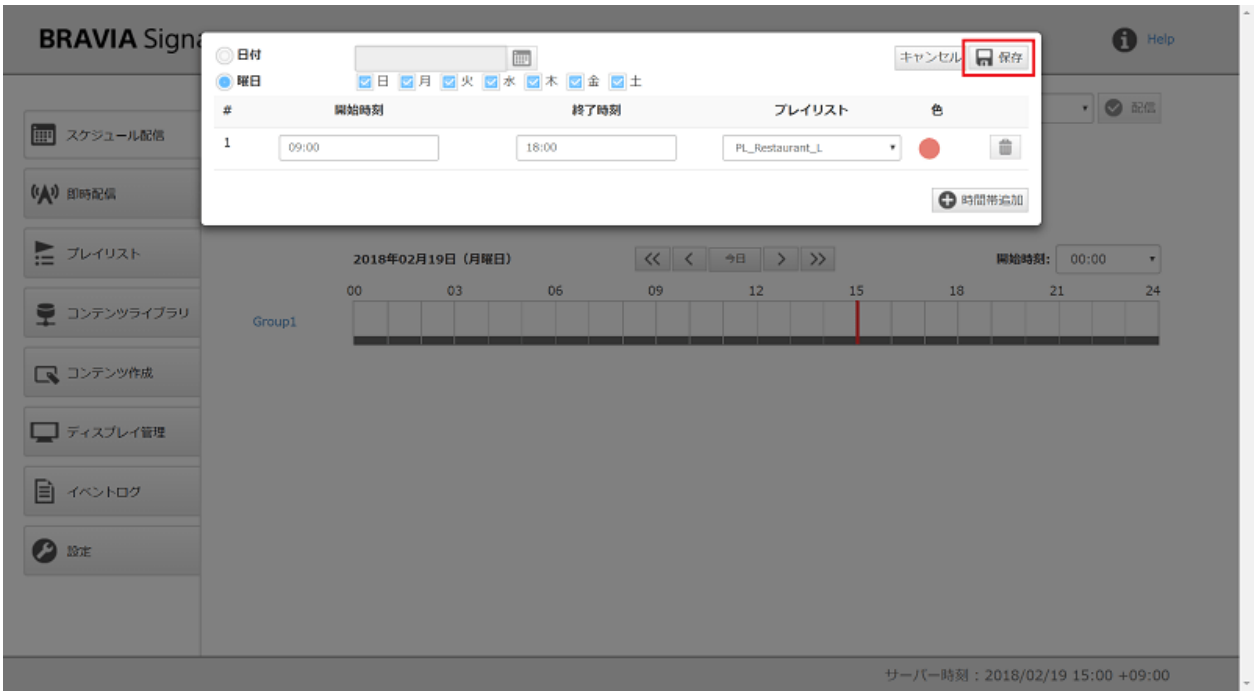


[2] 続いてダイアログが表示されるので、画面上のメッセージに従い、必要な項目を入力します。スケジュールは以下の入力項目で構成されていますが、開始時刻/終了時刻とプレイリスト、表示上の背景色の組み合わせは複数指定可能です。組み合わせを複数指定する場合は、[時間帯追加] ボタンを押下することで追加することができます。

- 再生する曜日または日付
- 再生開始時刻と再生終了時刻
- 再生するプレイリスト
- スケジューラ表示上の背景色



[3] 必要な項目を入力すると、[保存] ボタンが有効化されるので、ボタンを押下すると登録したスケジュールが画面上に表示されます。

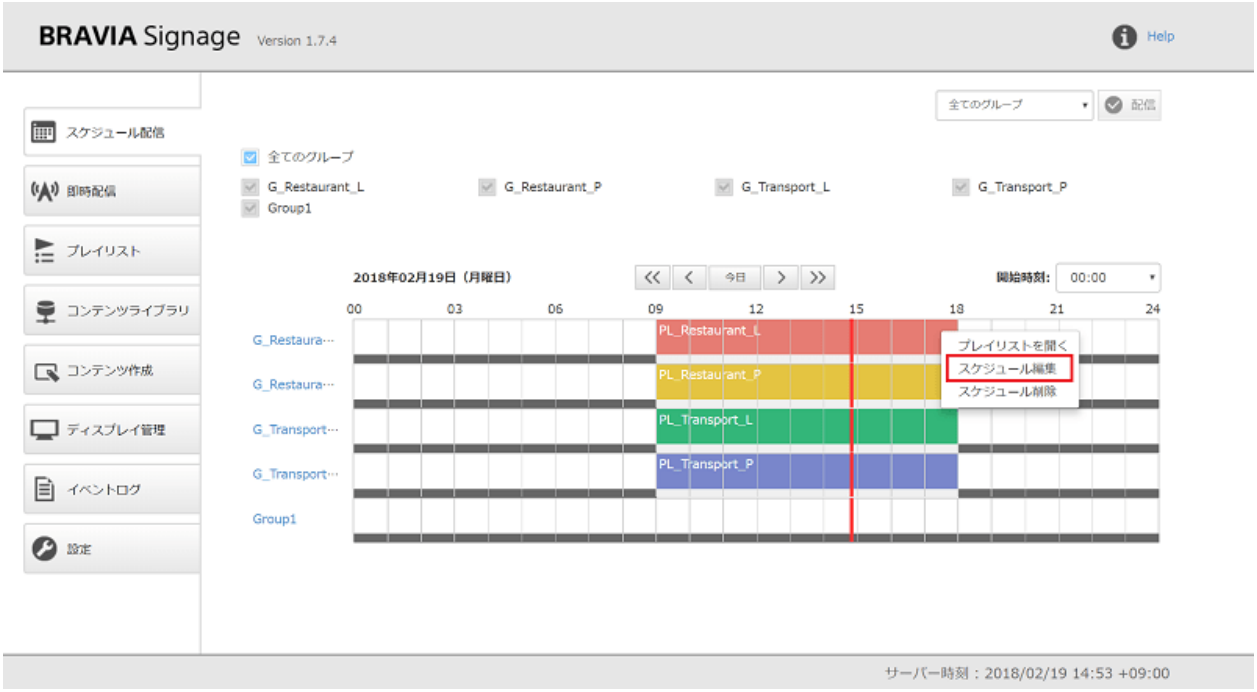


[4] 登録したスケジュールどおりに、ディスプレイ (BRAVIA Signage Player) を動かすためには、ディスプレイへデータを配信する必要があります。画面上部のグループを選択した上で [配信] ボタンを押下してください。なお BRAVIA Signage Player は、BRAVIA Signage Server と接続時、そのサーバ PC の時刻とタイムゾーンを取得し動作します。ディスプレ

イ本体に設定された時刻やタイムゾーンは使用されません。

登録されている配信スケジュールの変更方法

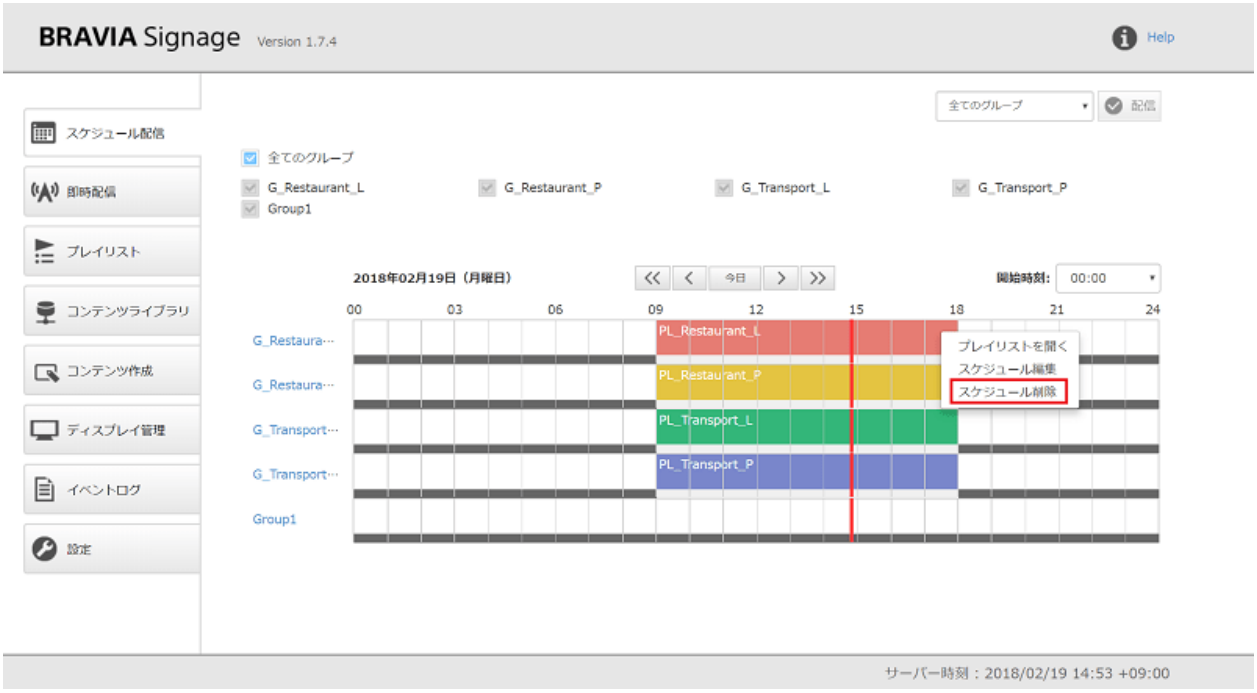
[1] スケジューラ上の編集したいスケジュール情報を左クリックし、[スケジュール編集] を選択します。



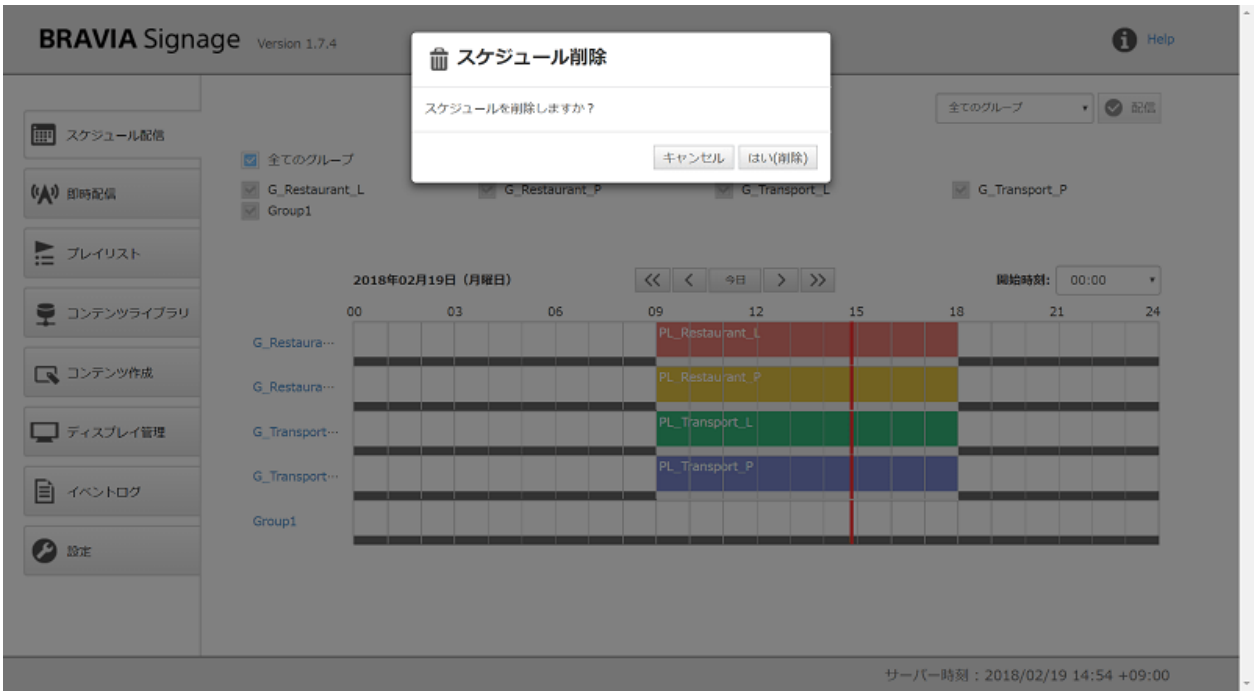
[2] **新規配信スケジュールの登録方法** の手順 [2] から [4] を参考に操作を行います。

登録されている配信スケジュールの削除方法

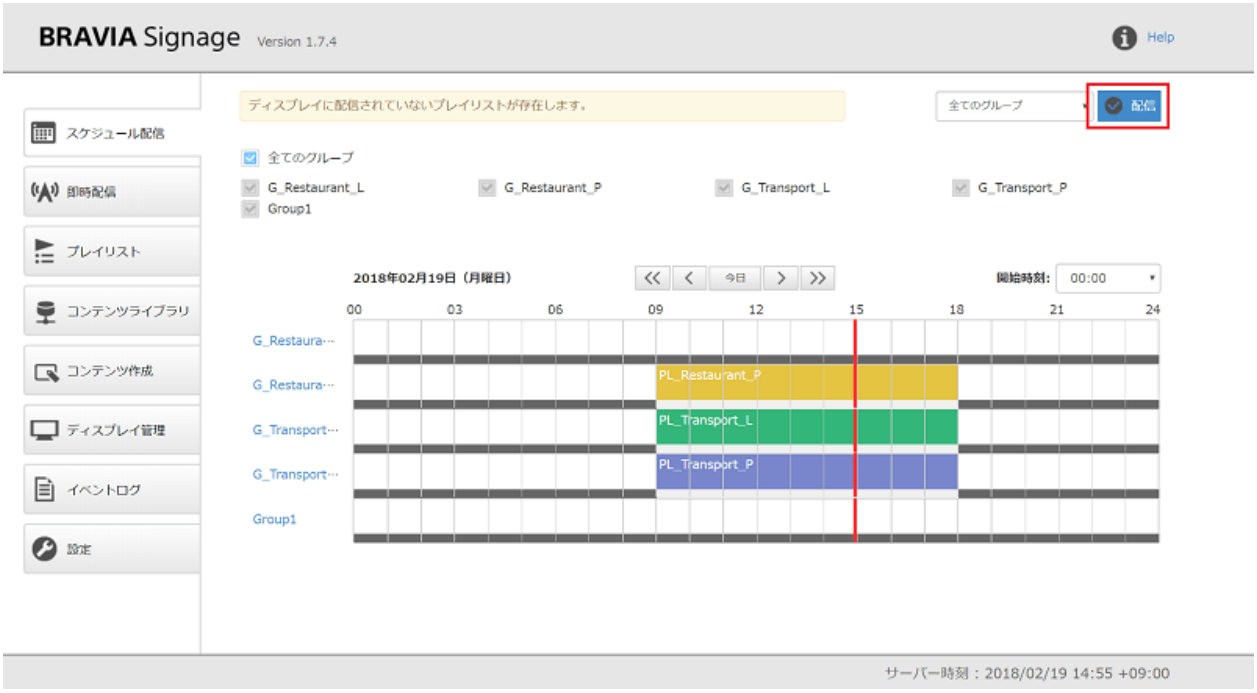
[1] スケジューラ上の編集したいスケジュール情報を左クリックし、[スケジュール削除] を選択します。



[2] 続いて表示されるダイアログ上で “はい(削除)” を選択すると、スケジュールが画面上から情報が削除されます。



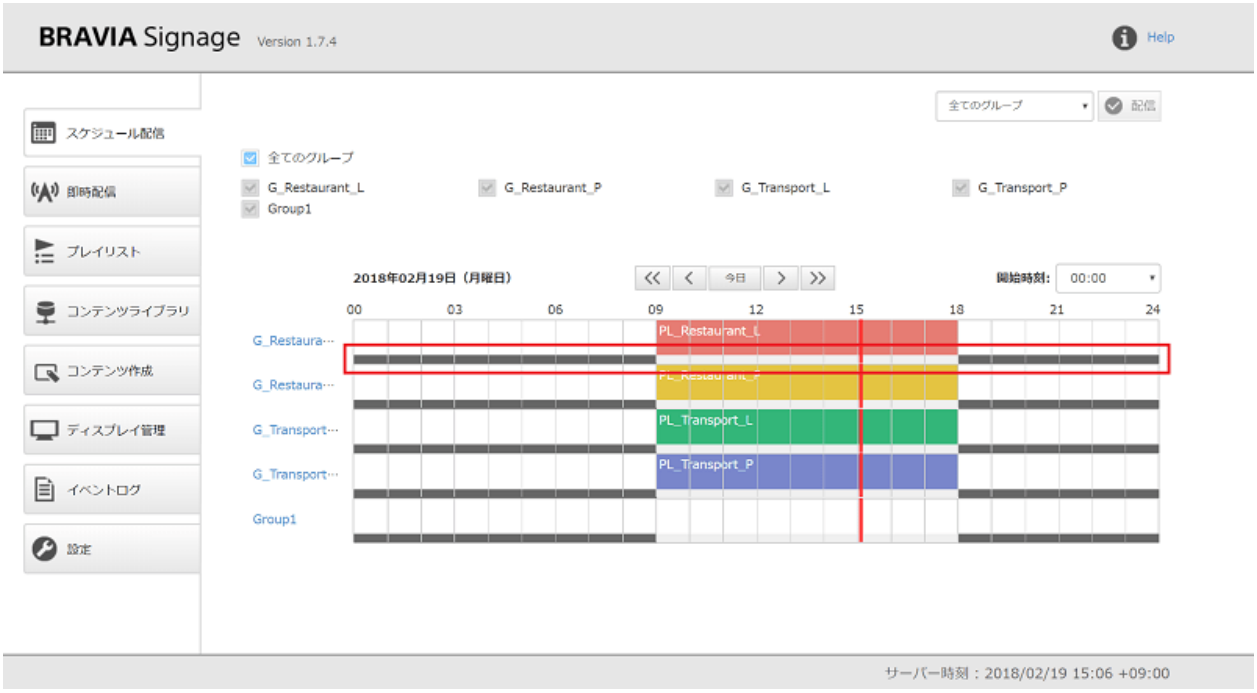
[3] 変更したとおりに、ディスプレイ (BRAVIA Signage Player) を動かすためには、ディスプレイへデータを配信する必要があります。画面上部のグループを選択した上で [配信] ボタンを押下してください。



電源スケジュールの登録/変更方法

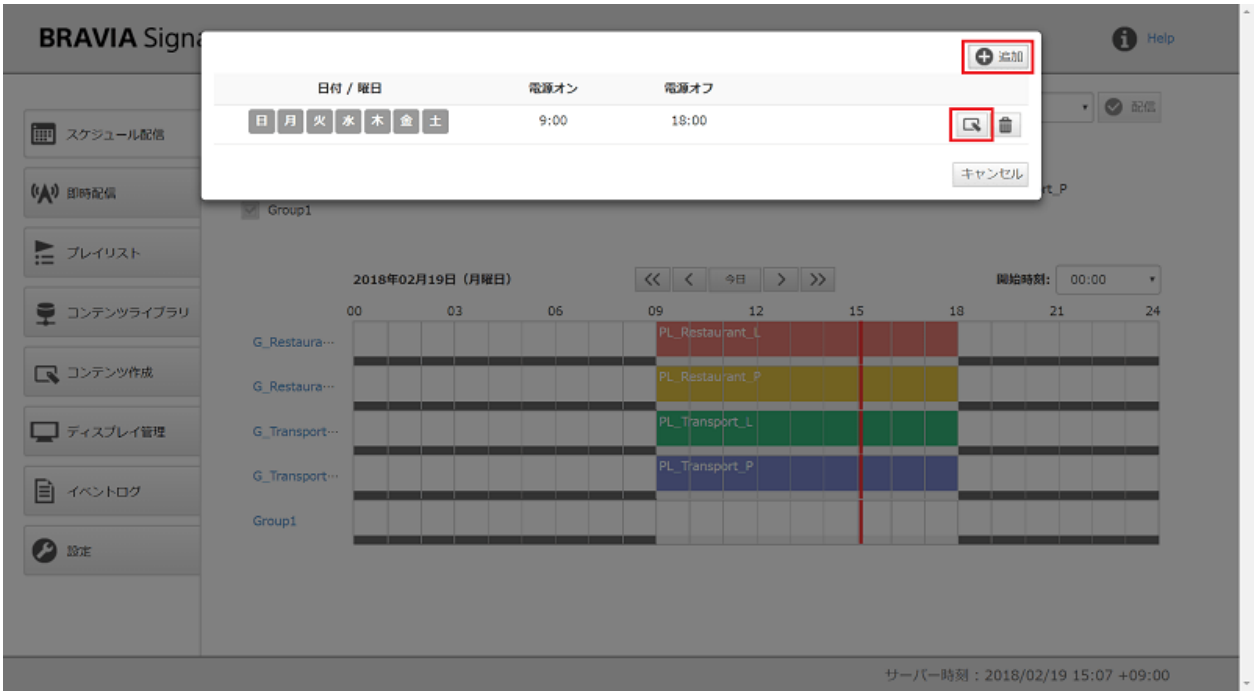
[設定] 画面において、”手動でスケジュールを指定する” が選択されている場合、配信スケジュール以外に電源スケジュールを登録することができます。なお [ディスプレイ] 管理画面においてグループを追加すると、すべての曜日について [電源オン時刻] が “09:00”、[電源オフ時刻] が “18:00” の電源スケジュールが自動で登録されます。

[1] スケジューラ上の電源スケジュールのエリアを左クリックすると、ダイアログが表示されます。

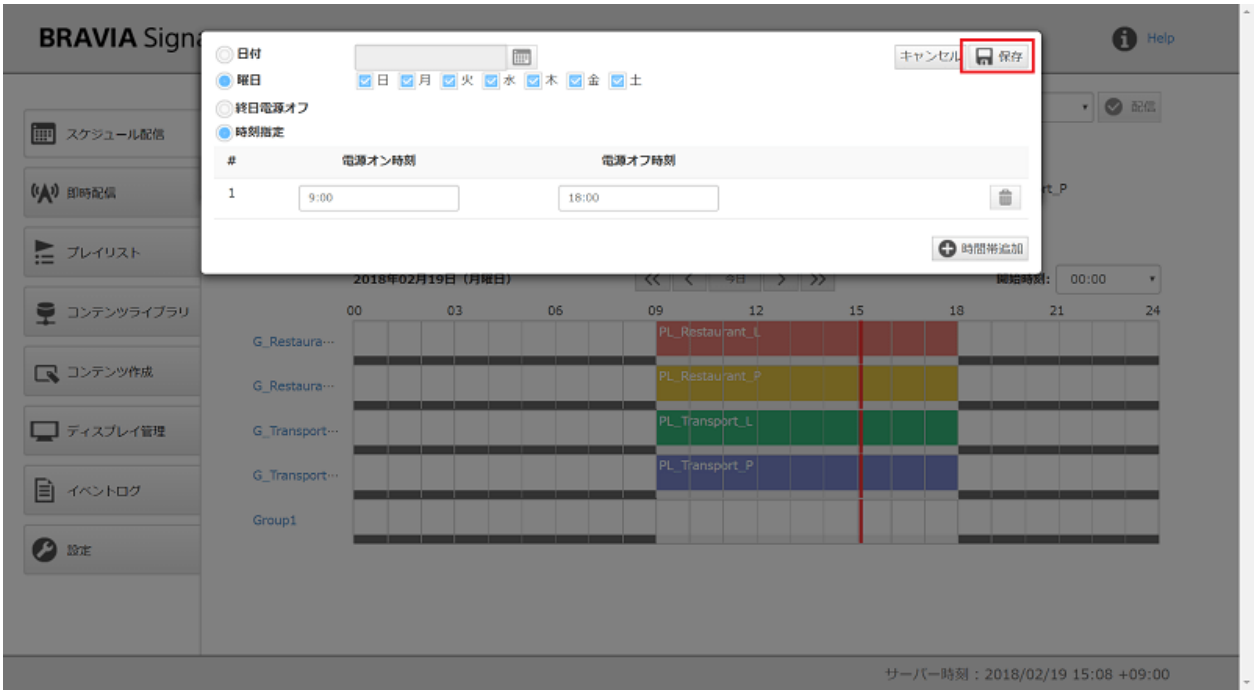


[2] [追加] ボタンまたは [編集] ボタンを押下すると、スケジュールの内容を編集することができます。電源スケジュールは以下の入力項目で構成されていますが、[時刻指定] を利用する場合、電源オン時刻と電源オフ時刻の組み合わせを複数指定することができます。組み合わせを複数指定する場合は、[時間帯追加] ボタンを押下することで追加することができます。

- [曜日] または [日付]
- [終日電源オフ] または [時刻指定]
- [時刻指定] を選択した場合、[電源オン時刻] と [電源オフ時刻]

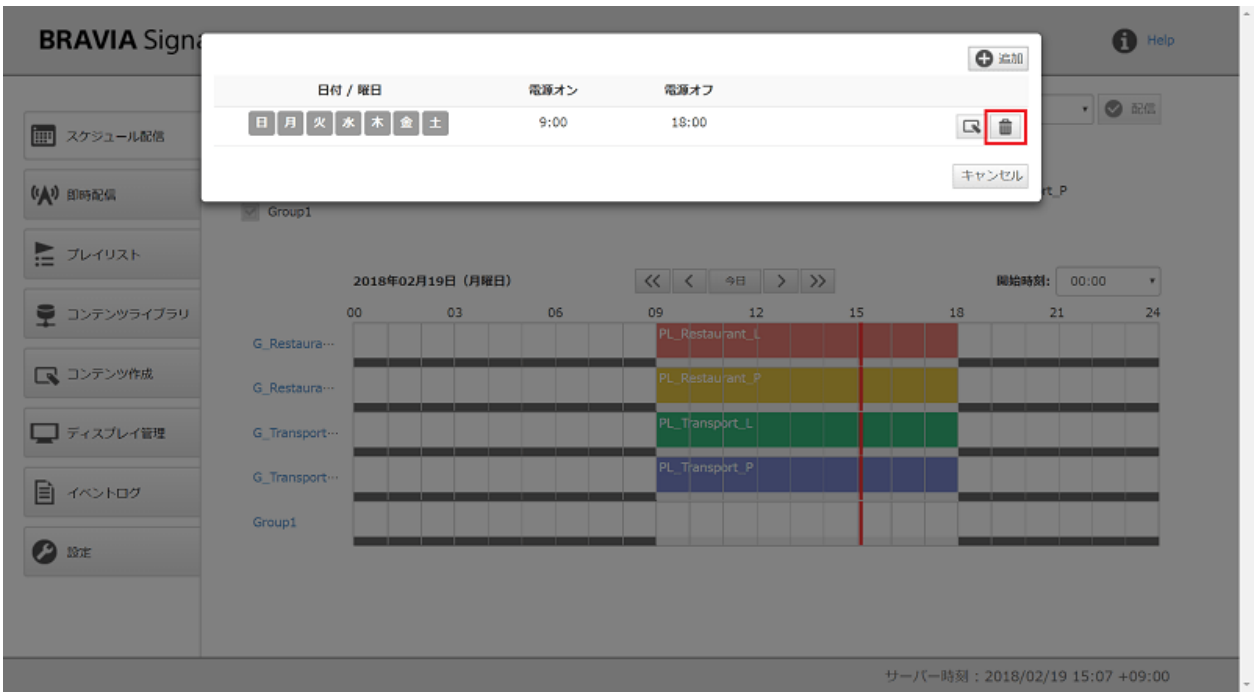


[3] 必要な項目を入力すると、[保存] ボタンが有効化されるので、ボタンを押下すると登録した電源スケジュールが画面上に表示されます。

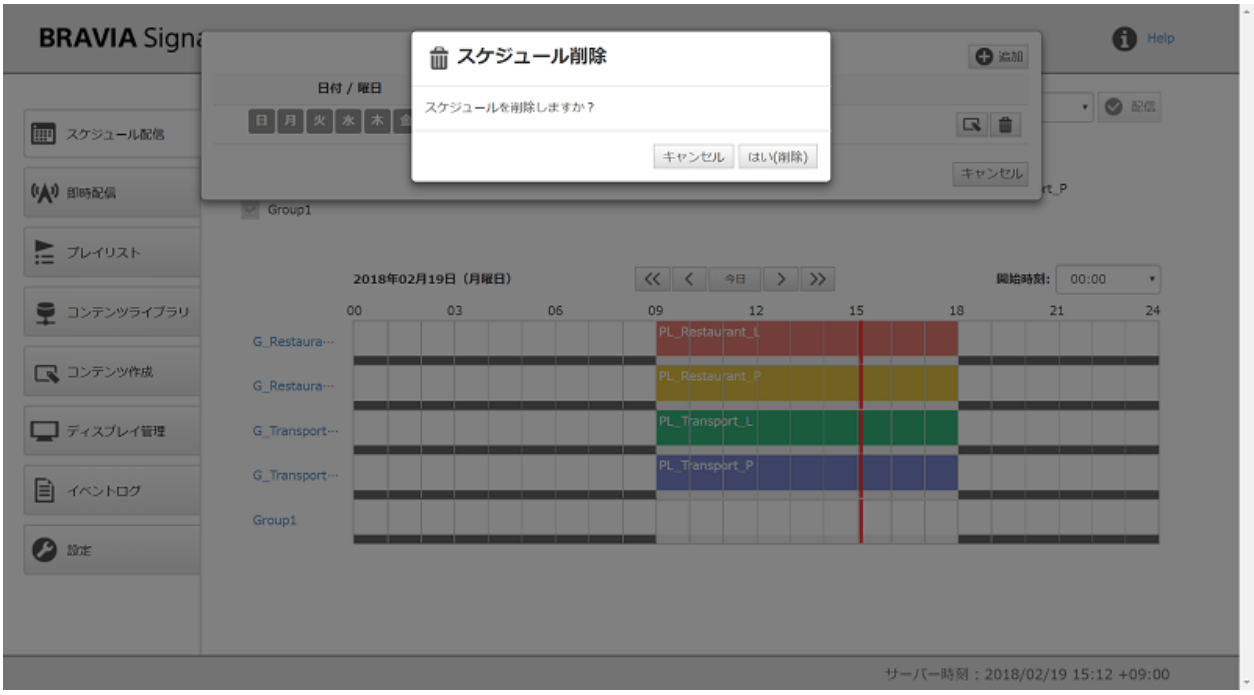


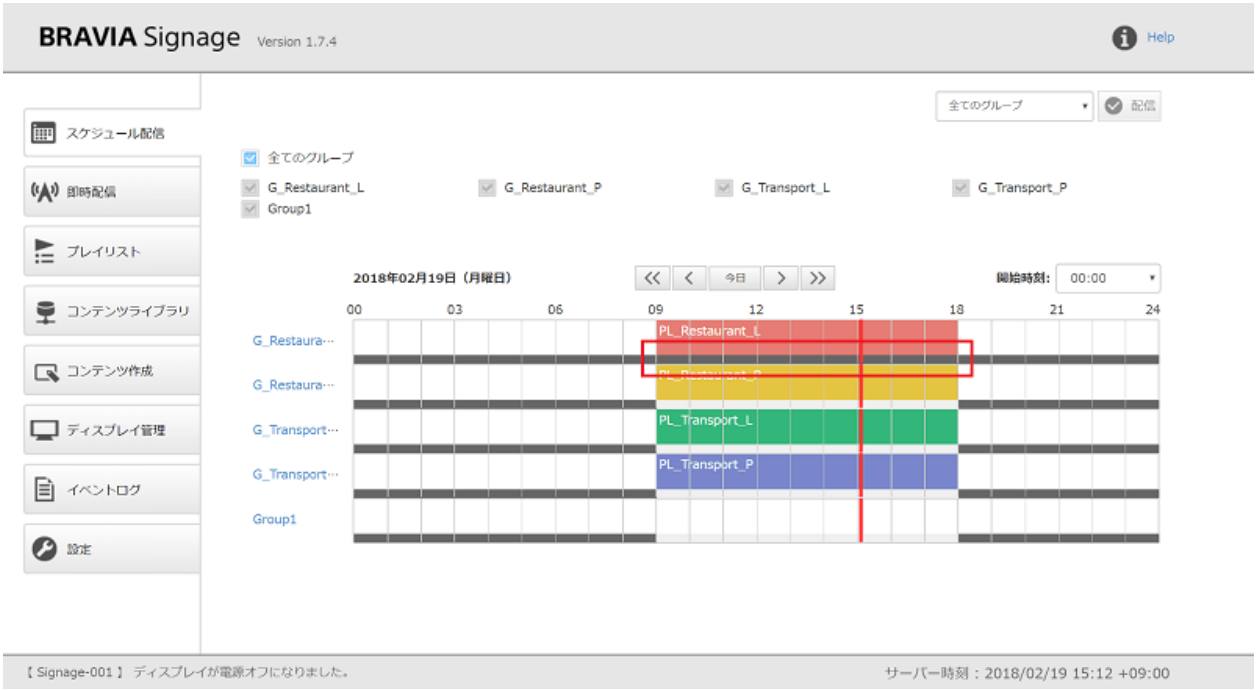
登録されている電源スケジュールの削除方法

[1] スケジューラ上の電源スケジュールのエリアを左クリックすると、ダイアログが表示されます。



[2] [削除] ボタンを押下し、続いて表示されるダイアログ上で “はい(削除)” を選択すると、電源スケジュールが画面上から情報が削除されます。



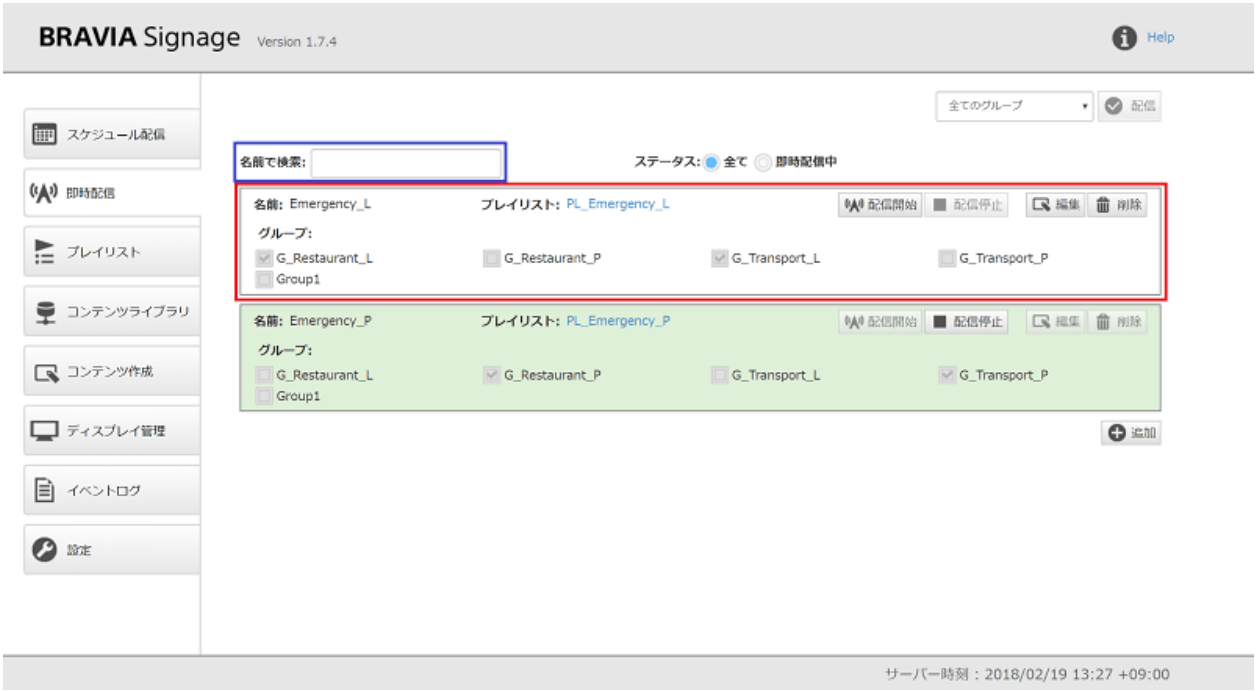


即時配信画面

スケジュール配信だけでなく非常時や非定期にコンテンツを配信することができます。本画面では、その配信情報を登録し管理するすることができます。ここでは画面上の操作方法について説明します。

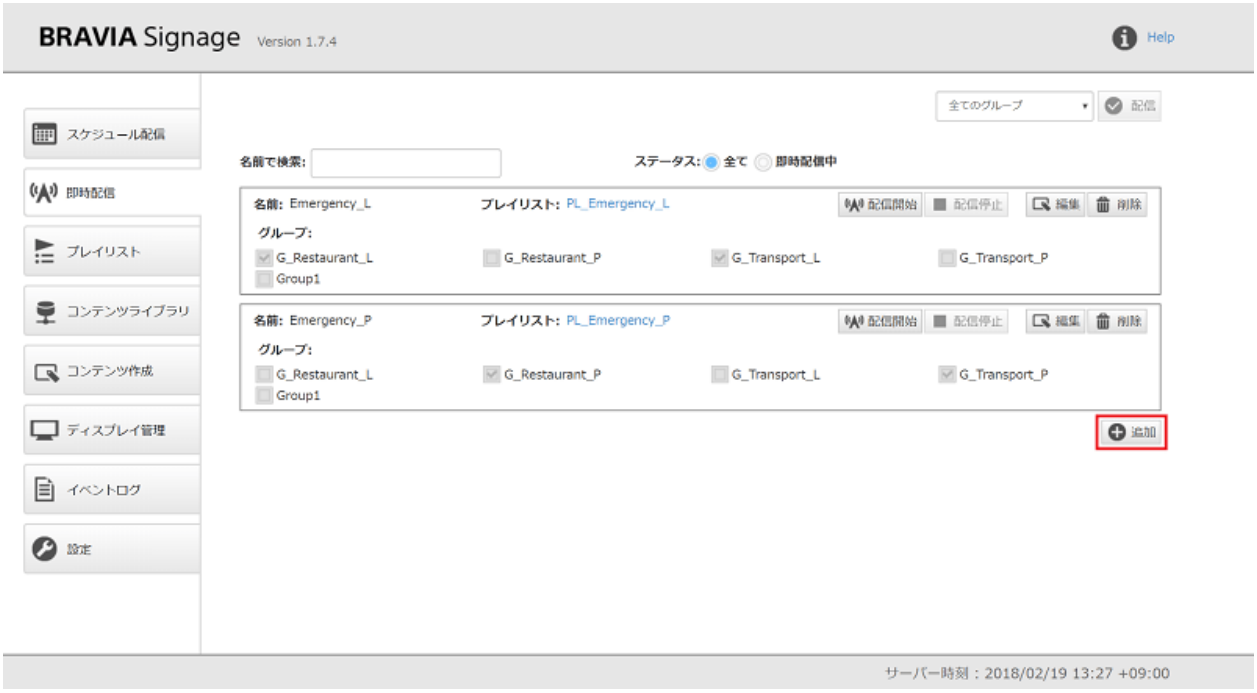
[即時配信] 画面の見方について

- 登録した即時配信の情報は、それを識別するための名前、配信するプレイリスト、配信対象とするグループ、および操作ボタンの組み合わせで表示されます。
- 実行中の即時配信の情報は、背景色が緑色で表示されます。
- 画面上部の [名前で検索] ボックスおよび [ステータス] ボタンで登録した即時配信の情報を絞り込んで表示することができます。

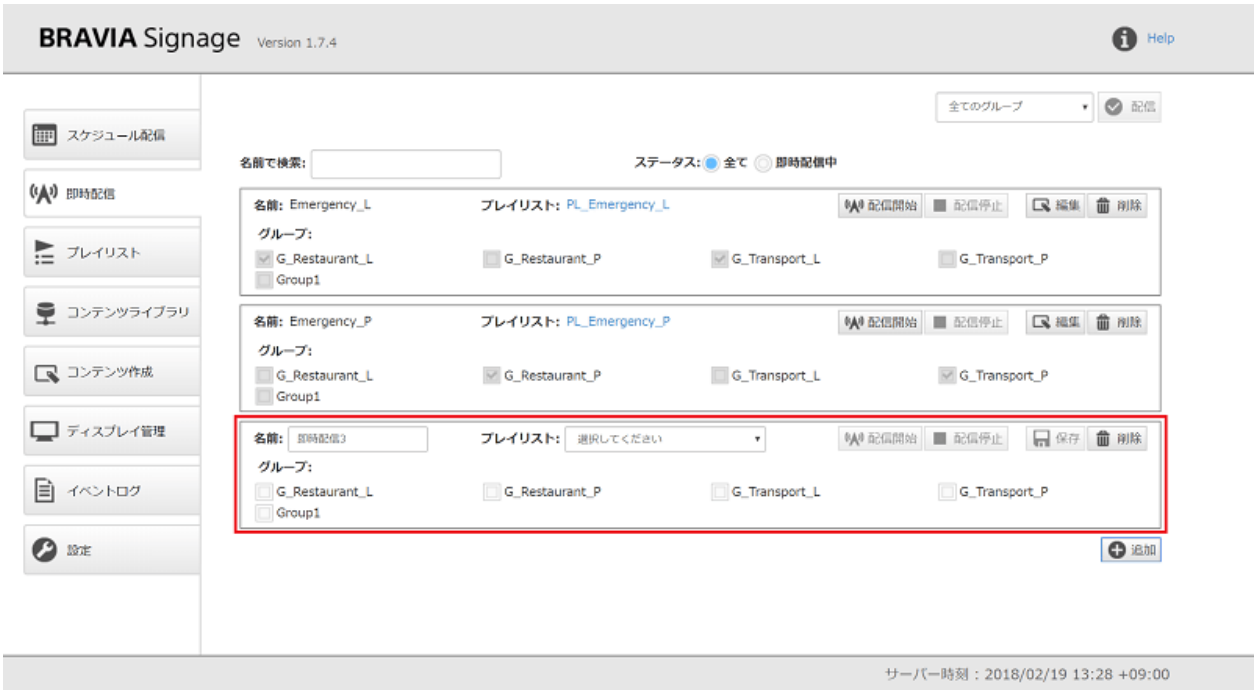


即配配信の登録方法・編集方法

[1] 画面右側または右下部分に表示されている [追加] ボタンを押下すると、新規の情報が追加されます。



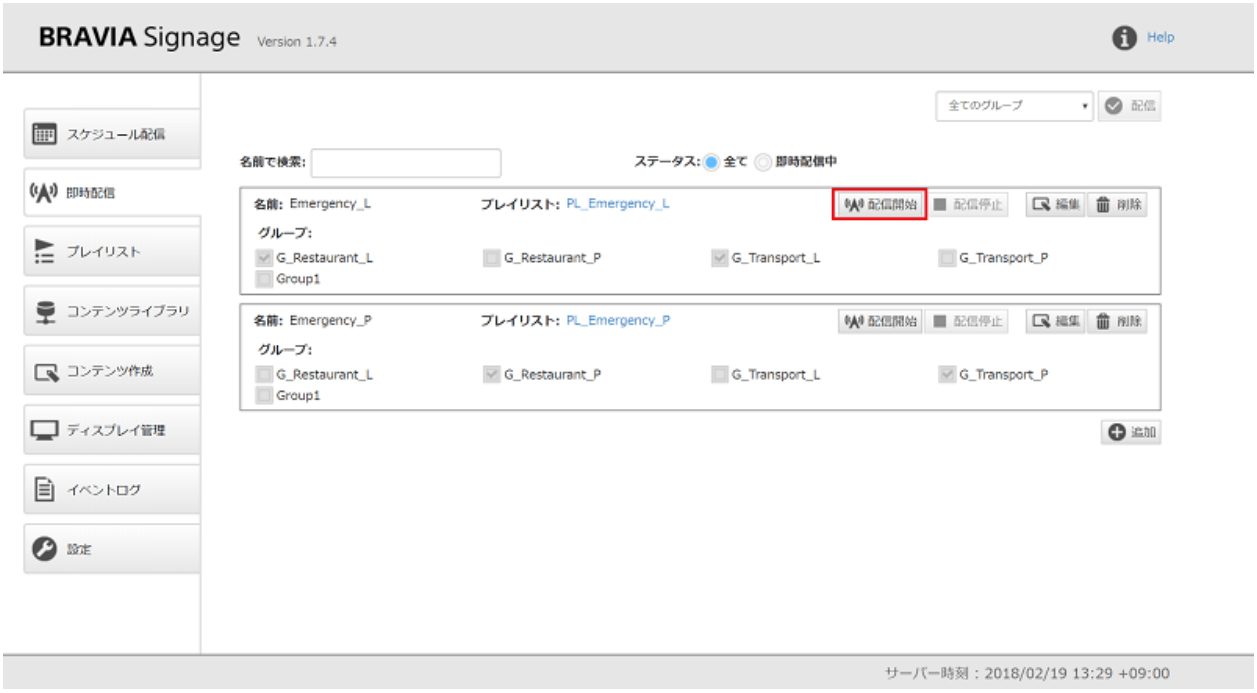
[2] 画面上のメッセージに従い、[名前]、[プレイリスト]、[グループ] を入力します。必要な項目を入力すると、[保存] ボタンが有効化されるので、ボタンを押下すると即時配信の情報を登録することができます。



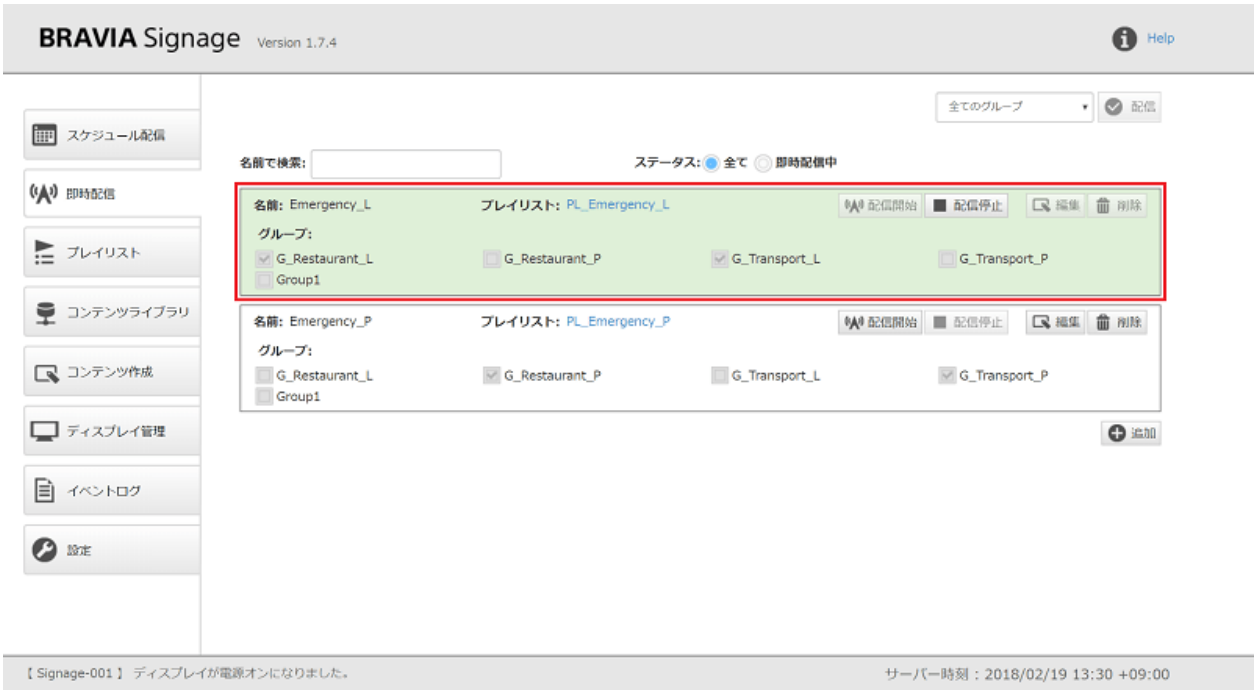
[3] 登録した即時配信の情報を編集するためには、[編集] ボタンを押下し、情報を編集、再度 [保存] ボタンを押下することで情報の編集をすることができます。

即時配信の実行方法

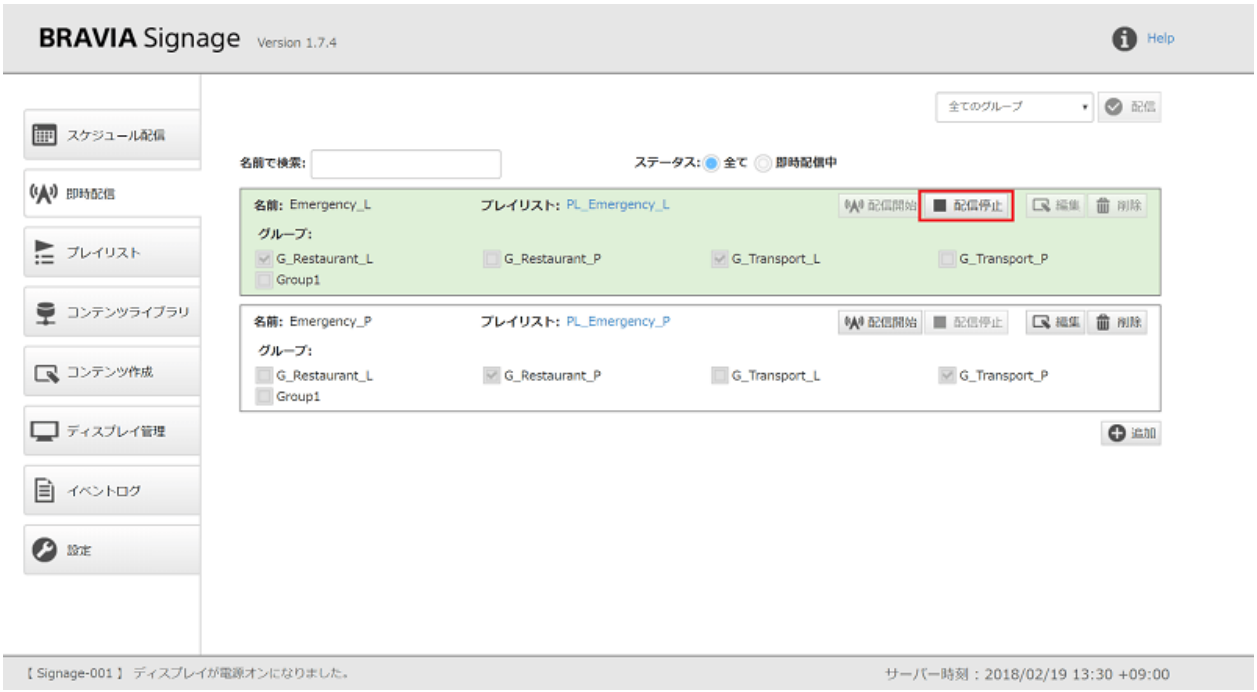
[1] 配信したい即時配信の情報の [配信開始] ボタンを押下します。



[2] 押下後、その即時配信の情報の背景色が緑色で表示されます。スケジュール配信の状態によらず、即時配信を開始すると、即時配信で指定されたプレイリストが再生されます。

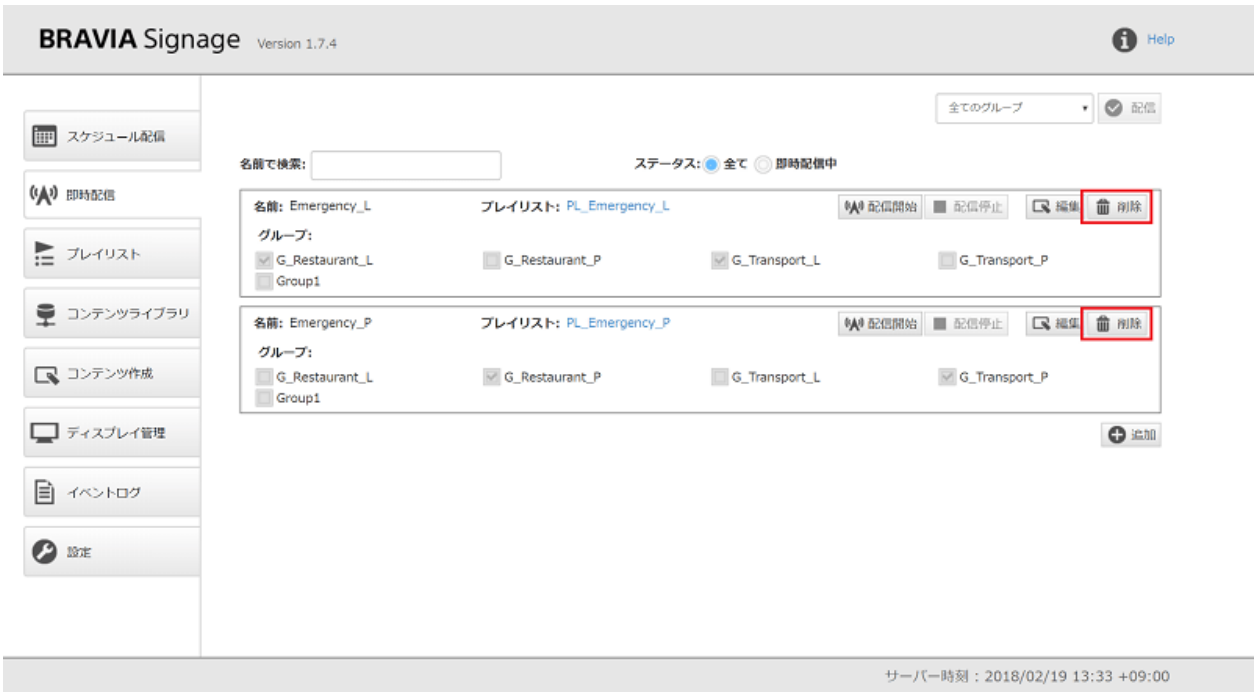


[3] 実行中の即時配信を停止する場合は、[配信停止] ボタンを押下してください。



即時配信の削除方法

[1] 削除したい即時配信の情報の [削除] ボタンを押下します。



[2] 続いて表示されるダイアログ上で “はい(削除)” を選択すると、即時配信

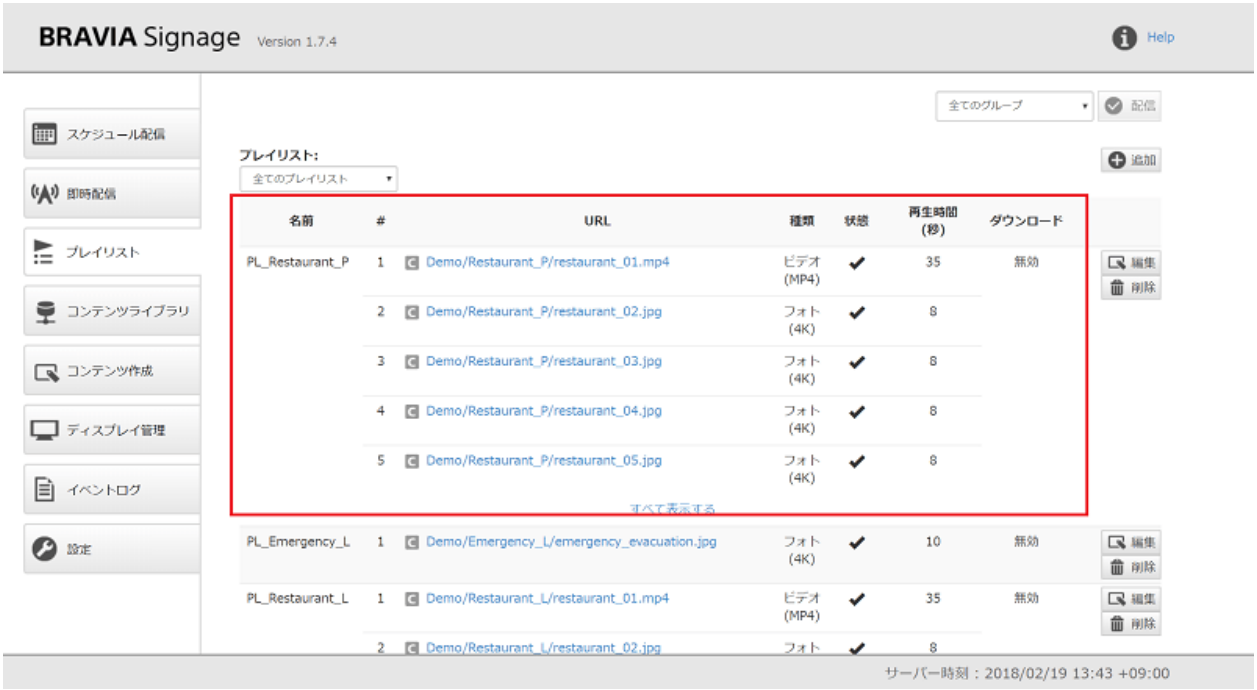
の情報が画面上から削除されます。

プレイリスト画面

本画面では、プレイリストを登録し管理することができます。プレイリストとは、動画や静止画、HTML コンテンツについて、再生する順番をリスト化したものです。たとえば、動画 A、静止画 B、動画 C を順番に再生したい場合、動画 A, 静止画 B, 動画 C を順番に並べたものです。ここではプレイリストの説明および画面上の操作方法について説明します。

[プレイリスト] 画面の見方について

- 登録したプレイリストの情報は、それを識別するための名前、プレイリストを構成するコンテンツの URL、URL で指定されたコンテンツの種類、URL へのアクセス可否の状態、その URL の再生時間、ダウンロードの設定で構成されます。



- [URL] には、http:// ではじまる URL またはコンテンツライブラリ機能に登録されたコンテンツの URL が表示されます。前者の場合、URL 冒頭に “U” アイコンが表示され、後者の場合、”C” アイコンが表示されます。

- [種類] には、[URL] に指定したコンテンツの種類が以下のように表示されます。

種類	説明
フォト	静止画 (JPEG, BMP, GIF, PNG 形式) を表します。
フォト(4K)	4K 解像度の静止画 (JPEG 形式) を表します。
ビデオ(MP4)	MP4 フォーマットの動画を表します。
ビデオ(MPEG2TS)	MPEG2TS フォーマットの動画を表します。
ビデオ(4K)	4K 解像度の MP4 フォーマットの動画を表します。
ビデオ(M3U8)	HTTP Live Streaming 形式の m3u8 形式のファイルを表します。.m3u8 ファイルの作成方法は、"**Appendix V. m3u8 file**" を参照ください。
HTML	上記以外の種類を表します。

- [状態] には、[URL] に指定したコンテンツのアクセス可否の状態が以下のように表示されます。

	説明
</img>	URL にアクセス可能な状態を表します。
</img>	URL にアクセスできない状態を表します。 このアイコンが表示された場合、指定されたURLが正しくない可能性があります。
</img>	URL にアクセス可能かどうか確認中の状態を表します。

- [再生時間] には、[URL] に指定したコンテンツの再生時間が表示されます。プレイリストに複数の URL が含まれる場合、順に切り替わって再生されますが、その再生時間 (秒) が表示されます。数字以外の値が表示される場合、以下のような意味を持ちます。

再生時間	説明
ビデオ長	URL に指定した動画ファイルの再生時間を表します。 本値でなく数字が指定された場合には、動画ファイルの再生時間でなく、その数字でコンテンツが切り替わります。
無限	コンテンツの切り替わりなくその URL が表示され続ける、ということを表します。 プレイリストに含まれる URL が 1 つで、かつその種類が "フォト" または "フォト(4K)" または "HTML" の場合には、この値が表示されます。

- [ダウンロード] には、プレイリストに指定したダウンロード設定の値として “有効” または “無効” が表示されます。”有効” の場合、ストリーミング再生でなく、ディスプレイに接続されている USB メモリーにコンテンツをダウンロードし、そのファイルが再生されます。

新規プレイリストの登録方法

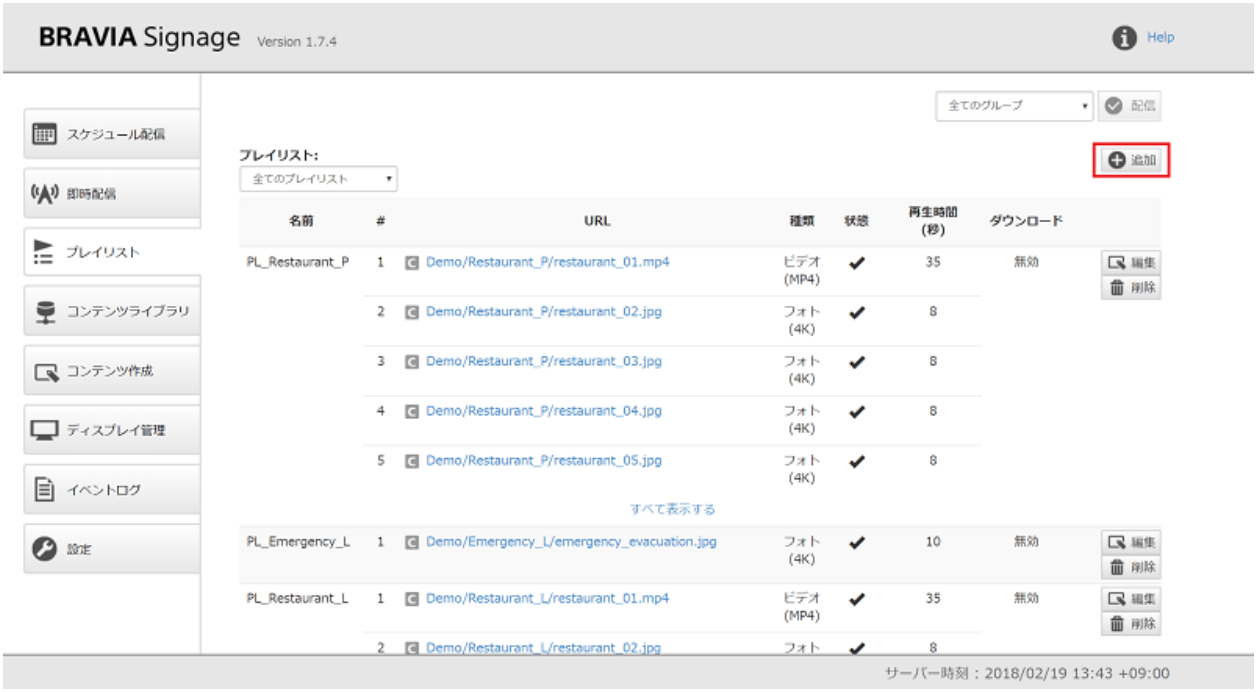
[1] 画面右上部分に表示されている [追加] ボタンを押下すると、ダイアログが表示されるので、画面上のメッセージに従い、必要な項目を入力します。プレイリストは以下の入力項目で構成されていますが、[URL] と [種類]、[再生時間] の組み合わせは複数指定可能です。組み合わせを複数指定する場合は、[追加] ボタンを押下することで追加することができます。

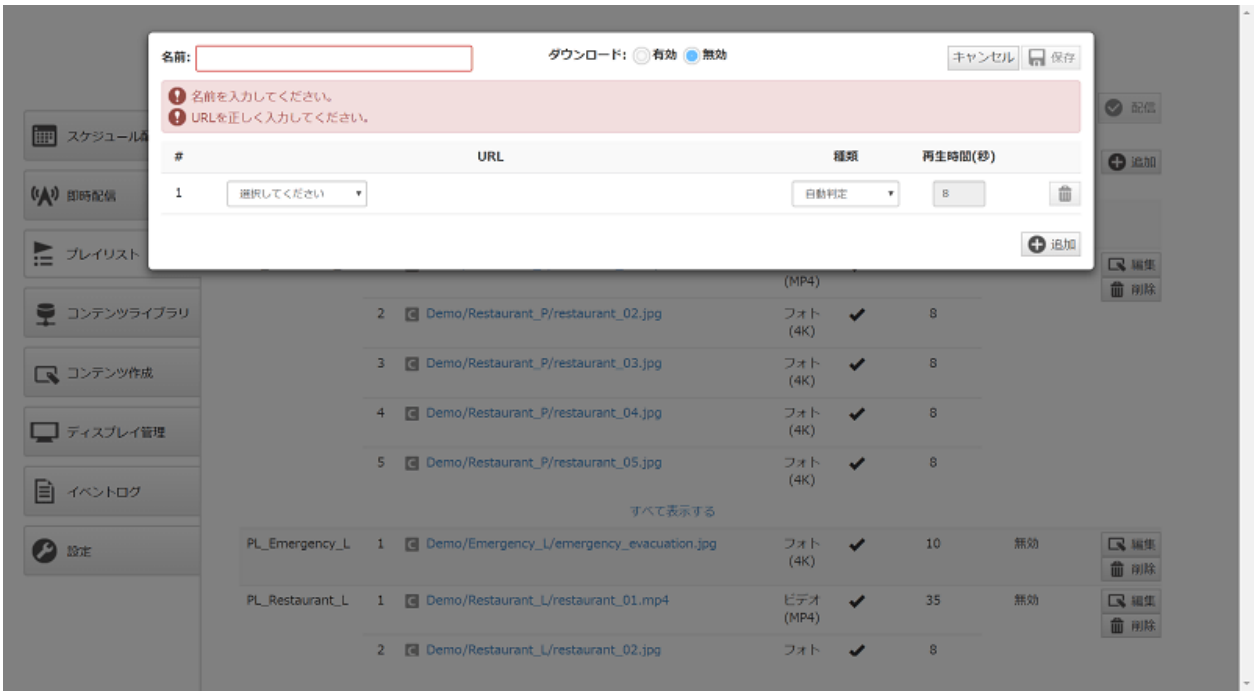
- プレイリストの名前
- 再生する URL
- URL として指定されたコンテンツの種類
- 指定された URL の再生時間
- ダウンロードの設定

入力にあたり、”**[プレイリスト] 画面の見方について**” に記載の内容を参考にした上で、それに加え以下の点を注意してください。

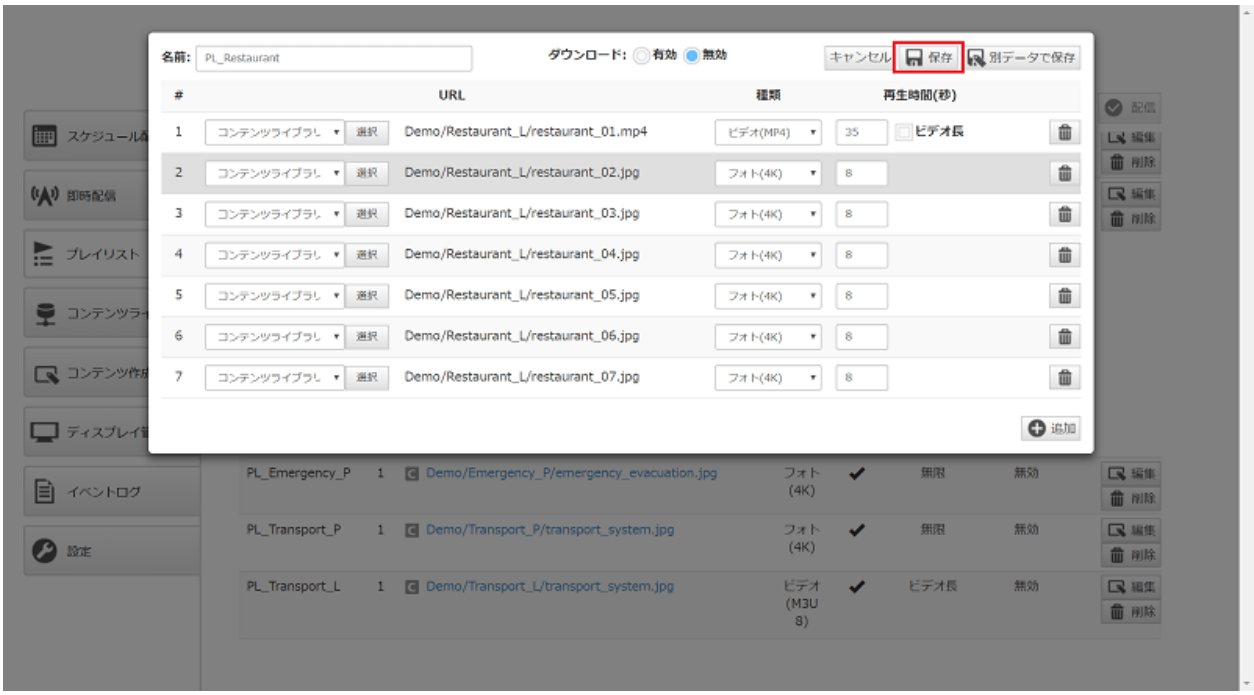
- [URL] には、URL の入力以外に、コンテンツライブラリに登録したコンテンツを指定することができます。

- [URL] に入力する URL の host 名には以下の形式には対応してません。また、URL 末尾はディレクトリ名でなく、ファイル名となるように指定してください。
  - localhost
  - 127.0.0.1
  - NETBIOS 名の利用
  - IPv6 の IPアドレス
- [URL] には入力する URL には以下のような制限があります。
  - X-Frame-Option ヘッダに対応しているウェブサイトの表示には対応しておりません。
  - Basic 認証含む HTTP 認証には対応しておりませんが、プレイリストのダウンロード運用 を利用する場合、Basic 認証のみ対応しています。
- [種類] に “自動判別” を選択した場合、URL に指定されたファイルの拡張子をもとに自動選択されます。なお、4K 解像度の静止画 (JEPG 形式) または動画を指定した場合、各々 “フォト”、”ビデオ(MP4)” が自動選択されるため、4K 解像度のコンテンツを指定する場合には、明示的に [種類] を選択する必要があります。



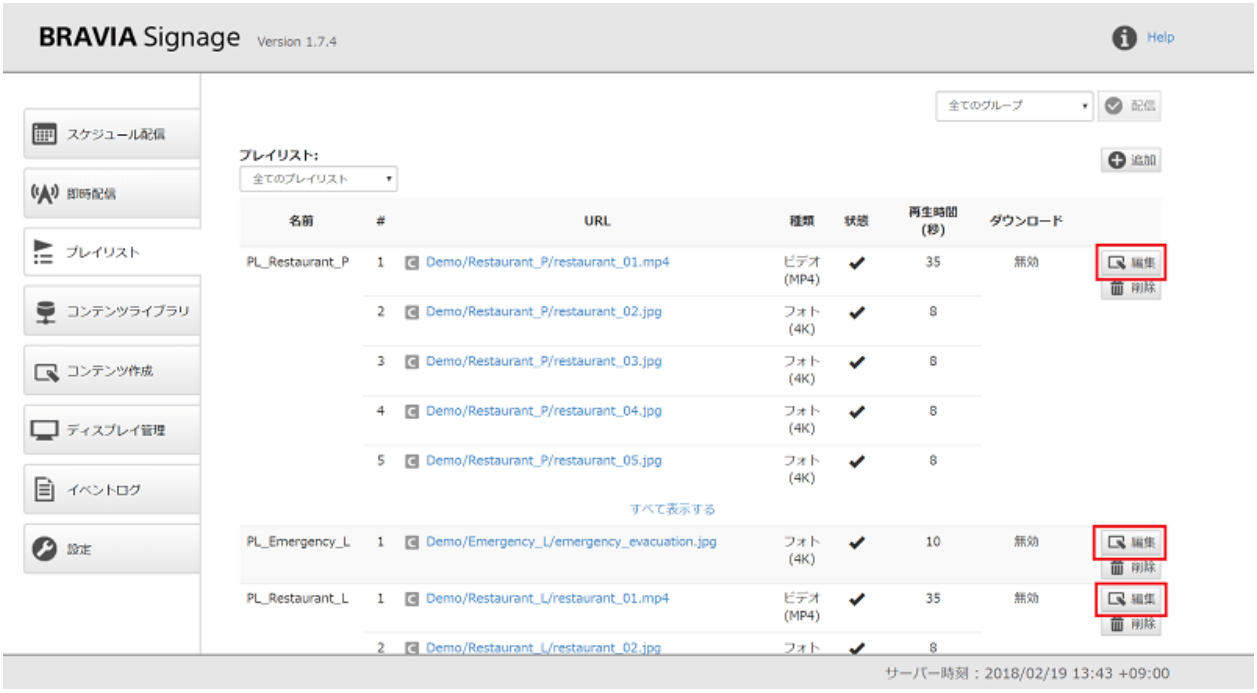


[2] 必要な項目を入力すると、[保存] ボタンが有効化されるので、ボタンを押下すると登録したプレイリストが画面上に表示されます。



登録したプレイリストの変更方法

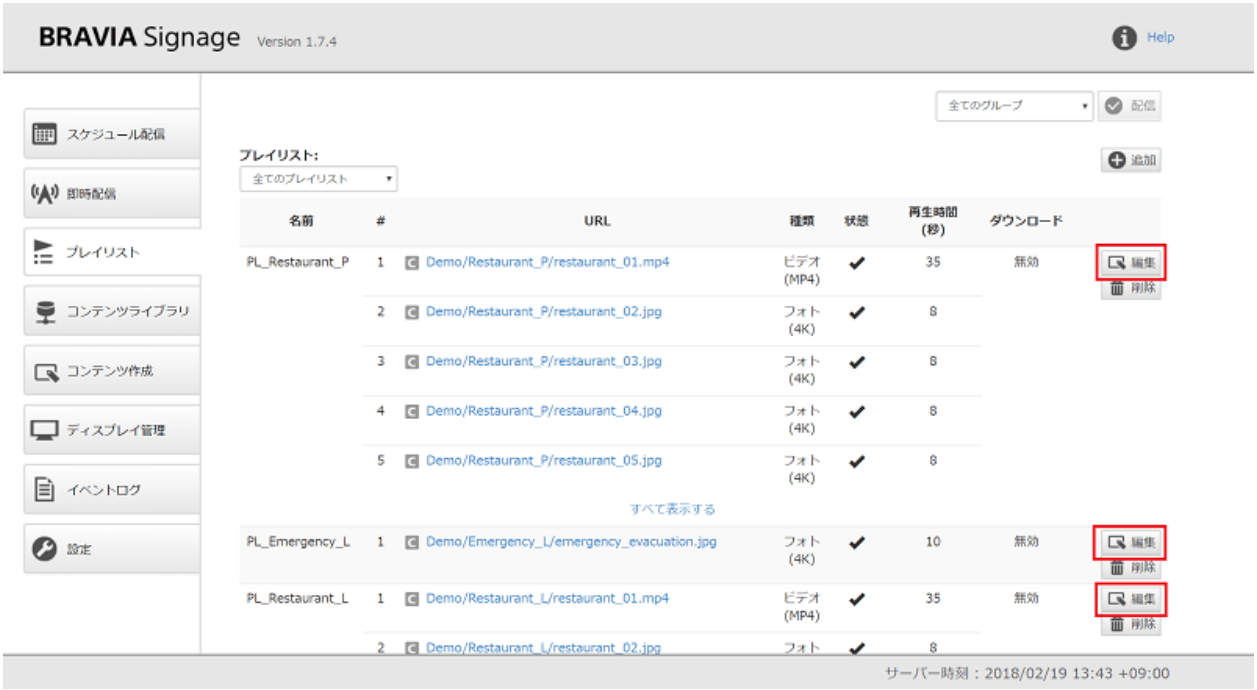
[1] 編集したいプレイリストの情報の右方の [編集] ボタンを押下します。



[2] 続いてダイアログが表示されるので、”**新規プレイリストの登録方法**” の手順 [1] から [2] を参考に操作を行います。なお、URL の再生順序はドラッグ＆ドロップで順序の変更ができます。

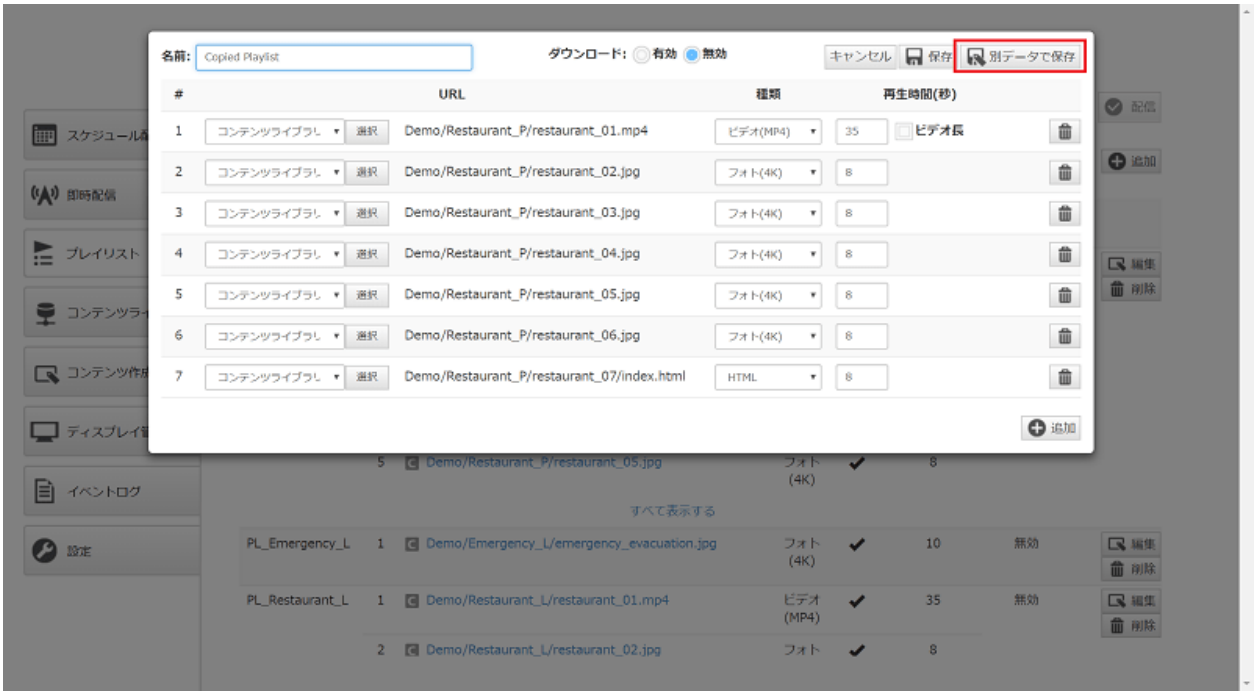
登録済みのプレイリストの情報を複製方法

[1] 複製したいプレイリストの情報の右方の [編集] ボタンを押下します。



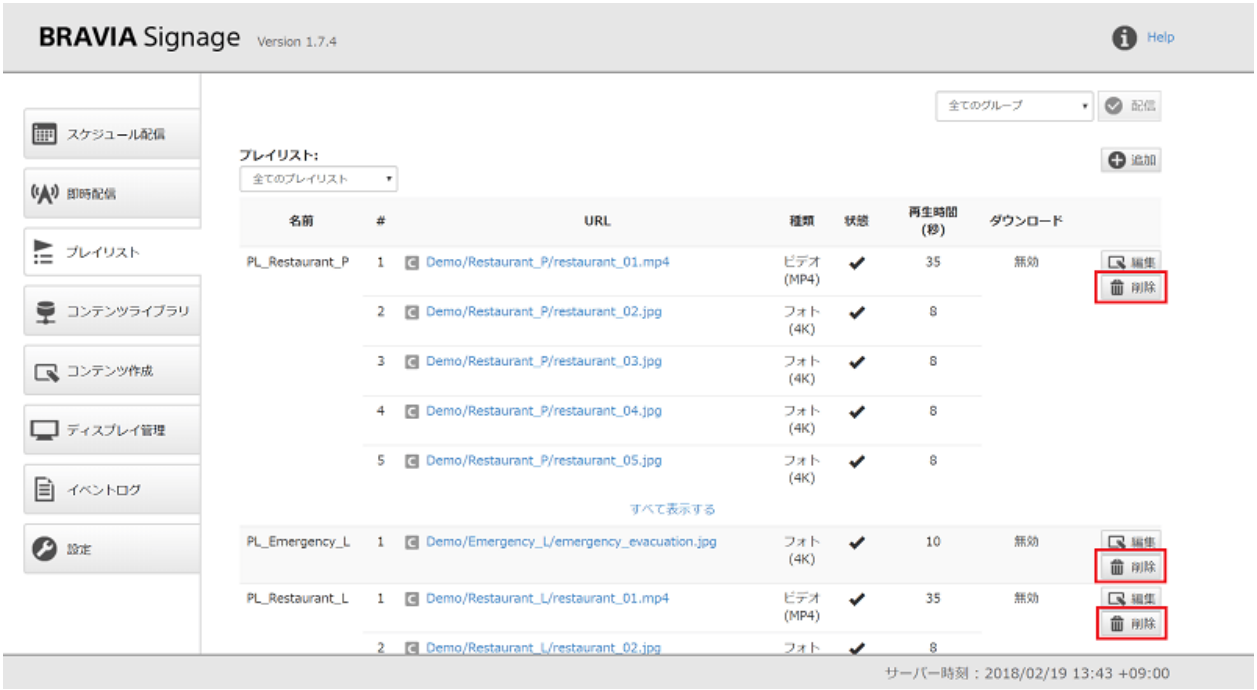
[2] 続いてダイアログが表示されるので、”**登録済みのプレイリストの変更方法**” の手順 [2] を参考に操作を行います。

[3] [名前] に登録されてないプレイリスト名を指定すると、[別名で保存] ボタンが有効化されるので、本ボタンを押下すると、その名前でデータが複製されます。



登録したプレイリストの削除方法

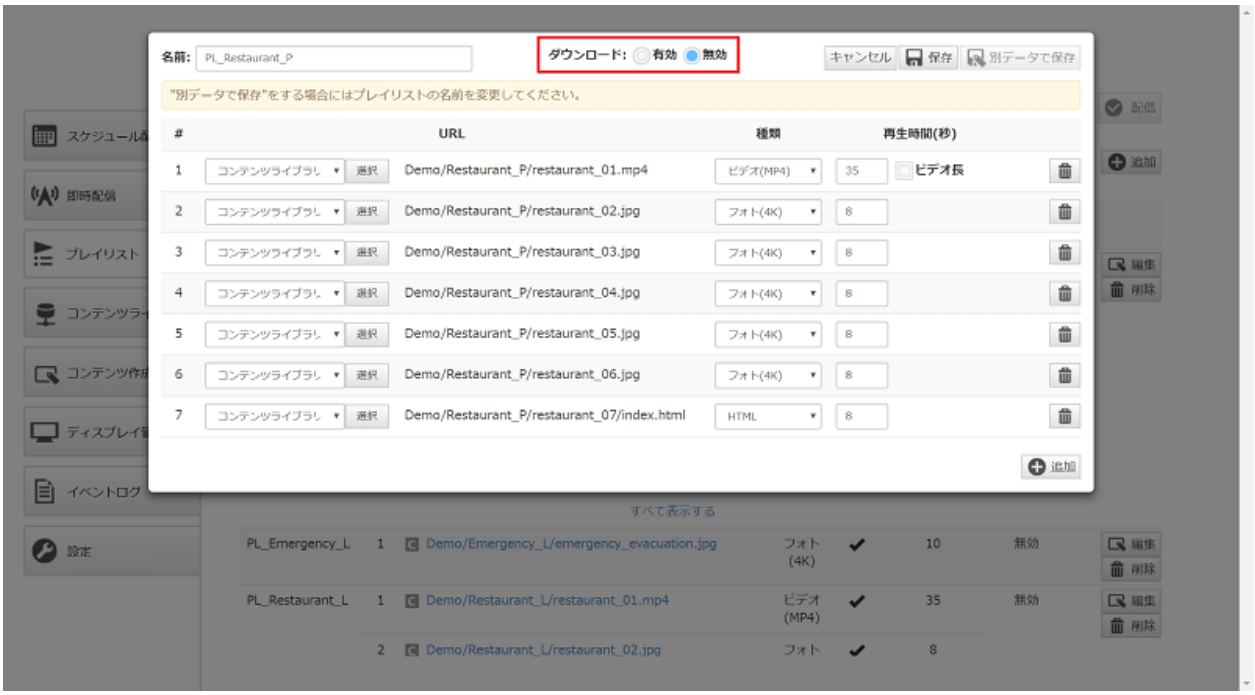
[1] 複製したいプレイリストの情報の右方の [削除] ボタンを押下します。



[2] 続いて表示されるダイアログ上で “はい(削除)” を選択すると、プレイリストの情報が画面上から削除されます。

ダウンロード再生の利用

プレイリストの登録や変更時、[ダウンロード] の設定を “有効” にすることで、ストリーミング再生でなく、ディスプレイに接続されている USB メモリーにコンテンツをダウンロードし、そのファイルが再生されます。ダウンロードが実行されるタイミングやそのほか注意事項については プレイリストのダウンロード運用 を参照ください。

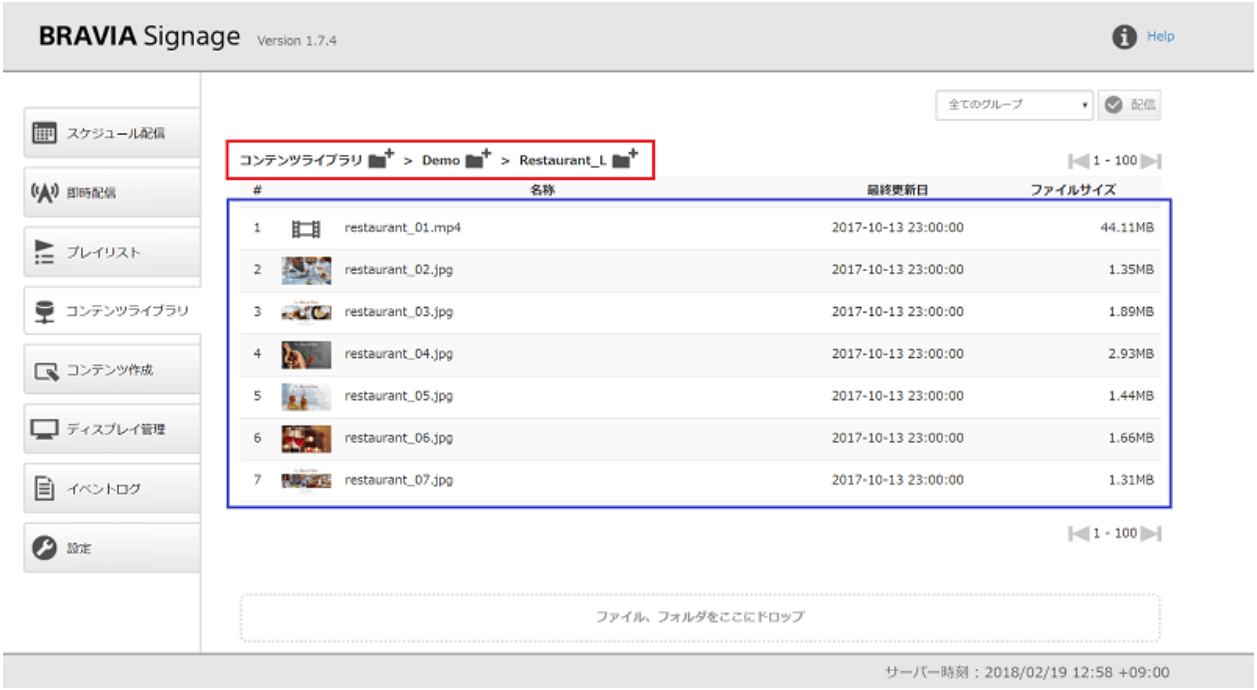

名前: PL_Restaurant_P
ダウンロード: 有効 無効
キャンセル
保存
別データで保存
"別データで保存"をする場合にはプレイリストの名前を変更してください。
URL 種類 再生時間(秒)
1 Demo/Restaurant_P/restaurant_01.mp4 ビデオ(MP4) 35 ビデオ長
2 Demo/Restaurant_P/restaurant_02.jpg フォト(4K) 8
3 Demo/Restaurant_P/restaurant_03.jpg フォト(4K) 8
4 Demo/Restaurant_P/restaurant_04.jpg フォト(4K) 8
5 Demo/Restaurant_P/restaurant_05.jpg フォト(4K) 8
6 Demo/Restaurant_P/restaurant_06.jpg フォト(4K) 8
7 Demo/Restaurant_P/restaurant_07/index.html HTML 8
追加
すべて表示する
PL_Emergency_L 1 Demo/Emergency_L/emergency_evacuation.jpg フォト (4K) 10 無効
PL_Restaurant_L 1 Demo/Restaurant_L/restaurant_01.mp4 ビデオ (MP4) 35 無効
2 Demo/Restaurant_L/restaurant_02.jpg フォト 8

コンテンツライブラリ画面

本画面では、フォルダ管理やコンテンツ名の変更など、コンテンツを登録し管理することができます。また登録したコンテンツは [プレイリスト] 画面から参照できます。ここでは画面上の操作方法について説明します。

[コンテンツライブラリ] 画面の見方について

- 画面上部には、コンテンツを管理するためのフォルダ階層が表示されます。
- コンテンツを登録すると、コンテンツを表すアイコン、コンテンツ名 (フォルダ名またはファイル名)、コンテンツの最終更新日時、ファイルサイズが表示されます。



新規コンテンツの登録方法

[1] Chrome ブラウザで [コンテンツライブラリ] 画面を開いてください。IE ではこの手順はサポートしてません。

[2] 画面下部の [ファイル、フォルダをここにドロップ] に、登録したいコンテンツをドラッグ＆ドロップします。なお、以下のコンテンツの登録はすることができません。

- サイズが 4.0 GB 以上のファイル

- 全角文字など、マルチバイト文字列を含むファイルおよびフォルダ
- 拡張子含め 50 文字以上の名前のファイルおよびフォルダ
- exe,msi,dll 等の一部バイナリファイル

[3] コンテンツの登録作業が開始し、画面上部に登録状況が表示され、登録完了後、画面上に登録したコンテンツが表示されます。コンテンツを登録後、コンテンツを選択し、ダブルクリックするとブラウザの別タブが開き、コンテンツをプレビューすることができます。

プレビューでコンテンツが表示されない場合、アドレスバーの URL に含ま

れる IP アドレスが意図どおりが確認してください。たとえば以下のような場合、コンテンツライブラリの IP アドレスが意図どおりに設定されてない場合があります。この場合、”BRAVIA Signage ユーザーガイド(より進んだ使い方)” の 1.3 節の “CONTENTS_SERVER_URL” の設定方法を参考に、でコンテンツサーバの IP アドレスを明示的に設定し、BRAVIA Signage Server の Windows サービスを再起動してください。

- ネットワークインタフェースが複数ある場合
- オフライン環境下で BRAVIA Signage Server をセットアップしコンテンツをアップロードした場合、など

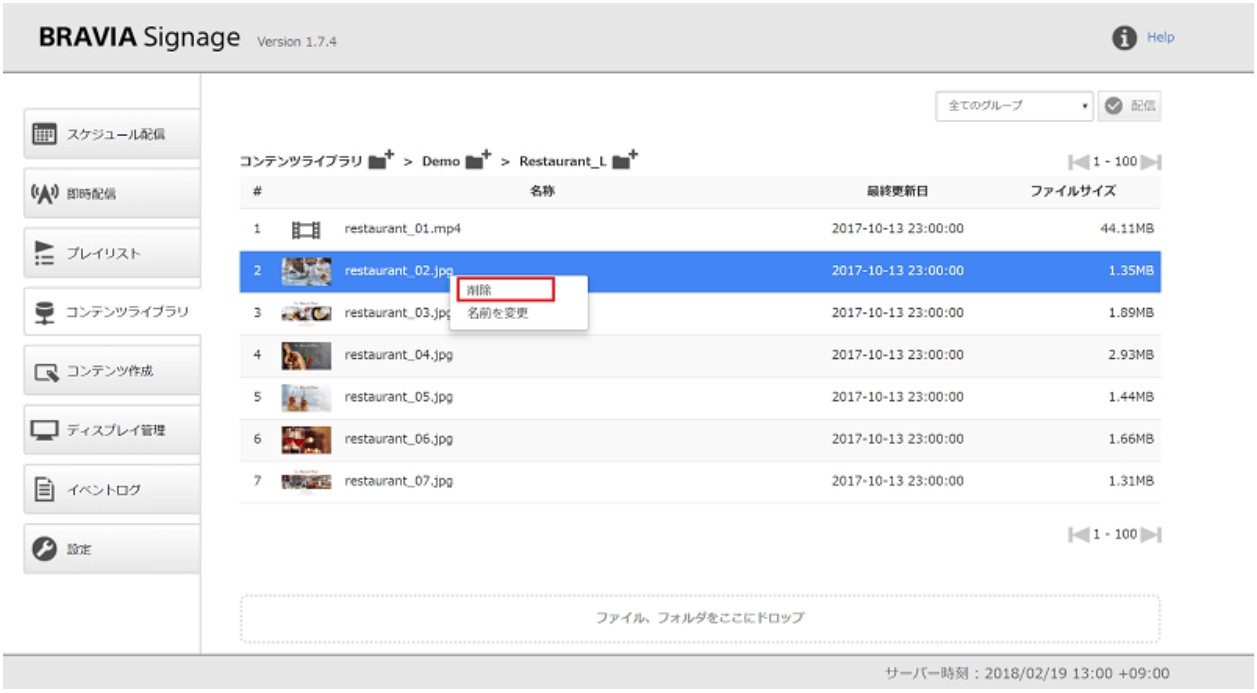
[4] 登録後、そのコンテンツを選択、右クリックし [名前を変更] を選択することで、コンテンツ名を変更することができます。

コンテンツの更新方法

- 登録したコンテンツを更新する際は、そのコンテンツを削除した上で再度登録するか、同じ名前のコンテンツを登録することで上書き更新されます。更新したコンテンツがダウンロード対象のプレイリストに含まれている場合、ディスプレイに対しコンテンツを再度ダウンロードし更新する必要がありますが、そちらについては、プレイリストのダウンロード運用 を参照ください。

登録したコンテンツの削除方法

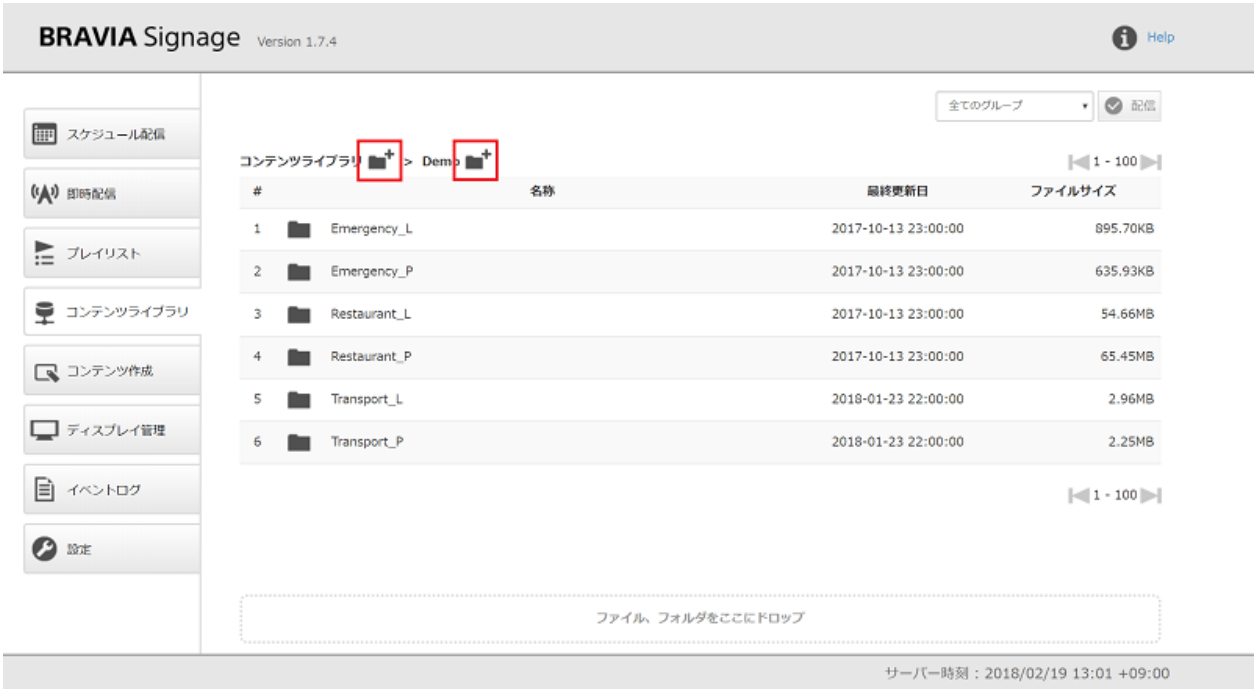
[1] 削除したいコンテンツを選択、右クリックし [削除] を選択します。



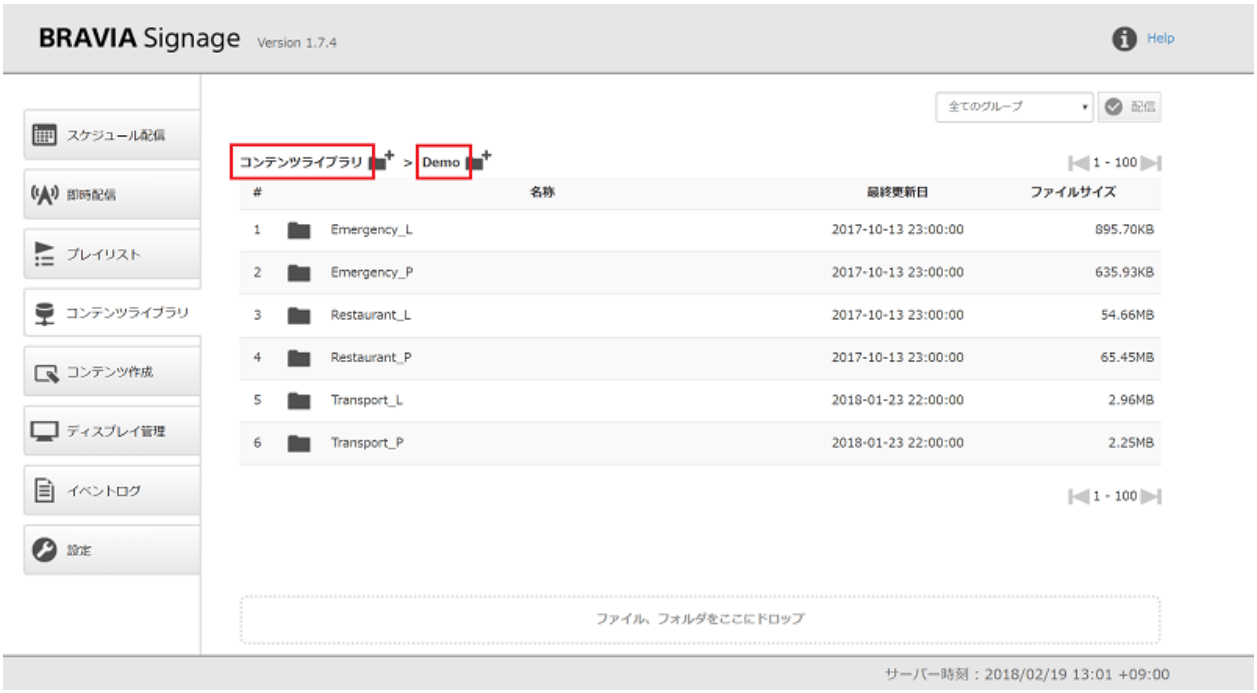
[2] 続いて表示されるダイアログ上で “はい(削除)” を選択すると、画面上からコンテンツが削除されます。

フォルダを使ったコンテンツ管理

- 画面上部に表示されているフォルダ階層において、フォルダアイコンをクリックするとフォルダを作成することができます。アイコンをクリックし、フォルダ名を入力してください。



- 画面上部に表示されているフォルダ階層において、フォルダ名をクリックすると、そのフォルダ階層に移動することができます。



- あるフォルダに登録したコンテンツと同様のファイル名のコンテンツを登録すると、ファイルが上書き更新されるのでご注意ください。

別の HTTP サーバと連携する方法

- BRAVIA Signage のインストール時、Apache HTTP Server がインストールされ、コンテンツライブラリ機能の初期設定では、コンテンツ管理サーバとして Apache を利用する設定になってます。既にコンテンツ管理サーバを運用、また

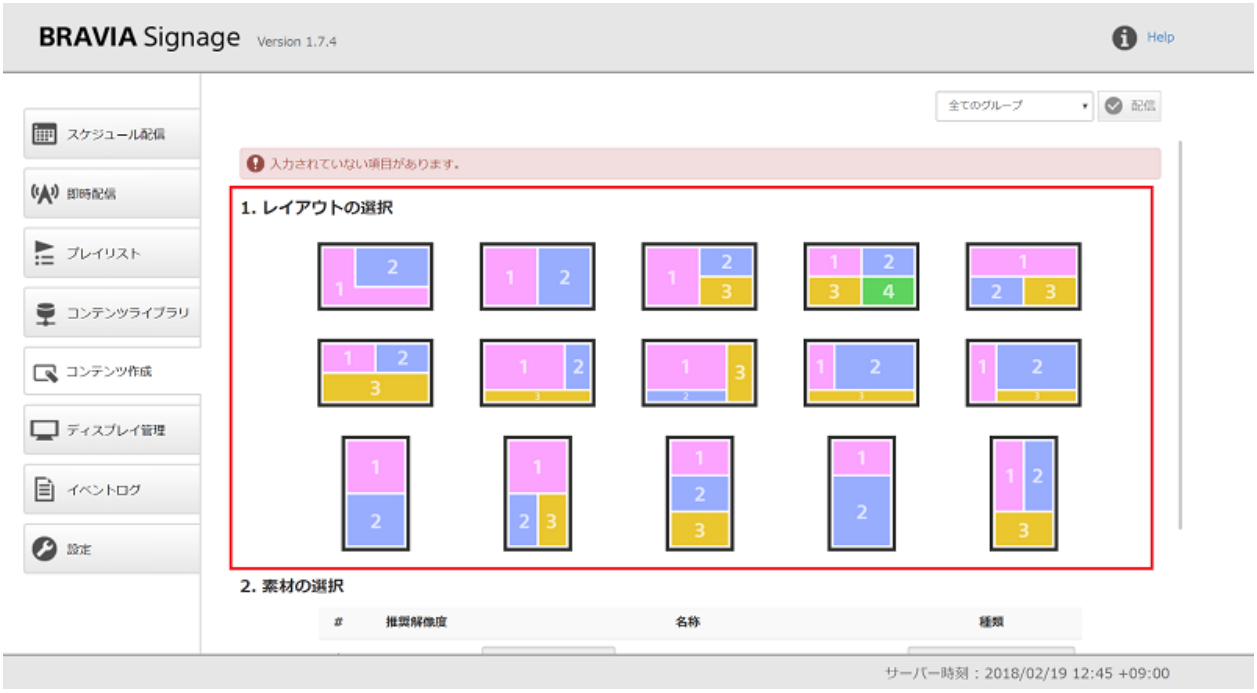
は自身でコンテンツ管理サーバを運用する場合は、そのサーバを利用し、本コンテンツライブラリ機能と連携することができます。設定の方法について、コンテンツライブラリの設定 を参照ください。

コンテンツ作成画面

本画面では、ある決められたレイアウトから選択し、コンテンツを作成することができます。作成したコンテンツは、コンテンツライブラリへの登録、プレイリストに設定しディスプレイへ配信することができます。ここではコンテンツの作成方法と注意事項について説明します。 なお本機能を利用するためには、[設定] 画面の [コンテンツ作成] の [メニュー表示] を“表示” に変更する必要があります。

コンテンツの作成方法

[1] 画面上部の [1. レイアウトの選択] から作成するコンテンツのレイアウトを選択します。



[2] レイアウトを選択すると、[2. 素材の選択] で素材の指定ができるよう表示が切り替わります。手順 [1] で選択したレイアウトのアイコンの各領域に表示されている番号および以下の点を参考に各々素材を指定していきます。

BRAVIA Signage
Version 1.7.4
Help
スケジュール配信
即時配信
プレイリスト
コンテンツライブラリ
コンテンツ作成
ディスプレイ管理
イベントログ
設定
全てのグループ
配信
2. 素材の選択
#
推奨解像度
名称
種類
1
384 x 1080
2
1536 x 864
3
1536 x 216
選択してください
サーバー時刻：2018/02/19 12:46 +09:00

- 素材の指定は、PC に保存されているファイルから選択するか、URL 文字列を入力するか、またはディスプレイの外部入力を指定することができますが、各々 “ファイルを選択”、”URL を入力する”、”外部入力” のいずれかを選択することで指定することができます。
  - “ファイルを選択” を指定した場合、[選択] ボタンが表示されるので、そのボタンを押下し、PC に保存されているファイルを選択してください。なお、全角文字などのマルチバイト文字列を含むファイルおよびファイルサイズが 4.0 GB を超えるファイルには対応しておりません。
  - “URL を入力する” を指定した場合、入力フィールドが表示されるので、表示したい URL を指定してください。なお、X-Frame-Option ヘッダを応答として返すウェブサイトには対応しておりません。
  - “外部入力” を指定しディスプレイへ配信を行った場合、ディスプレイの外部入力端子の入力映像を表示されます。表示される端子は、ディスプレイの [入力切替] の設定で有効になっているものになります。なお縦方向のレイアウトを選択した場合、外部入力を指定には対応しておりません。
- レイアウトの各領域に指定する素材のアスペクト比は、[推奨解像度] に表示される内容をご確認ください。
  - 指定した素材のアスペクト比が [推奨解像度] の値と異なる場合、素材のアスペクト比を維持しダウンスケールした素材としてディスプレイに表示されます。表示位置はレイアウト中の各領域の中央になります。
  - [推奨解像度] のアスペクト比とは異なるが、その解像度に満たない場合、スケールせずに中央に表示されます。
- 複数のビデオを素材として指定することはできません。手順 [5] でのプレビューでは両方表示されますが、作成したコンテンツをディスプレイに配信しても、片方のビデオのみの表示となります。
- ビデオ (MP4, MPEG2TS, 4K) と外部入力の両方を指定したコンテンツの作成には対応しておりません。

[3] 素材を指定後、[種類] を入力します。[種類] については、以下を参考に入力してください。

- 手順 [2] において、”ファイルを選択” で指定された素材の種類は、プレイリスト画面 の説明を参照ください。
- 同様に “URL を入力する” を指定した場合、素材の種類として “HTML” を指定してください。

[4] 必要に応じ、以下の点を参考に BGM を指定してください。BGM を指定することにより、静止画など音声のないコンテンツについて BGM を付け再生することができます。

- 手順 [2] において、素材にビデオ (MP4, MPEG2TS, 4K) を指定しコンテンツを作成する場合、BGM の指定には対応してません。
- BGM に指定可能な音声のフォーマットは以下のとおりです。

プロトコル	コンテナ	コーデック	MIME type	そのほか
HTTP(S)	MP4	AAC-LC	audio/aac	32kHz, 44.1kHz, 48kHz / 384kbps(max) / 5.1ch
		HE-AAC	audio/aac	32kHz, 44.1kHz, 48kHz, 2ch
HTTP(S)	MP3	MP3	audio/mp3	32kHz, 44.1kHz, 48kHz, 2ch

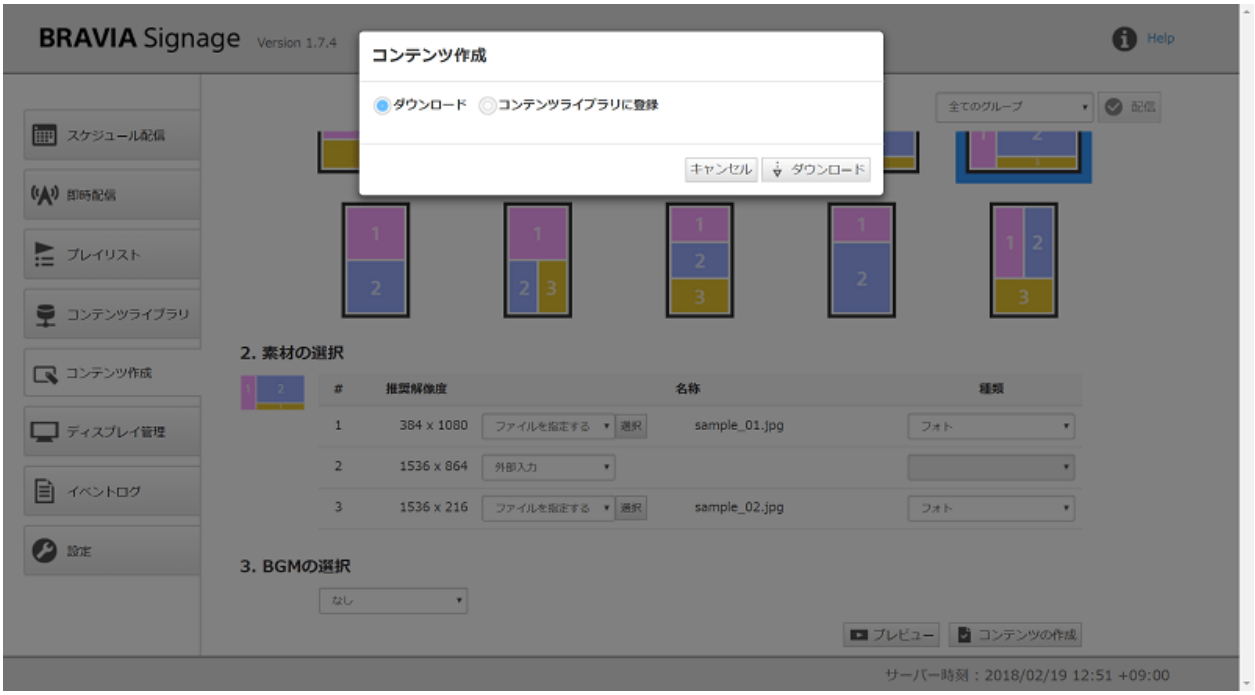
[5] 必要な項目を入力すると、画面下部の [プレビュー] ボタンが有効化されるので、必要に応じボタンを押下してください。ボタン押下すると、ブラウザ上で別タブが開きコンテンツが表示されます。

- 素材として “外部入力” を指定した場合、その領域はプレビュー時には表示されません。
- また、お使いの PC の設定に応じて、指定したビデオが表示されないことがあります。

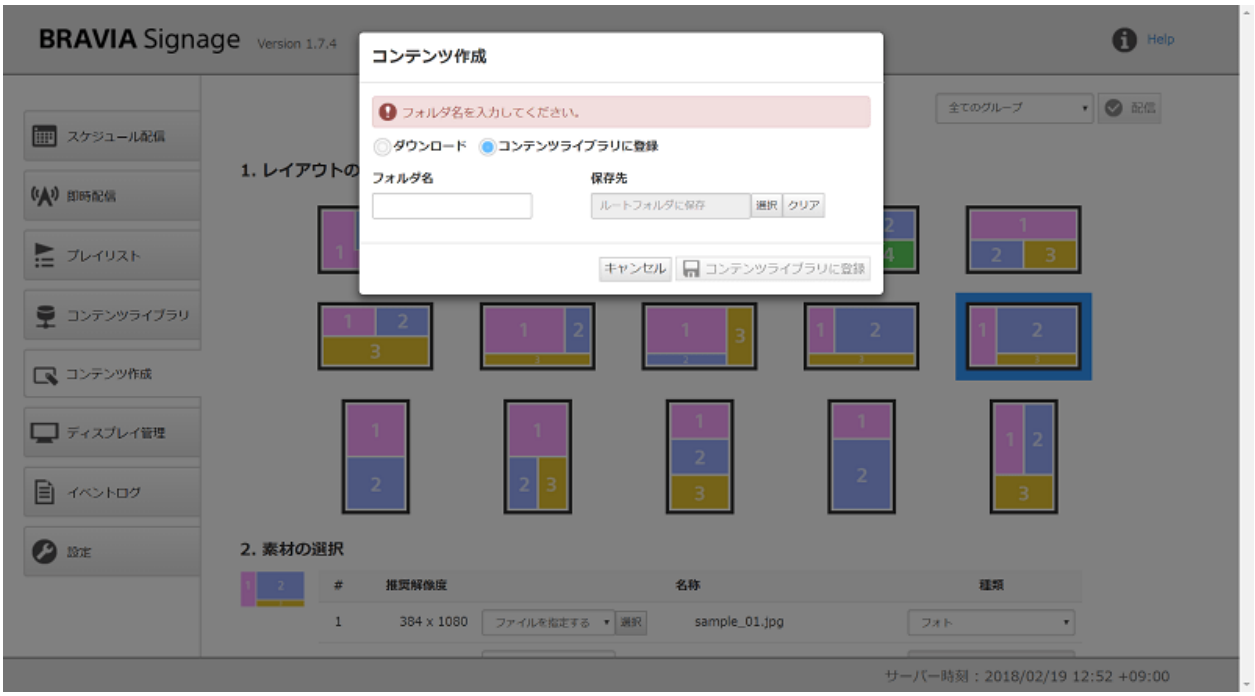
[6] 必要な項目を入力すると、画面下部の [コンテンツの作成] ボタンが有効化されるので、ボタンを押下してください。

[7] 続いてダイアログが表示されるので、[ダウンロード] または [コンテンツライブラリに登録] のいずれかで選択しコンテンツを作成します。

- [ダウンロード] を選択すると、[ダウンロード] ボタンを押下すると作成したコンテンツが zip ファイル形式でダウンロードされます。ダウンロードした zip ファイルを展開し index.html を開くと、手順 [5] でプレビューした内容と同じものが表示されます。



- [コンテンツライブラリに登録] を選択すると、[コンテンツライブラリ] 画面上に作成したコンテンツを登録することができます。[コンテンツライブラリに登録] ボタンを押下すると、[保存先] に指定したフォルダ階層に、[フォルダ名] に入力したコンテンツ名でコンテンツが登録されます。



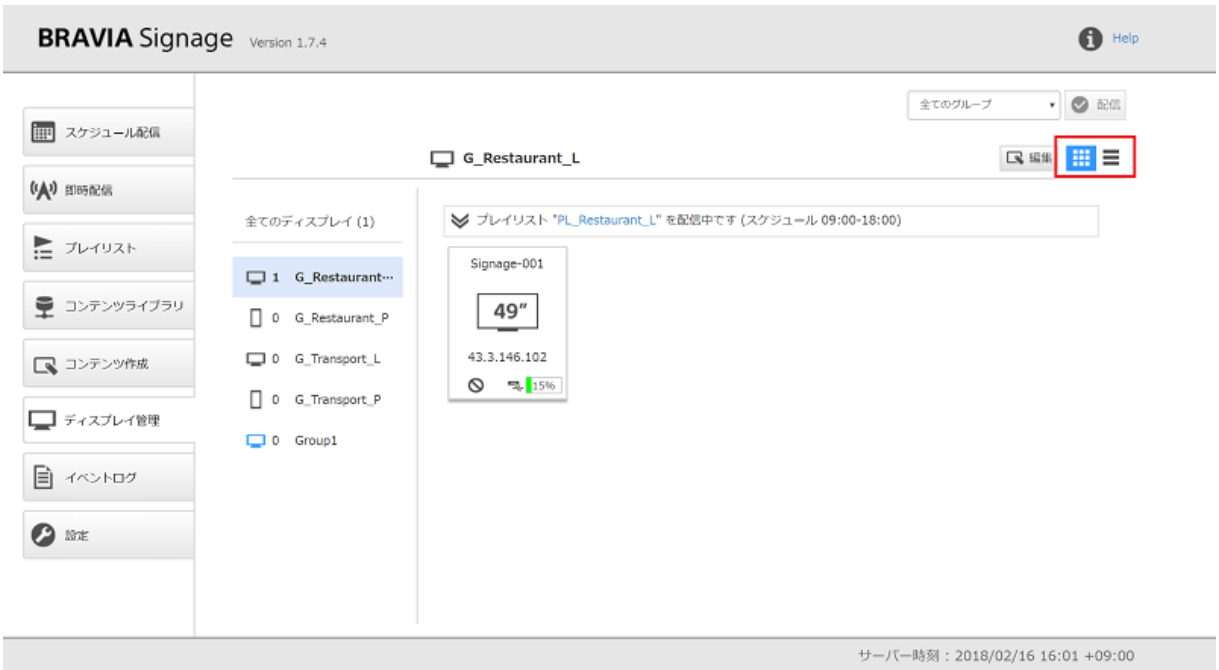
ディスプレイ管理画面

[ディスプレイ管理] 画面では、グループやディスプレイを管理することができます。グループとは、複数のディスプレイを管理するためのものであり、[スケジュール配信] 画面や [即時配信] 画面で登録された配信情報はグループごとに指定されたます。ここでは画面上の操作方法について説明します。

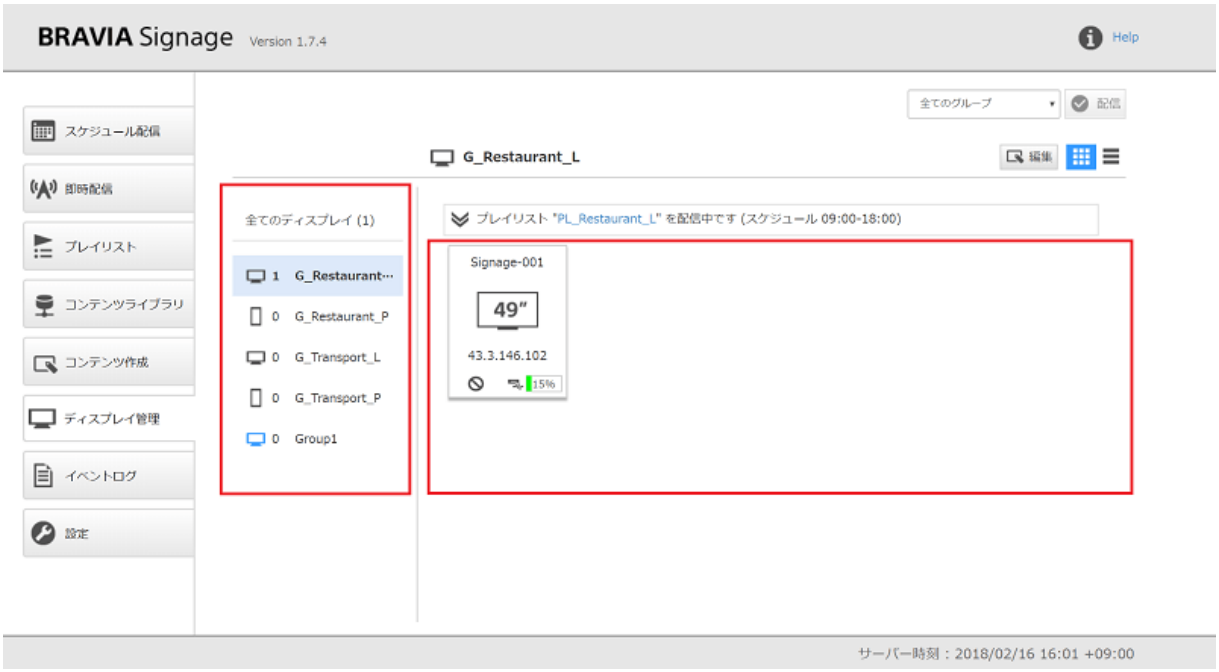
なお、グループにはタイムゾーンの情報を付加することができ、複数タイムゾーンのある国や地域で運用するための機能があります。こちらについては、複数のタイムゾーンでの配信スケジュールの運用 を参照ください。

[ディスプレイ管理] 画面の見方について

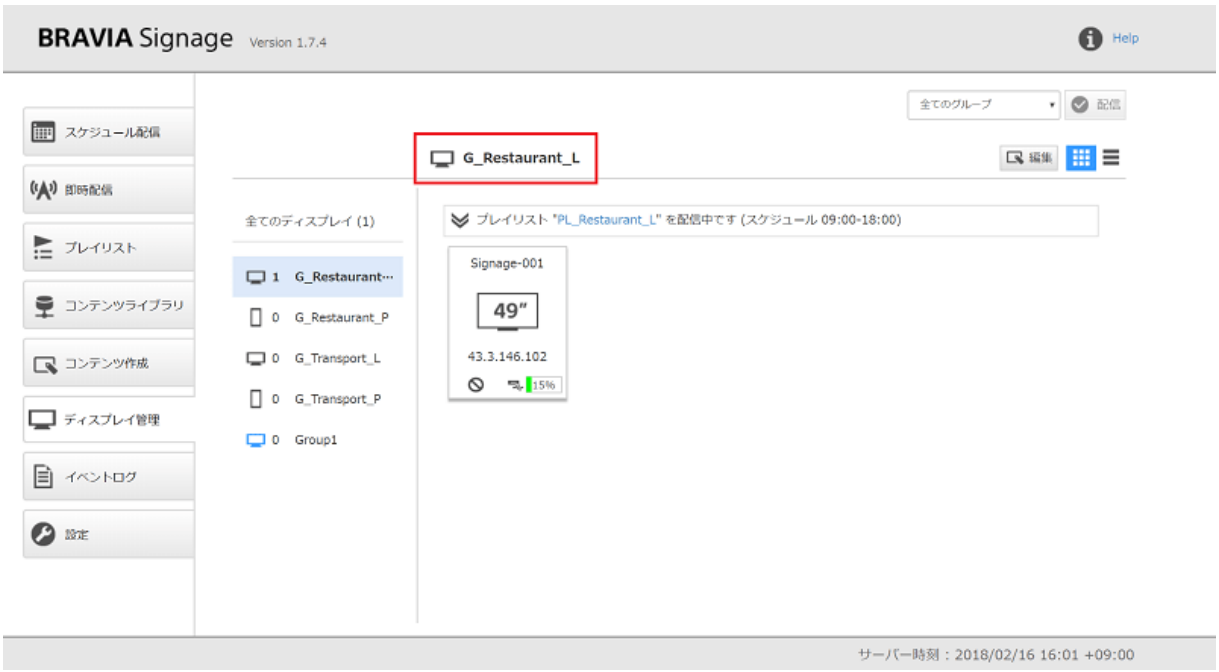
- 画面右上部分で “タイル表示” または “リスト表示” の表示形式を選択することができます。



- 画面左側にグループの一覧が表示され、そこで選択しているグループに応じ、右側にはグループに所属しているディスプレイの一覧が表示されます。グループの一覧上の青色のアイコンは、ディスプレイを登録したときに登録されるグループを表しています。



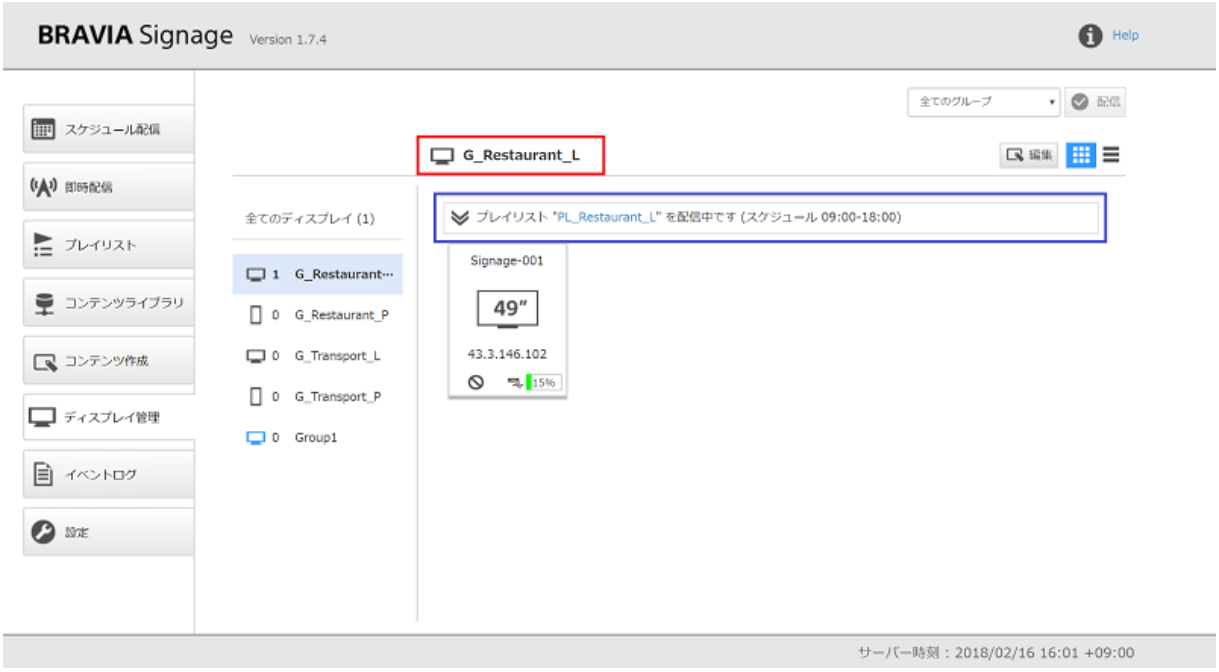
- グループ一覧で選択しているグループに応じ、画面上部にグループ名とそのグループに所属するディスプレイが横置または縦置かを識別するための情報が表示されます。



グループの情報について

- グループの情報として、グループ名、ディスプレイの置き方、グループの実行状態が表示されます。

- 画面上部にグループ名、その左横に横置か縦置かがアイコンとして表示されます。また、ディスプレイ情報が表示される領域の上部に、グループの状態が表示れます。



グループの状態の説明

状態として表示される内容	説明
プレイリスト {プレイリスト名} を配信中です (スケジュール {開始時刻}-{終了時刻})	グループに設定された配信スケジュールが実行されている状態を表しています。
プレイリスト {プレイリスト名} を配信中です (即時配信 {即時配信の名前})	即時配信が実行されている状態を表しています。
配信中のコンテンツはありません	電源スケジュールで電源オンの期間中で、配信が実行されてない状態を表しています。
電源オフのスケジュール期間中です	電源スケジュールで電源オフの期間中であることを表しています。

- グループにディスプレイが登録されている、かつ配信中であれば、ディスプレイの配信状態の詳細を確認することができます。グループの状態を開き、ディスプレイを選択することで、以下のように詳細情報が表示されます。

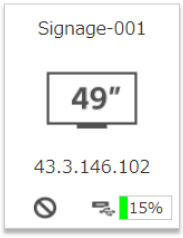
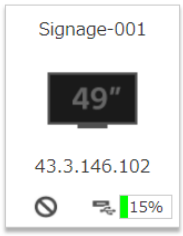
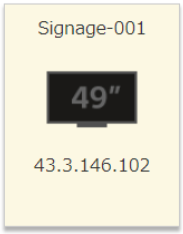
BRAVIA Signage
Version 1.7.4
Help
スケジュール配信
即時配信
プレイリスト
コンテンツライブラリ
コンテンツ作成
ディスプレイ管理
イベントログ
設定
全てのグループ
配信
G_Restaurant_L
編集
全てのディスプレイ (1)
1 G_Restaurant…
0 G_Restaurant_P
0 G_Transport_L
0 G_Transport_P
0 Group1
プレイリスト "PL_Restaurant_L" を配信中です (スケジュール 09:00-18:00)
Le Bistrot Fiore
取得した情報の詳細
ディスプレイ名: Signage-001
ディスプレイ状態: 再生中
URL: http://43.3.151.179/Demo/Restaurant_L/restaurant_01.mp4
再生状態: 00:00:11/00:01:35
Signage-001
49"
43.3.146.102
15%
サーバー時刻：2018/02/16 16:21 +09:00

ディスプレイの情報について

- ディスプレイの情報として以下のような情報が表示されます。

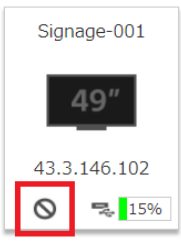
情報	説明
名前	ディスプレイに設定した名前です。タイル表示の場合、最上部に表示されます。
IP アドレス	タイル表示の場合、中央に表示されます。
MAC アドレス	タイル表示の場合、詳細表示のみ表示され、リスト表示の場合、IP アドレスの情報にマウスオーバーすると表示されます。
モデル名とインチ数	タイル表示のみ表示されます。モデル名は詳細表示のみ表示され、インチ数はディスプレイのアイコンに数字として表示されます。
ファームウェア	ディスプレイのファームウェアのバージョンが表示されます。タイル表示の詳細表示のみ表示されます。
ソフトウェア	ディスプレイにインストールされている Player のバージョンが表示されます。
ストレージ	ディスプレイに接続されている USB メモリーの容量に関する情報が表示されます。タイル表示の場合、右下にアイコンとして表示されます。
ディスプレイの稼働状態	後述を参照ください。
ダウンロードの実行状態	後述を参照ください。

- 本画面からディスプレイの稼働状態を確認することできます。以下のようにアイコンの色で稼働状態が表示されます。またリスト表示においては、色に加え [状態] にテキスト情報として表示されます。

状態	アイコン	説明
電源オン		ディスプレイの電源がオンである状態を表しています。
電源オフ		ディスプレイの電源がオフである状態を表しています。
オフライン		再起動など、ディスプレイがネットワークに接続されてない状態を表しています。
無効		ディスプレイが無効化されている状態を表しています。

- 本画面からプレイリストのダウンロードの実行状態を確認することができます。タイル表示の場合、ディスプレイ情報の左下アイコンとして表示されます。またリスト表示の場合、[ダウンロード] にアイコンとして表示されます。

  タイル表示の場合

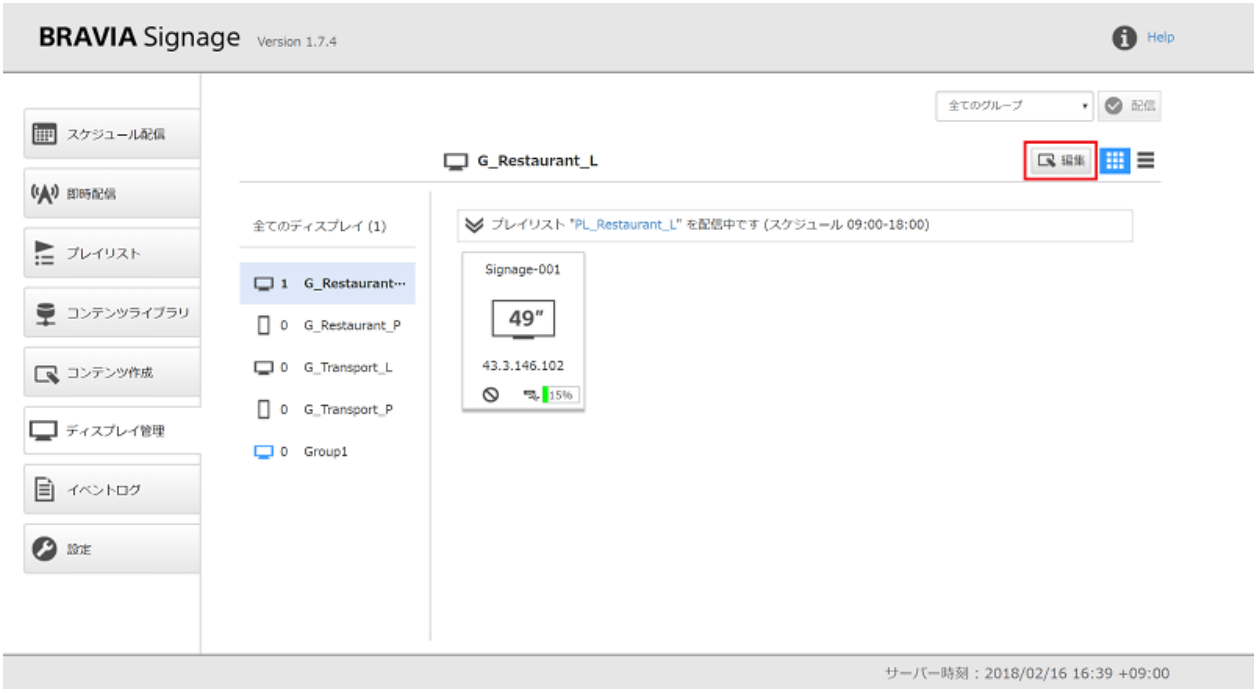
  リスト表示の場合

ダウンロード状態の定義は以下のとおりです。

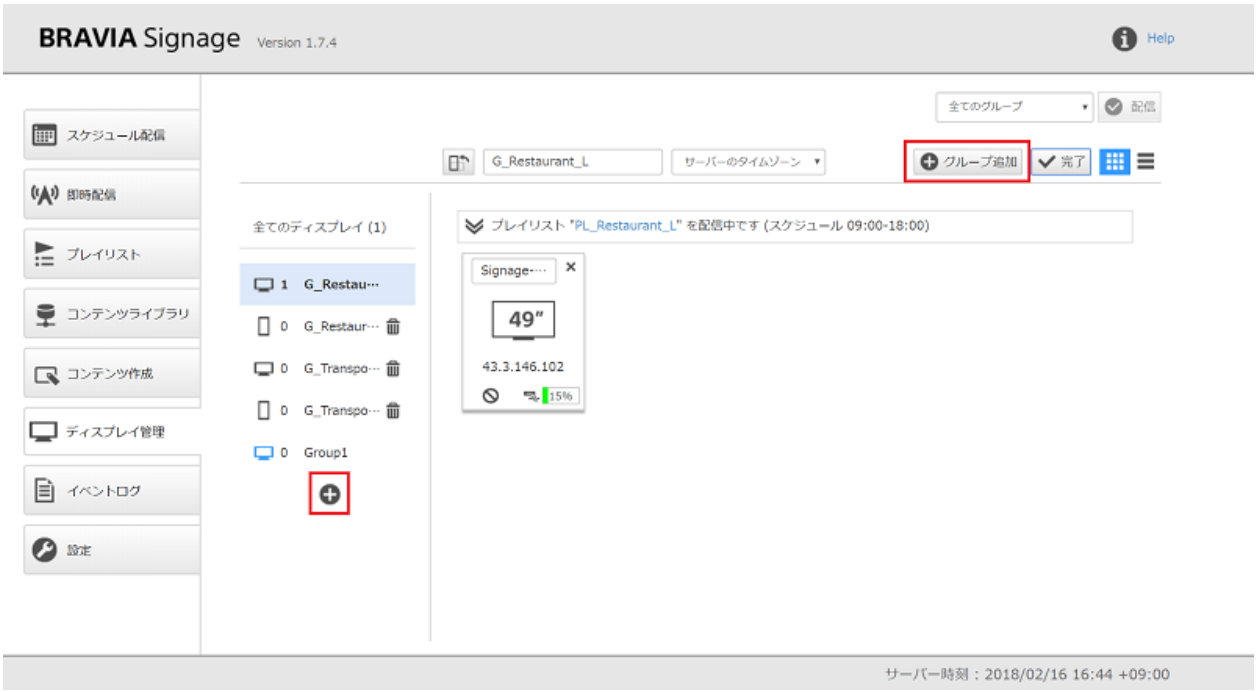
状態名	アイコン	説明
不要		ダウンロード対象のプレイリストがない場合に表示されます。
前		ダウンロード対象のプレイリストがあり、ダウンロードに失敗したコンテンツがなく、かつダウンロードが開始されてないものがある場合に表示されます。
中		ダウンロード対象のプレイリストがあり、"完了" "失敗" 前" 以外の状態の場合に表示されます。
完了		ダウンロード対象のプレイリストがあり、すべてのコンテンツが正常にダウンロードされている場合に表示されます。
失敗		ダウンロード対象のプレイリストがあり、ダウンロードに失敗したコンテンツがある場合に表示されます。

新規グループの登録方法

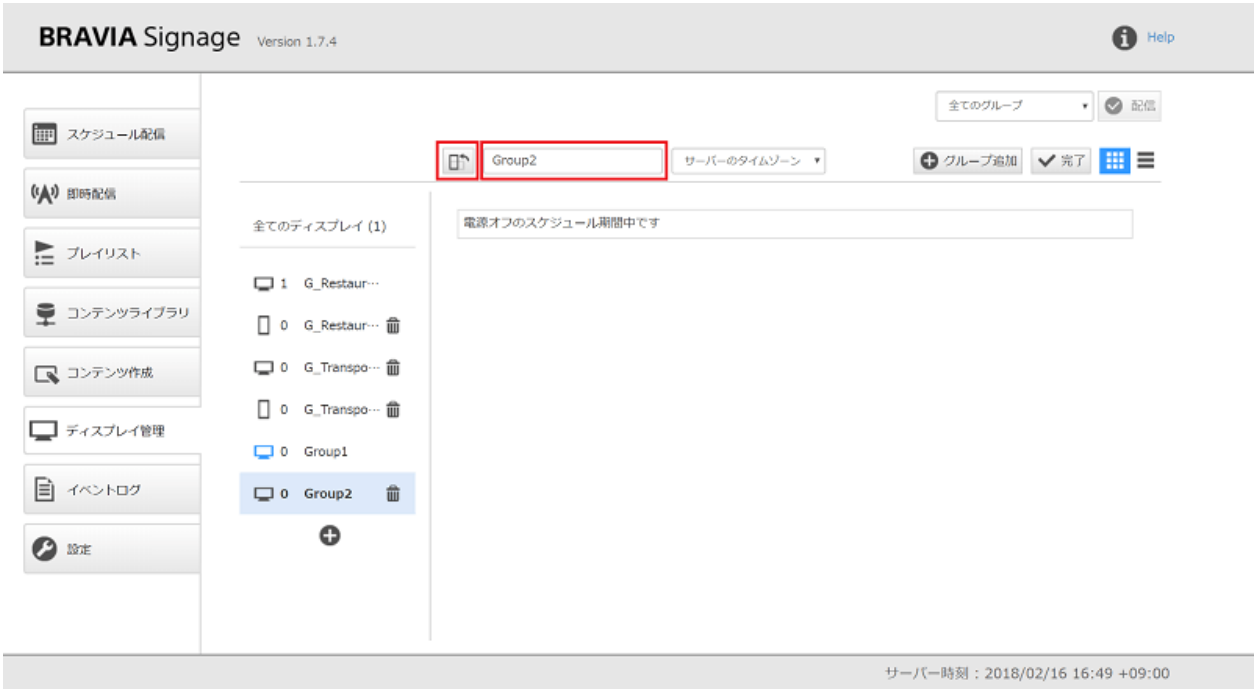
[1] 画面右上の [編集] ボタンを押下します。



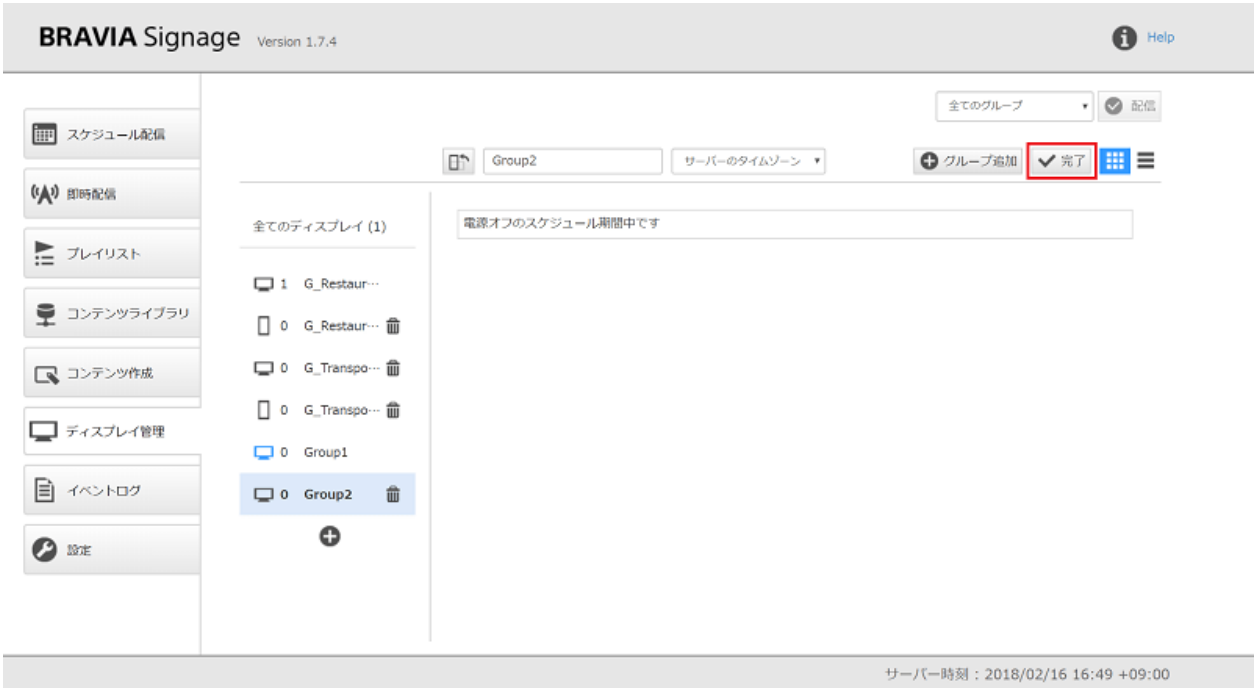
[2] ボタン押下後、右上に [グループ追加] ボタンおよびグループ一覧の配下に [+] ボタンが表示されるので、いずれかのボタンを押下するとグループが追加されます。



[3] 必要に応じて、左上に表示されるグループ名を編集することで、名前を変更することができます。また、グループ名の左横に表示されるアイコンをクリックすることで、そのグループに所属するディスプレイが、横置または縦置かを識別するための情報を設定することができます。



[4] 最後に、画面右上の [完了] ボタンを押下します。



登録済みのグループの編集方法

- “**新規グループの登録方法**” に記載の手順 [1] と [3]、[4] を参照ください。

ディスプレイの登録方法

ディスプレイを [ディスプレイ管理] 画面に新規登録するためには、ディスプレイ本体にインストールした BRAVIA Signage Player の設定を行う必要があります。

[1] 後述の config.txt というファイルを作成し、USB メモリーのルートフォルダに保存、ディスプレイの USB ポートに接続すると以下のような画面が表示されるので、[開始] を選択し [保存] ボタンを選択すると、BRAVIA Signage Player の設定を行うことができます。

config.txt は、BRAVIA Signage Player の設定ファイルです。JSON 形式で記載され、ディスプレイの名前や接続する BRAVIA Signage Server の URL などを設定します。ここでは設定に必要な最低限の内容の説明のみ行い、詳細は、Appendix IV. config.txt 仕様 を参照ください。

以下は例になりますが、”server” キーには、BRAVIA Signage Server の URL、”tv-name” キーにはディスプレインにつける名前を設定します。その他の値は、以下のように設定してください。

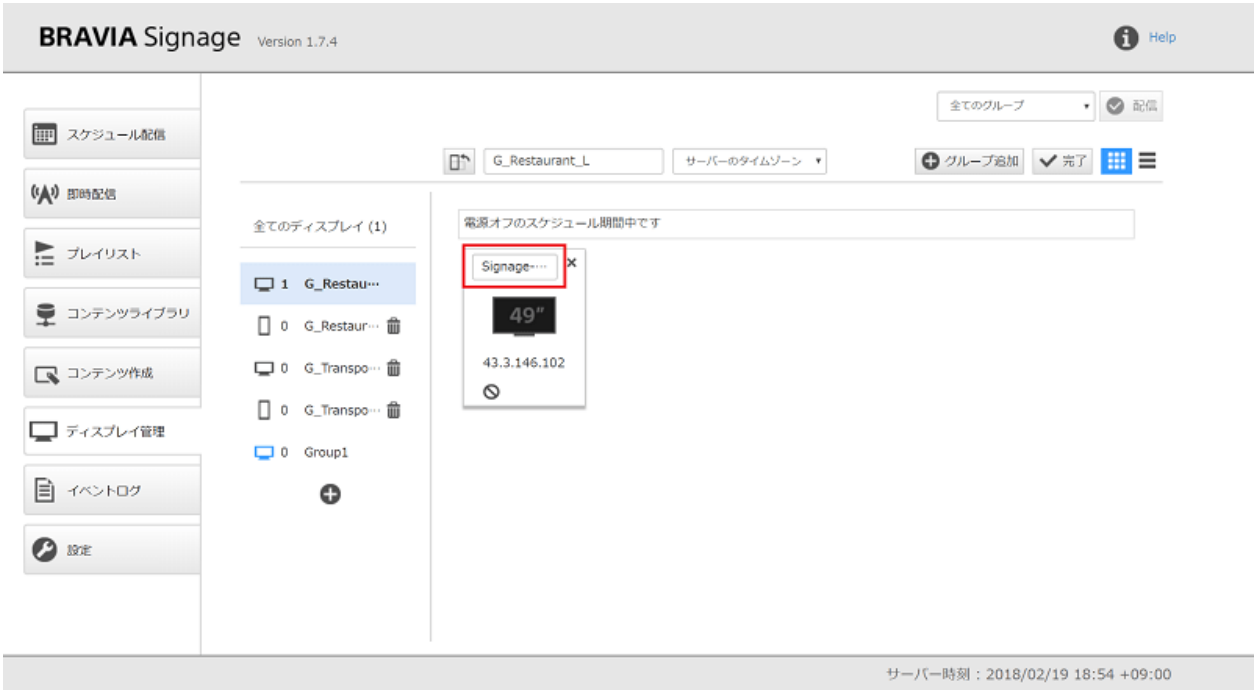
```
"settings" : {
  "server" : "http://example:8080/",
  "tv-name" : "Signage-001",
  "override" : true
},
"version" : "1"
```

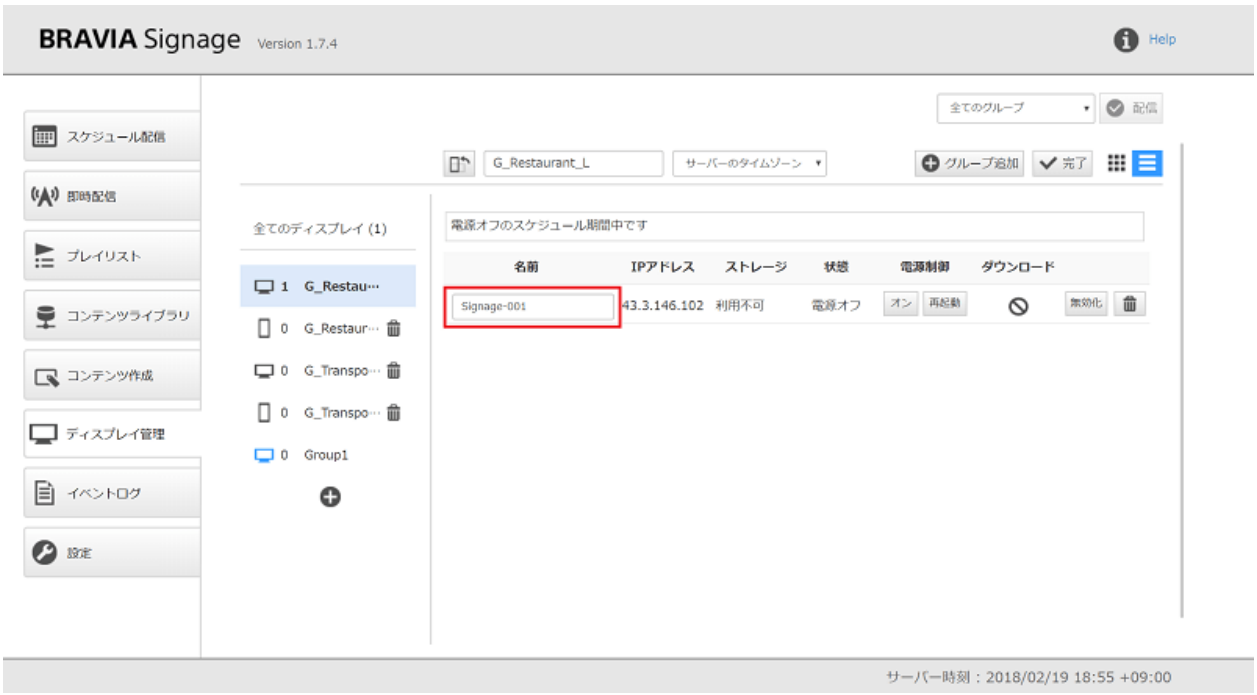
[2] 設定後、[ディスプレイ管理] 画面上にディスプレイが登録されますが、グループ一覧のグループのアイコンが青色のグループに登録されます。

ディスプレイのグループ変更方法

[1] 画面右上の [編集] ボタンを押下します。

[2] ボタン押下後、グループ一覧上のグループ名に変更したいディスプレイの情報をドラッグ＆ドロップすると、グループの変更ができます。





[3] 最後に、画面右上の [完了] ボタンを押下します。

ディスプレイの名前変更方法

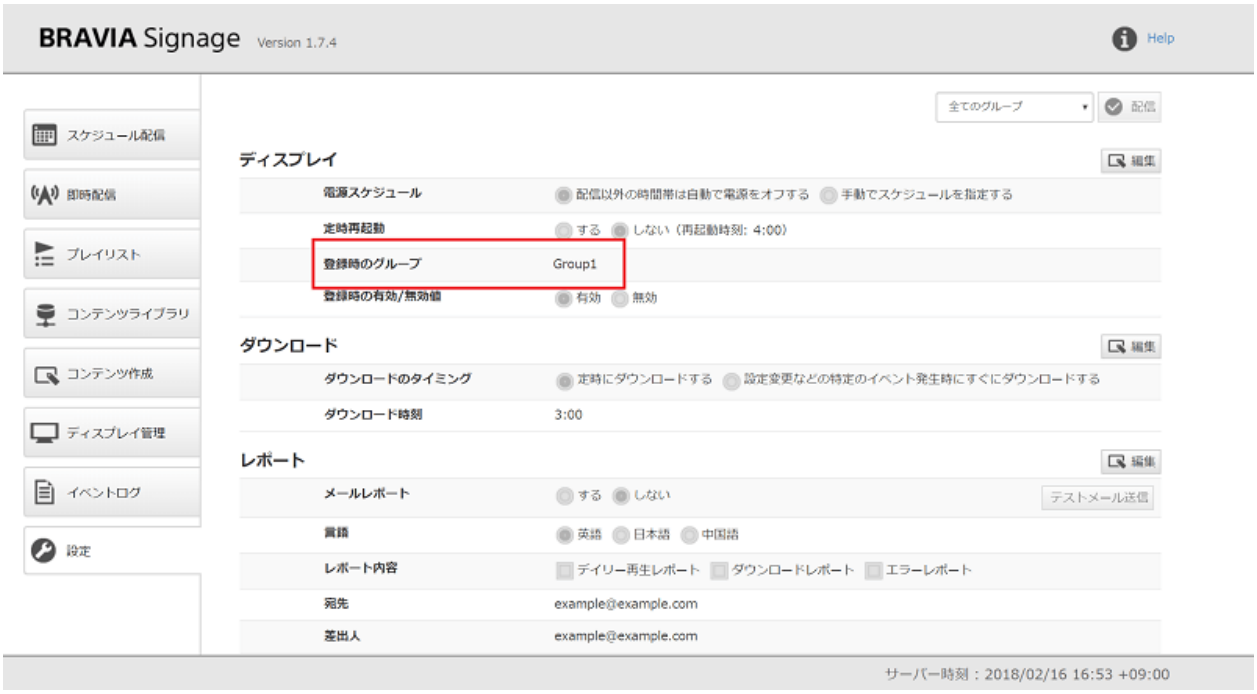
[1] 画面右上の [編集] ボタンを押下します。

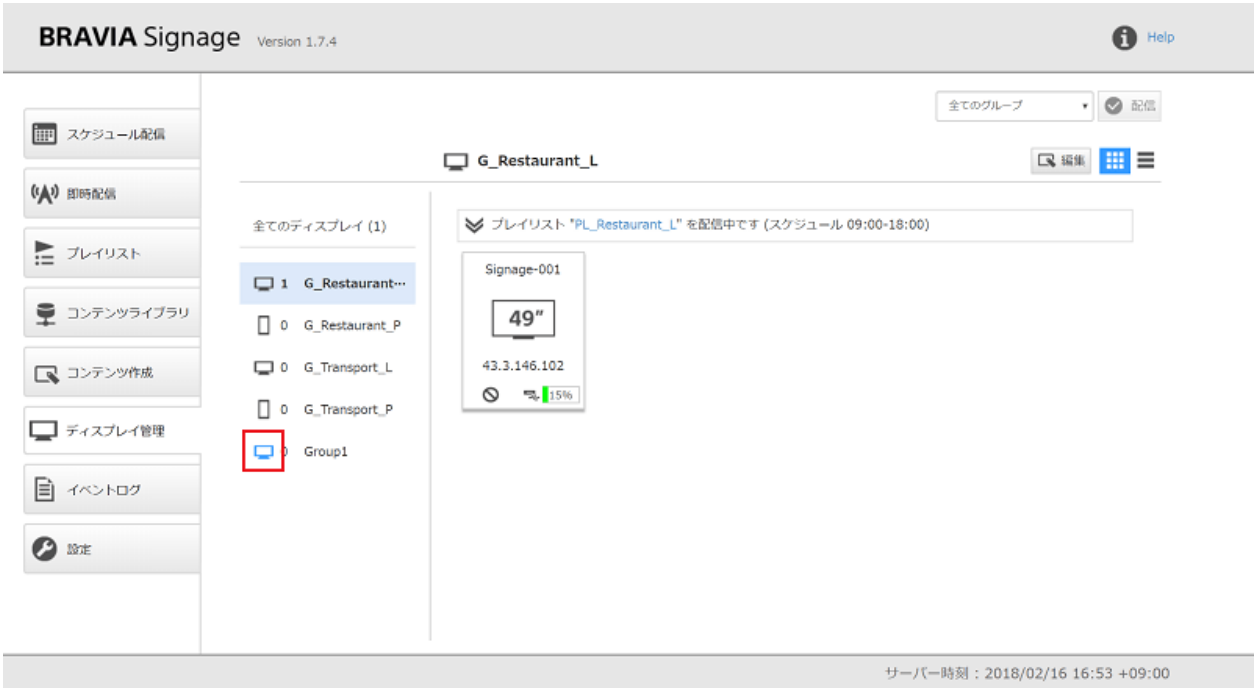
[2] ボタン押下後、ディスプレイの [名前] 欄の情報を変更してください。

[3] 最後に、画面右上の [完了] ボタンを押下します。

ディスプレイ登録時の初期グループの指定方法

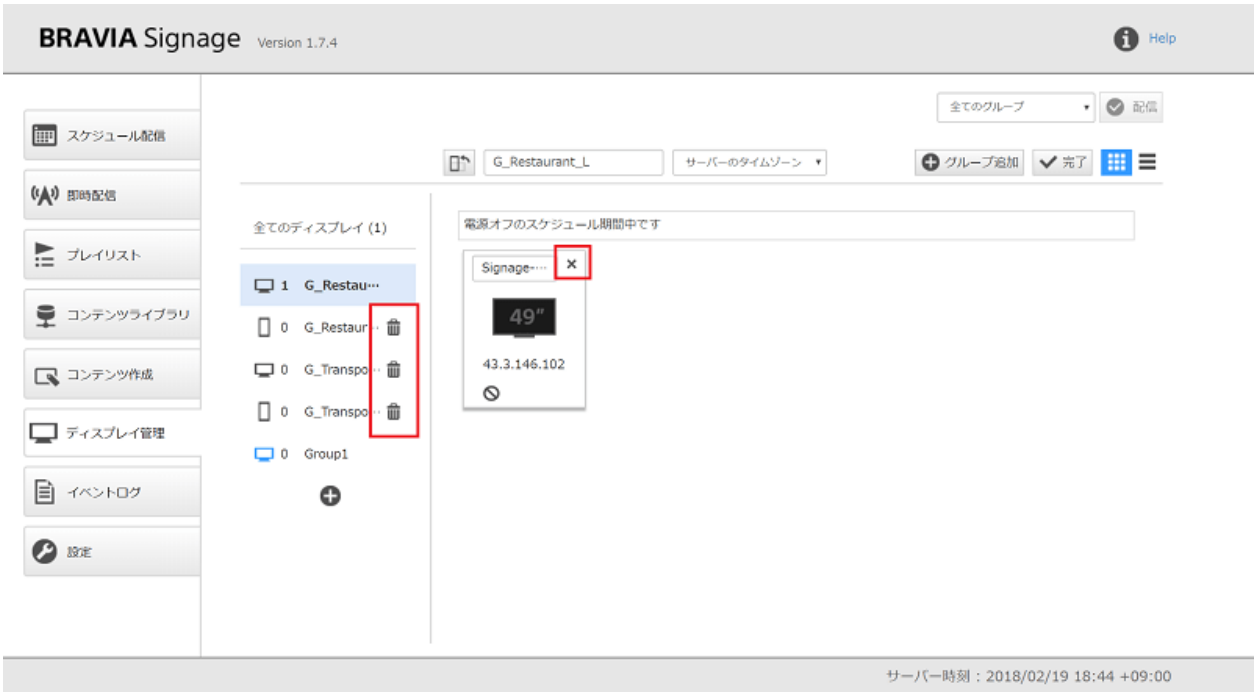
- [設定] 画面に移動し、[ディスプレイ] の [登録時のグループ] から変更するができます。変更後、[ディスプレイ管理] 画面のグループ一覧上のアイコンが青色になっていることを確認してください。

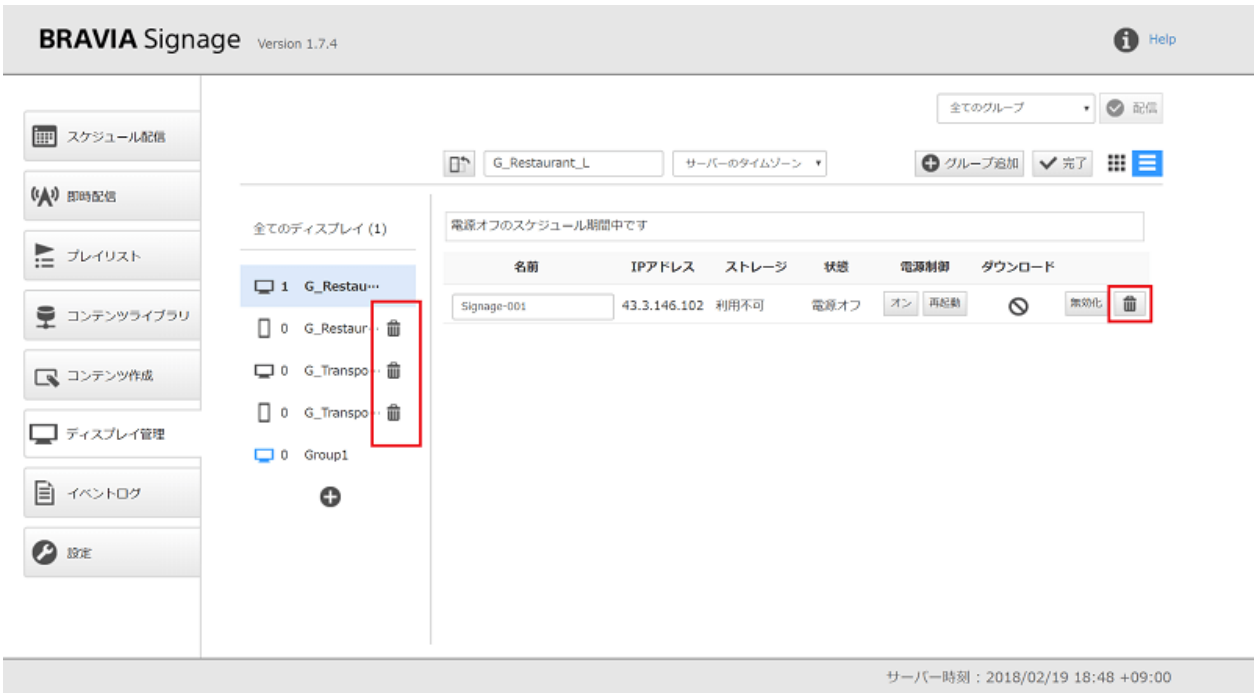




登録したグループやディスプレイの削除方法

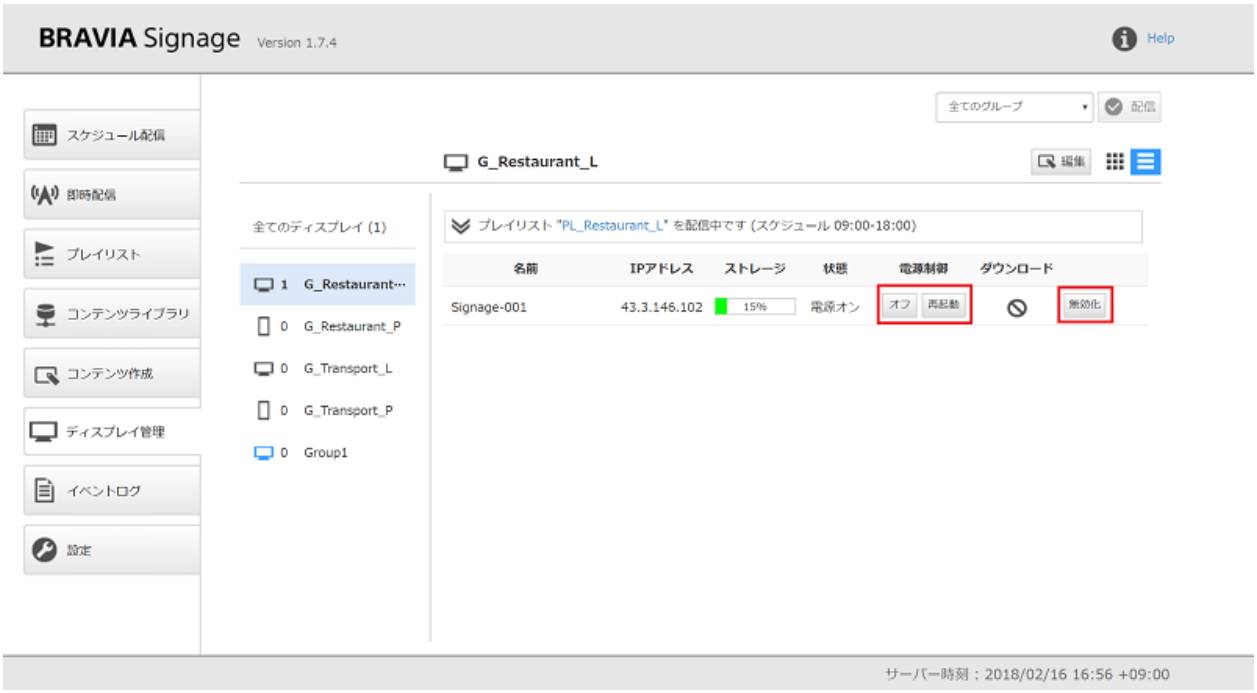
- 画面右上の [編集] ボタンを押下後、以下のように、ゴミ箱や × 印をのボタンを押下することで削除することができます。削除後、画面右上の [完了] ボタンを押下します。





遠隔値からのディスプレイの制御方法

- 本画面から遠隔地にあるディスプレイの電源のオン/オフ、再起動の実行、ディスプレイの有効化/無効化を実行することができます。表示方法を “リスト表示” に変更すると、各々ボタンが表示されるので、そのボタンを押下してください。



- なお “有効化/無効化” とは、ディスプレイにインストールされている BRAVIA Signage Player に対し、BRAVIA Signage Server へ接続を有効にするか無効するかを設定します。”有効” から “無効” にすると対象のディスプレイは再起動し、その上で動作する BRAVIA Signage Player は BRAVIA Signage Server と接続ができなくなります。

そのほか

- タイル表示時、ディスプレイのアイコン上をマウスオーバーすると詳細情報が表示されますが、この状態で右クリックし、”詳細情報をクリップボードにコピー” を選択すると、ディスプレイの詳細情報をコピー、テキストエディタなどにテキスト情報をペーストことができます。

- 同様に “イベントログをダウンロード” を選択すると、そのディスプレイのイベントログの情報をダウンロードすることができます。[イベントログ] 画面では BRAVIA Signage Player から受信したイベントログを保存、表示し、ファイルとしてダウンロードする機能がありますが、”イベントログをダウンロード” を選択することで、ディスプレイで保持しているログの情報を直接取得し、ファイルとしてダウンロードすることができます。BRAVIA Sigange Player は、ネットワークの品質が悪い場合を考慮し、イベント発生以降、通知完了まで最大 10 分以内の範囲でログの再送制御を実行します。一方で、インフラやネットワーク障害など BRAVIA Signage Player と BRAVIA Signage Server 間の通信状態が継続的に遮断されるような状況においては、本再送制御の保証範囲外となり、その状況下でイベントログを取得したい場合に、本機能を利用します。

イベントログ画面

本画面では、ディスプレイの稼働状態の変化、コンテンツの再生結果、プレイリストのダウンロード結果など、運用時の動作履歴をログとして表示します。ここではログの内容と画面の操作方法について説明します。

表示されるログについて

以下のようなイベントが表示されますが、詳細は Appendix III. イベントログ一覧 を参照ください。

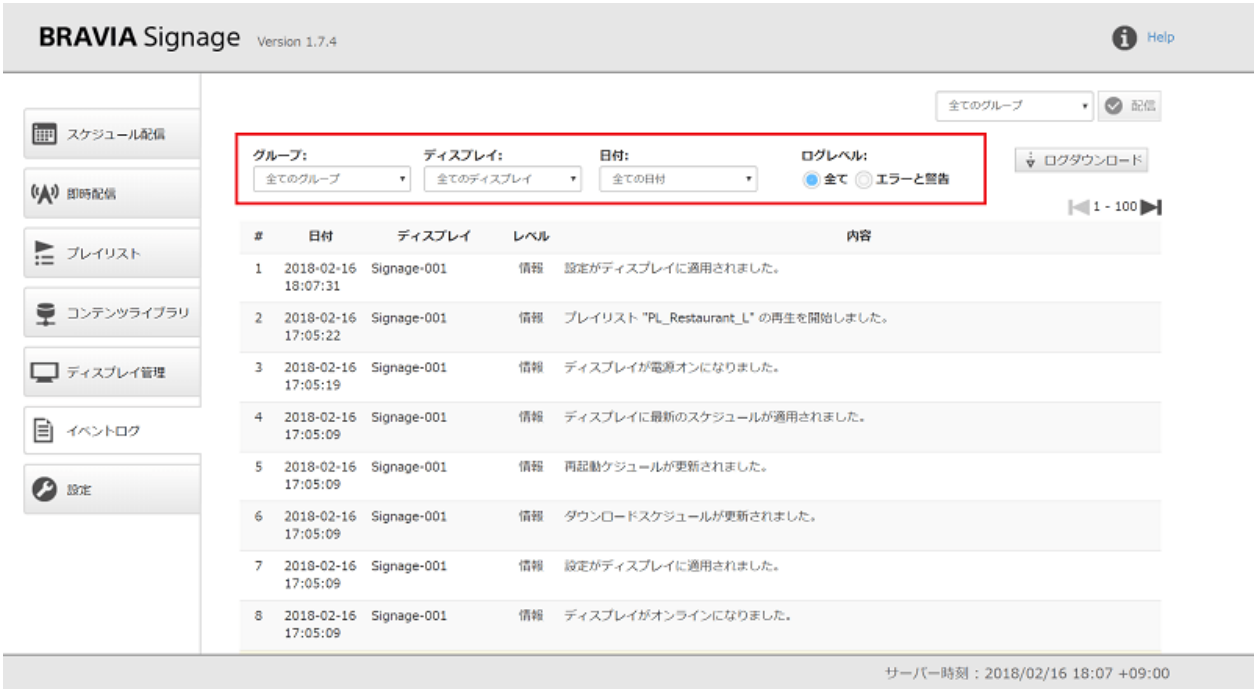
- システムの運用に関わるイベント
  - BRAVIA Signage Server の起動
  - メールレポートの送信に失敗したとき
  - BRAVIA Signage Player が接続するサーバが切替ったとき
  - ディスプレイの有効/無効を切り替えたとき
- サイネージ関連の機能に関わるイベント
  - 配信スケジュールや電源スケジュール、設定が変更されたとき
  - ディスプレイの稼働状態が変化したとき (オンライン時/オフライン時、電源オン/オフ時、再起動時)
  - プレイリストの再生状況 (再生開始と結果)
  - プレイリストのダウンロード (ダウンロード開始と実行結果)

また通知されるイベントについて、以下のようにレベル分けが定義されています。

- **情報**: 適切にサイネージの運用がされている状況下で、各イベント (スケジュール再生の開始など) の発生時に通知されます。このようなログを確認することで適切に運用がされていることを確認することができます。
- **警告**: 運用に支障が生じている、またはその可能性がある場合に通知されます。このようなログを確認した場合には、その内容に応じ、ディスプレイの稼働状態や設定内容に誤りがないかなどを確認する必要があります。
- **エラー**: ディスプレイの故障や BRAVIA Signage のソフトウェアに異常が生じたなど、異常が生じた場合に通知されます。

表示内容のフィルタリング

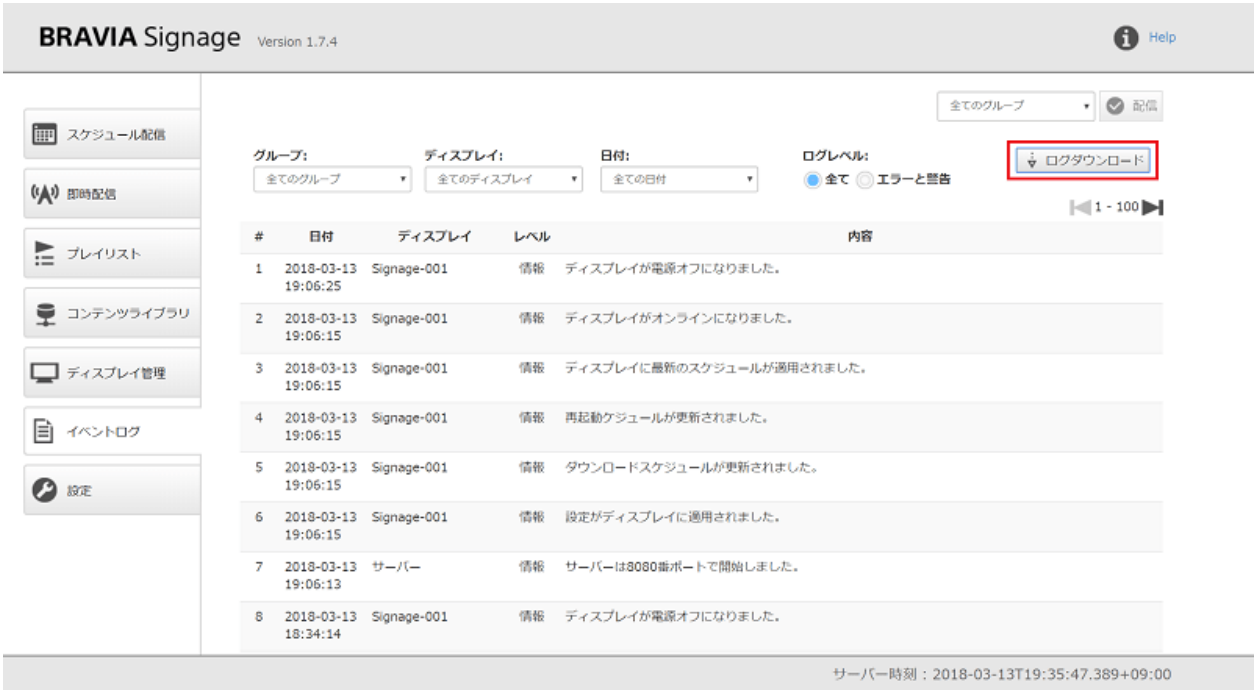
- 画面上部の選択ボックスやラジオボタンを利用することで、グループ名、ディスプレイ名、日付、ログのレベルで表示を絞り込むことができます。



ログのファイルと設定データのエクスポート

イベントログについて、日付を指定しファイルとしてダウンロードすることができます。どのような状況かどうかを技術サポート窓口に問い合わせる際に、本情報を送付することで効率的に状況を共有することができます。

- 画面右上の [ログダウンロード] ボタンを押下すると、ダイアログが開きます。このダイアログ上で日付を選択し、[ダウンロード] ボタンを押下すると、ログファイルをダウンロードすることができます。



- 最大 7 日間以内の期間で日付の指定ができます。
- ダウンロードするファイルは、CSV 形式と JSON 形式のいずれかを選択できます。
- [ログ以外の登録情報も含める] にチェックを入れると、ダウンロード時のデータベースの内容も含めてデータをダウンロードします。

設定画面

[設定] 画面では、BRAVIA Signage の設定を変更することができます。ここでは設定項目の説明をします。

ディスプレイ

- ディスプレイ管理に関する設定になります。

設定項目	値	説明
電源スケジュール	配信以外の時間帯は自動で電源オフする	[スケジュール配信] 画面で登録した配信スケジュール以外の時刻帯以外は、ディスプレイの電源オフされます。
	手動でスケジュールを指定する (初期値)	[スケジュール配信] 画面において、明示的に電源スケジュールを設定する場合に利用します。
定時再起動	する	定時再起動を有効にします。再起動時刻と合わせて設定してください。
	しない (初期値)	定時再起動を無効にします。
登録時のグループ	-	ディスプレイ登録時のグループを指定します。[ディスプレイ管理] 画面で作成したグループのうちから選択することができます。
ディスプレイ追加時の有効/無効のデフォルト値	有効 (初期値)	[ディスプレイ管理] 画面にディスプレイを追加したときの初期状態として "有効" または "無効" を指定します。
	無効	

ダウンロード

- プレイリストのダウンロードの開始条件に関する設定になります。

設定項目	値	説明
ダウンロードのタイミング	定時にダウンロードする (初期値)	毎日定刻でダウンロードします。ダウンロード時刻と合わせて設定してください。
	設定変更などの特定イベント発生時にすぐにダウンロードする	"**Appendix I. プレイリストのダウンロード仕様**" の "**ダウンロードの実行開始条件について**" を参照ください。
ダウンロード時刻	3:00 (初期値)	[ダウンロードのタイミング] が "定時にダウンロードする" の場合、その時刻を指定します。

レポート

- BRAVIA Signage には以下のような運用時に発生した問題や日々の実行結果を指定のメールアドレスへ送信するための機能があり、その設定になります。なお本機能は SMTP-AUTH (PLAIN) に対応した SMTP サーバのみに対応しています。またユーザ認証をしない場合、本機能は動作しません。

レポートされる内容

種類	説明
デイリー再生レポート	毎日午前 1 時に前日の再生結果が送信されます。
ダウンロードレポート	プレイリストのダウンロードが完了すると、そのダウンロード実行結果が送信されます。
エラーレポート	以下の種類がレポートされます。エラーが発生時にすぐに送信されます。 - ディスプレイがオフラインになったとき - 設定した電源スケジュールどおりにディスプレイの電源をオンにできなかった - 設定した電源スケジュールどおりにディスプレイの電源をオフにできなかった - 設定した電源スケジュール以外の要因でBRAVIAの電源がオンになった - 設定した電源スケジュール以外の要因でBRAVIAの電源がオフになった - プレイリストの再生の開始に失敗した - プレイリストの再生が終了したが再生できなかったものがある - コンテンツの再生ができなかった - プレイリストのダウンロードが終了したがダウンロードできなかったものがある - コンテンツのダウンロードが失敗した (リトライする) - コンテンツのダウンロードが失敗した

設定項目

設定項目	値	説明
メールレポート	する	メールレポート機能の有効または無効を指定します。
	しない (初期値)	
言語	英語 (初期値)	レポートメールの言語を英語/日本語/中国語から指定します。
	日本語	
	中国語	
レポート内容	デイリー再生レポート	有効にすると、デイリー再生レポートが送信されます。
	ダウンロードレポート	有効にすると、ダウンロードレポートが送信されます。
	エラーレポート	有効にすると、エラーレポートが送信されます。
宛先（※）	-	メールレポートの宛先を指定します。セミコロン (;) でメールアドレスを区切ることにより複数の宛先を指定することが可能です。
差出人（※）	-	メールレポートの差出人のアドレスを指定します。
SMTP サーバー（※）	-	メールレポートを送信する際に使用する SMTP サーバを指定します。フォーマットは "smtp.example.com:25" の形式でポートを含めて指定してください。
ユーザ名（※）	-	メールレポートを送信する際に使用する SMTP サーバのユーザ名を指定します。
パスワード（※）	-	メールレポートを送信する際に使用する SMTP サーバのパスワードを指定します。

（※）設定値は画面上には表示されず、設定済みの場合は「設定あり」、

未設定の場合は「未設定」と表示されます。設定値を変更する場合は、値を入力して保存してください。設定値を削除する場合は「削除」チェックボックスにチェックを入れて保存してください。

切替エフェクト

- プレイリストに複数のコンテンツが設定されている場合、そのコンテンツが切り替わる際の切替エフェクトに関する設定になります。

設定項目	値	説明
切替エフェクト	なし (初期値)	切替エフェクトは適用されません。
	フェードイン/アウト	切替エフェクトとして、フェードインとフェードアウトが適用されます。
切替エフェクト時間 (秒)	1 (初期値)	切替エフェクトの効果時間を指定します。

コンテンツライブラリ

- [コンテンツライブラリ] 画面に関する設定になります。

設定項目	値	説明
ドキュメントルート	C:\Apache24\htdocs (初期値)	設定ファイルで指定されているコンテンツライブラリのドキュメントルートフォルダのパスが表示されます。このフォルダ配下のファイルがコンテンツライブラリ管理機能の管理対象になります。

コンテンツ作成

- [コンテンツ作成] 画面に関する設定になります。

設定項目	値	説明
メニュー表示	表示	タブメニューに [コンテンツ作成] が表示されます。
	非表示 (初期値)	タブメニューに [コンテンツ作成] を表示されません。

3. 進んだ使い方と運用上の注意事項

ここでは、サイネージの運用という点で、より進んだ使い方やその注意事項について説明します。

スケジュール管理(応用編)

電源スケジュールの自動設定

[設定] 画面の [電源スケジュール] の設定において、”配信以外の時間帯は自動で電源をオフする” を指定することで、設定した配信時間帯以外は電源がオフされます。また、電源オフの時間帯に即時配信を開始すると、自動で電源がオンになり、また終了により自動で電源がオフされます。

明示的な電源スケジュールの登録

[設定] 画面の [電源スケジュール] の設定において、”手動でスケジュールを指定する” が指定されている場合、電源スケジュールの指定ができますが、配信スケジュールと電源スケジュールの時刻が重複している場合、電源スケジュールが優先されます。また重複している時刻帯の間、リモコンや [ディスプレイ管理] 画面からディスプレイの電源をオンにすると、配信スケジュールのとおりプレイリストが表示されます。

日付指定のスケジュールの登録

曜日を指定しスケジュールを登録する以外に、日付を指定しスケジュールを登録することができますが、日付指定のスケジュールの両方のスケジュールを指定した場合、当該日付の当日は、日付指定のスケジュールが優先され、曜日指定のスケジュールは無視されます。

たとえば、以下のような 2 つのスケジュールを登録した場合、

```
登録スケジュール(1)
  日付: 2/14(水)
  開始時刻: 12:00
  終了時刻: 15:00
  プレイリスト: Playlist1

登録スケジュール(2)
  曜日: 月 火 水 木 金
  開始時刻: 09:00
  終了時刻: 18:00
  プレイリスト: Playlist2
```

[1] 月曜日、火曜日、木曜日、金曜日は、09:00 から 18:00 まで Playlist2 が再生されます。 [2] 2/14(水) を除く、水曜日は、09:00 から 18:00 まで Playlist2 が再生されます。 [3] 2/14(水) は、12:00 から 15:00 まで Playlist1 が再生されます。なお、09:00 から 12:00 まで、また 15:00-18:00 までは Playlist2 は再生されません。

日をまたいだ時刻の指定

スケジュールの設定時、時刻として 24:00 以降の時刻を指定することができます。たとえば、21:00 に配信を開始し 25:00 に終了するなど、配信および電源について、00:00 から 48:00 の間で時刻を指定することができます。

なお本機能について、”**日付指定のスケジュール登録 (注意事項)**” に記載の日付指定と曜日指定のスケジュールと組み合わせて利用する際に、曜日で指定したスケジュールよりも日付を指定したスケジュールが優先されますが、以下のように注意が必要です。

[1] 24:00 を超える時刻が指定された日付指定のスケジュールを登録をした場合、その翌日は、当該日付で指定されたスケジュールおよび曜日で指定されたスケジュールの両方が動作します。たとえば、以下のような 2 つのスケジュールを登録した場合、2/15(木) は、前日の日付指定のスケジュールと当日の曜日指定のスケジュールの両方が動作します。

(例1) 2/14(水) のスケジュールと木曜日のスケジュールの両方が動作する場合

```
登録スケジュール(1)
  日付: 2/14(水)
  開始時刻: 23:00
  終了時刻: 25:00
  プレイリスト: Playlist1

登録スケジュール(2)
  曜日: 月 火 水 木 金
  開始時刻: 22:00
  終了時刻: 26:00
  プレイリスト: Playlist2

再生されるプレイリスト
  2/13(火)  00:00 から 02:00: Playlist2 が再生
            22:00 から 24:00: Playlist2 が再生
  2/14(水)  23:00 から 24:00: Playlist1 が再生
  2/15(木)  00:00 から 01:00: Playlist1 が再生
            01:00 から 02:00: Playlist2 が再生
            22:00 から 24:00: Playlist2 が再生
  2/16(金)  00:00 から 02:00: Playlist2 が再生
            22:00 から 24:00: Playlist2 が再生
```

[2] 以下のような 2 つデータを登録した場合、同じ時間帯ですが、”登録スケジュール(1)” は 2/15(木) のスケジュールとして扱われ、”登録スケジュール(2)” は 2/14(水) のスケジュールとして扱われるため、実際の動作は異なります。

```
登録スケジュール(1)
  日付: 2/15(木)
  開始時刻: 00:00
  終了時刻: 01:00
  プレイリスト: Playlist1

登録スケジュール(2)
  日付: 2/14(水)
  開始時刻: 24:00
  終了時刻: 25:00
  プレイリスト: Playlist1
```

たとえば、以下の例のようにディスプレイは動作します。

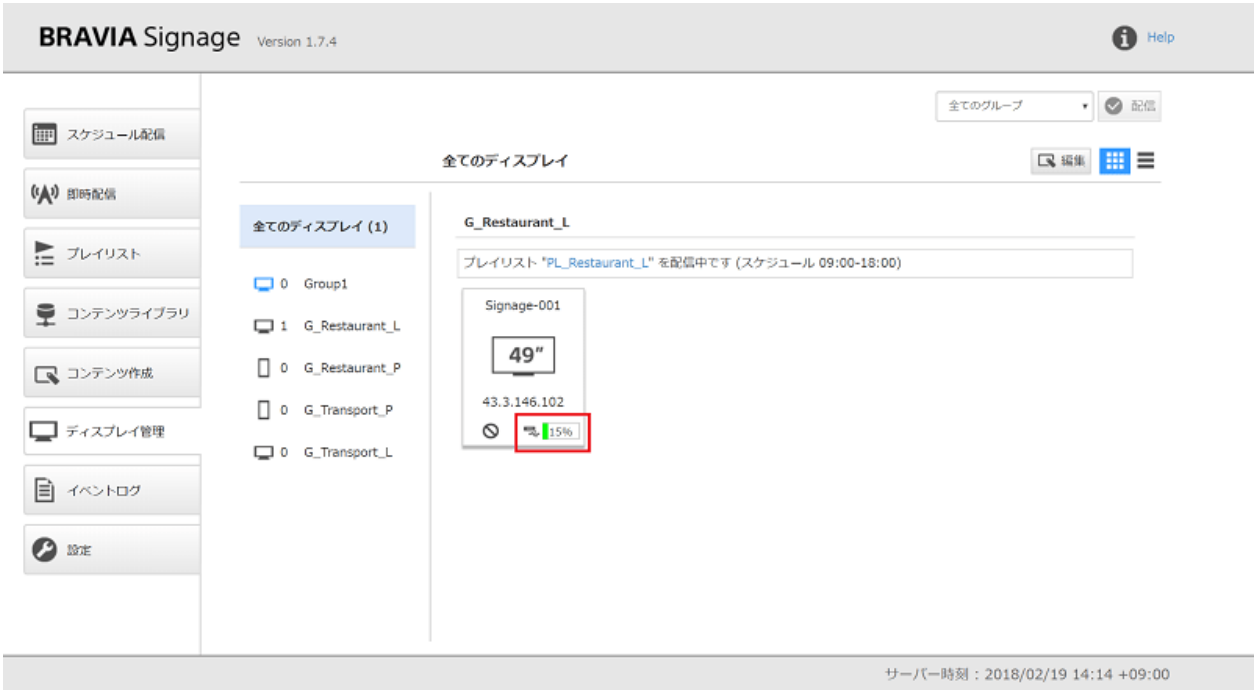
```
(例2) 2/15(木) のスケジュールが優先される場合

登録スケジュール(1)
  日付: 2/15(木)
  開始時刻: 00:00
  終了時刻: 01:00
  プレイリスト: Playlist1

登録スケジュール(2)
  曜日: 月 火 水 木 金
  開始時刻: 22:00
  終了時刻: 26:00
  プレイリスト: Playlist2

再生されるプレイリスト
  2/13(火)  00:00 から 02:00: Playlist2 が再生
            22:00 から 24:00: Playlist2 が再生
  2/14(水)  00:00 から 02:00: Playlist2 が再生
            23:00 から 24:00: Playlist2 が再生
  2/15(木)  00:00 から 01:00: Playlist1 が再生
  2/16(金)  00:00 から 02:00: Playlist2 が再生
            23:00 から 24:00: Playlist2 が再生

(例3) 2/14(水) のスケジュールが優先される場合

登録スケジュール(1)
  日付: 2/14(水)
  開始時刻: 24:00
  終了時刻: 25:00
  プレイリスト: Playlist1

登録スケジュール(2)
  曜日: 月 火 水 木 金
  開始時刻: 22:00
  終了時刻: 26:00
  プレイリスト: Playlist2

再生されるプレイリスト
  2/13(火)  00:00 から 02:00: Playlist2 が再生
            22:00 から 24:00: Playlist2 が再生
  2/14(水)  何も再生されない
  2/15(木)  00:00 から 01:00: Playlist1 が再生
            01:00 から 02:00: Playlist2 が再生
            22:00 から 24:00: Playlist2 が再生
  2/16(金)  00:00 から 02:00: Playlist2 が再生
            23:00 から 24:00: Playlist2 が再生
```

プレイリストのダウンロード運用

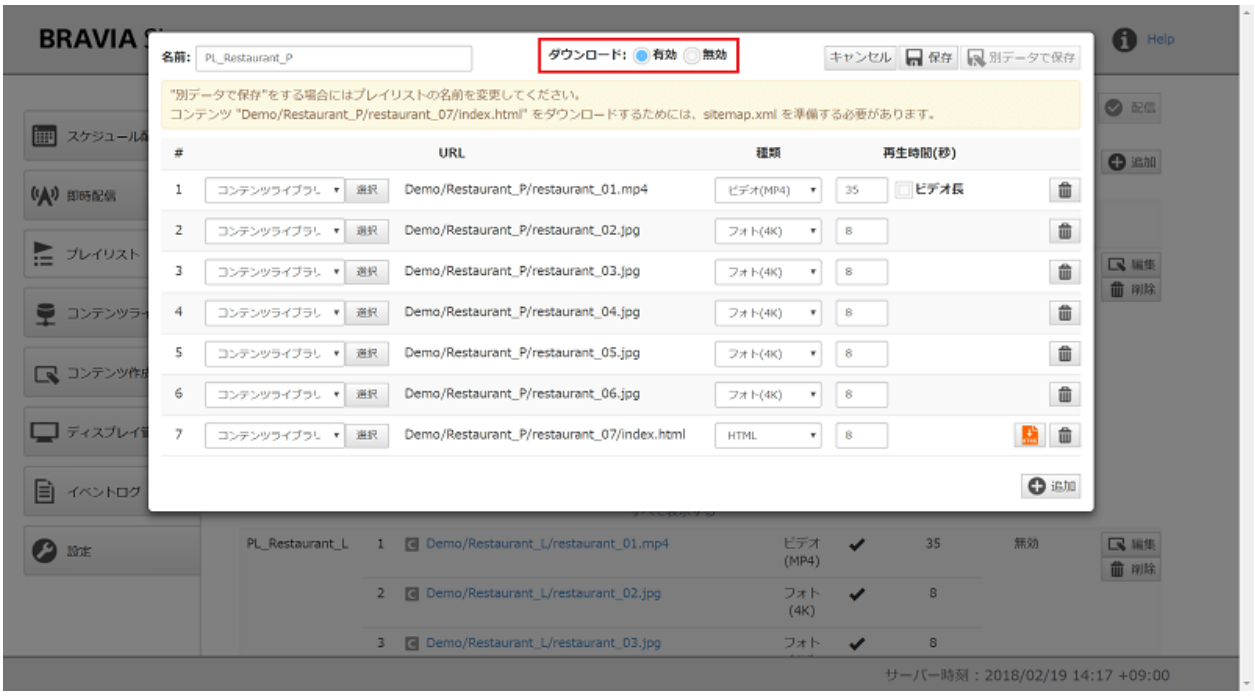
ダウンロード運用の利用の仕方

ディスプレイへプレイリストを配信し再生する際、ストリーミング再生でなく、ディスプレイに接続されている USB メモリーにコンテンツをダウンロードし、そのファイルを再生することができます。ここでは、その機能の利用の仕方を説明します。

[1] ディスプレイに USB メモリーを接続されているか確認してください。[ディスプレイ管理] 画面からも確認することができますが、各ディスプレイの情報として表示される “ストレージ” の情報がそれにあたります。なお USB メモリーが接続されてないディスプレイに対し、後述のようにダウンロード設定を行った場合、プレイリストのダウンロード処理はされず、ストリーミング再生で動作します。

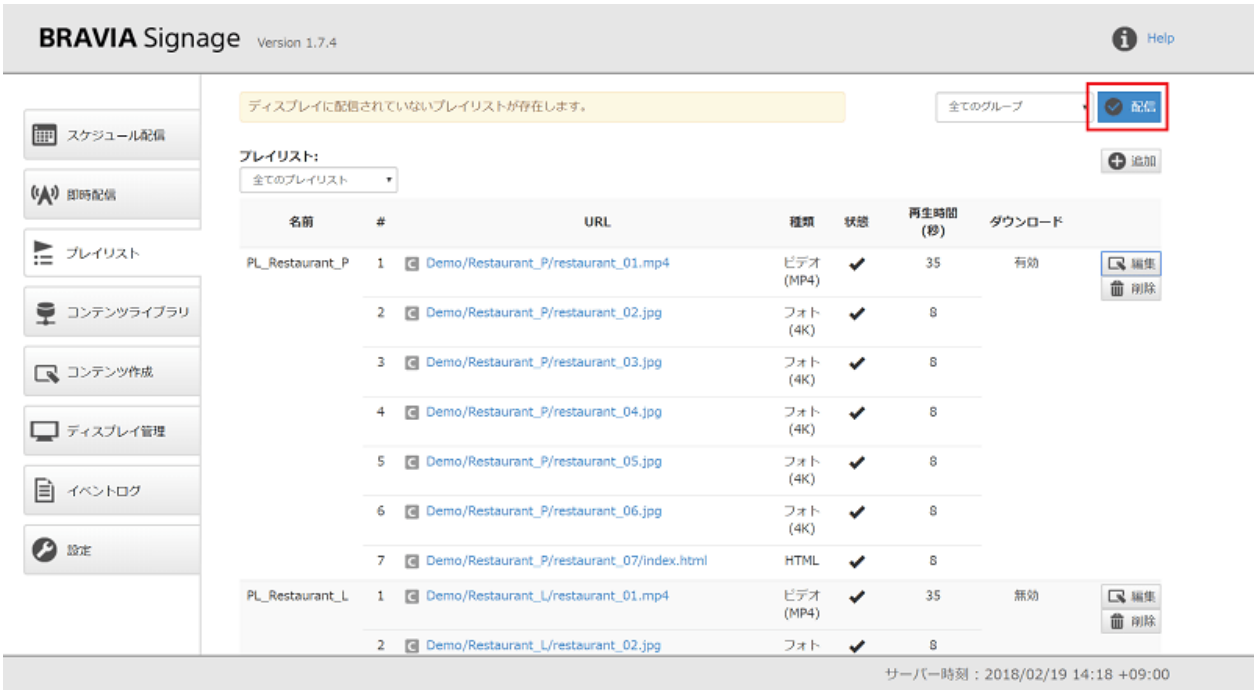


[2] [プレイリスト] 画面から、ダウンロードしたいプレイリストの [ダウンロード] の設定を “有効” に変更します。プレイリストに [種類] が “HTML” のコンテンツが含まれる場合、当該ファイルをダウンロードするためにサイトマップファイルを作成する必要があります。内容の詳細については、後述の “**サイトマップファイルの作成方法**” を参照ください。



[3] 手順 [2] で変更したプレイリストが [スケジュール配信] 画面で登録したスケジュールから参照されているものであれば、画面上部の [配信] ボタン

を押下し、変更した情報をディスプレイに配信してください。



[4] 以上で設定は完了です。[設定] 画面の [ダウンロード] の設定に応じ、ダウンロードが開始されます。[ディスプレイ管理] 画面の [ダウンロード] に表示される値からダウンロードの実行状態を確認することができます。なお、ダウンロードが完了してない状態ではストリーミング再生で配信されます。完了後にダウンロード再生に切り替わります。なお、ダウンロードの実行タイミングなどダウンロード開始条件について、Appendix I. プレイリストのダウンロード仕様 を参照ください。

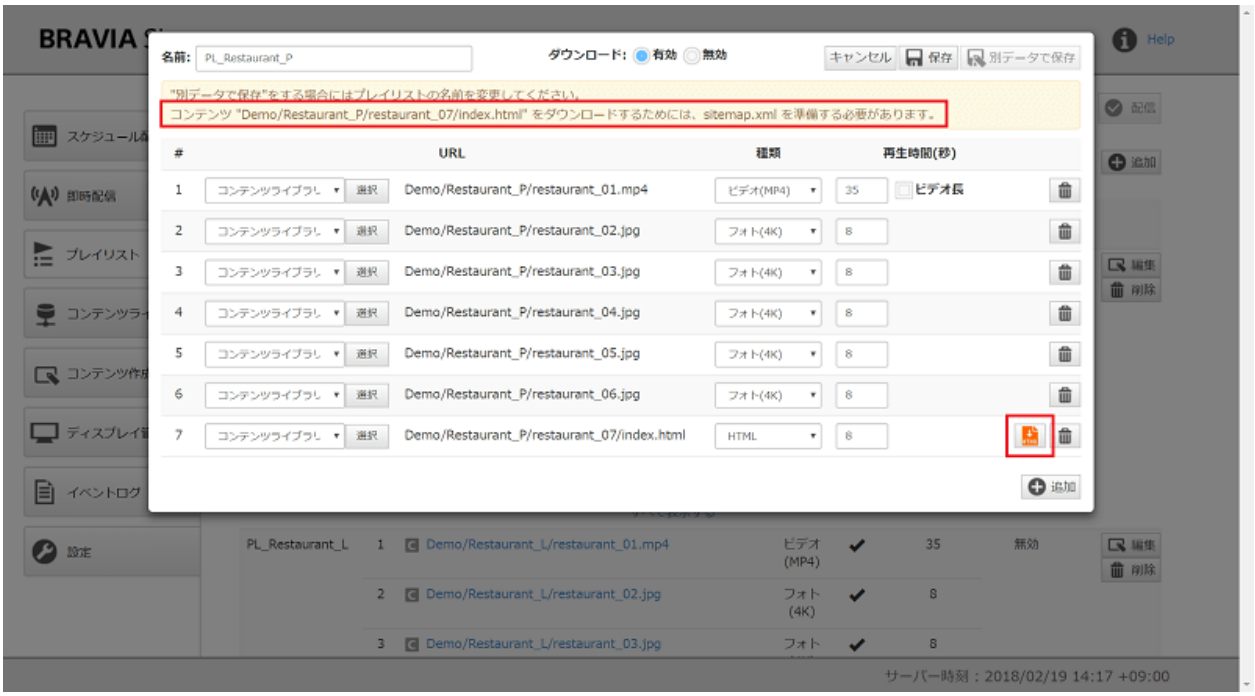
サイトマップファイルの作成方法

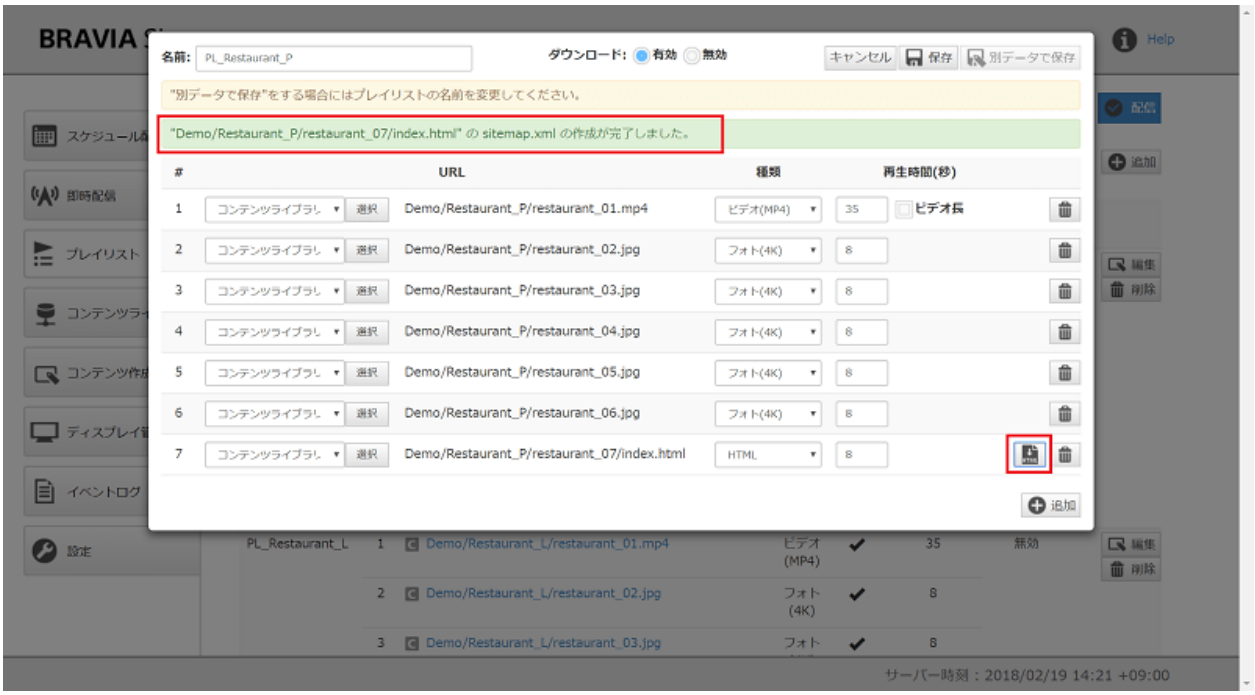
HTML コンテンツをダウンロードするためには、HTML コンテンツで使用している画像、動画、JavaScript、CSS などのファイルの URL を記述したサイトマップファイルを用意する必要があり、サイトマップファイルに記述された URL のファイルのみがダウンロードされます。 サイトマップファイルは http://www.sitemaps.org/ja/index.html で規定された XML 形式で記述する必要がありますが、本ファイルの作成方法には、以下の 2 つの方法があります。

[a] サイトマップファイル作成機能を利用する方法

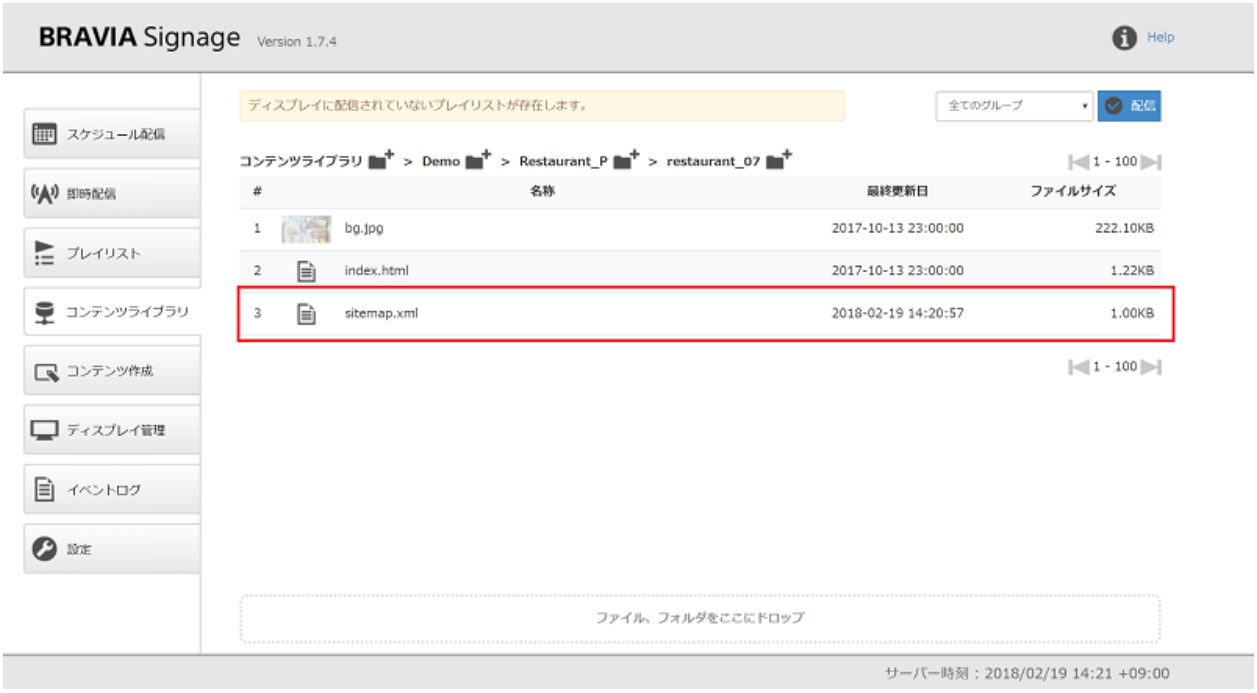
[コンテンツライブラリ] 画面にアップロードした HTML コンテンツについて、[プレイリスト] 画面が提供する機能を利用し、sitemap.xml を作成することができます。

[1] [プレイリスト] 画面において、HTML コンテンツを含むプレイリストの編集時、[ダウンロード] を “有効” に変更すると、以下のように sitemap.xml を作成するボタンが表示されます。ボタンがオレンジ色の場合、sitemap.xml がない状態、または、sitemap.xml があるが、sitemap.xml の準備後にコンテンツが更新された状態を表します。ボタンが灰色の場合、sitemap.xml が準備できた状態を表します。本ボタンを押下することで、プレイリストの URL で指定された index.html と同じ階層に sitemap.xml が生成されます。既に sitemap.xml がある状態でこのボタンを押下すると既存の sitemap.xml が上書き更新されます。




名前: PL_Restaurant_P
ダウンロード: 有効 無効
キャンセル
保存
別データで保存
"別データで保存"をする場合にはプレイリストの名前を変更してください。
"Demo/Restaurant_P/restaurant_07/index.html" の sitemap.xml の作成が完了しました。
URL 種類 再生時間(秒)
1 Demo/Restaurant_P/restaurant_01.mp4 ビデオ(MP4) 35 ビデオ長
2 Demo/Restaurant_P/restaurant_02.jpg フォト(4K) 8
3 Demo/Restaurant_P/restaurant_03.jpg フォト(4K) 8
4 Demo/Restaurant_P/restaurant_04.jpg フォト(4K) 8
5 Demo/Restaurant_P/restaurant_05.jpg フォト(4K) 8
6 Demo/Restaurant_P/restaurant_06.jpg フォト(4K) 8
7 Demo/Restaurant_P/restaurant_07/index.html HTML 8
追加
PL_Restaurant_L 1 Demo/Restaurant_L/restaurant_01.mp4 ビデオ (MP4) 35 無効
2 Demo/Restaurant_L/restaurant_02.jpg フォト (4K) 8
3 Demo/Restaurant_L/restaurant_03.jpg フォト 8
サーバー時刻：2018/02/19 14:21 +09:00

[2] [コンテンツライブラリ] 画面において、手順 [1] で sitemap.xml を作成したコンテンツのフォルダに移動し、sitemap.xml が作成されていることを確認してください。



なお本機能を利用する上で以下の制限事項があります。以下の制限の範囲でない場合、正常に sitemap.xml が生成されません。

- エントリーポイントとなる HTML は、当該コンテンツを構成するフォルダのルートフォルダに存在し、かつファイル名が “index.html” であること

[b] サイトマップファイルを自分で作成する場合

以下のように “**[a] サイトマップファイル作成機能を利用する方法**” に記載されている HTML コンテンツ以外は、自身でサイトマップファイルを作成する必要があります。

- 別のコンテンツ管理サーバを利用するなど、HTML コンテンツの管理について、[コンテンツライブラリ] 画面を利用しない場合
- 作成した HTML コンテンツのエントリーポイントとなるファイル名が index.html でない場合、または、それがルートフォルダに置かれてない場合

BRAVIA Signage の HTML コンテンツのダウンロードで利用されるサイトマップファイルについては、Appendix II. サイトマップファイル仕様 を参照ください。

コンテンツを更新した場合のダウンロードの再実行

プレイリストのダウンロード実行後、それに含まれるコンテンツが更新された場合、再度ダウンロードが必要になります。コンテンツ更新後は、Appendix I. プレイリストのダウンロード仕様 に記載のとおり、次のダウンロードの実行時に更新されます。

コンテンツライブラリの設定

別の HTTP サーバとの連携

BRAVIA Signage のインストール時、Apache HTTP Server がインストールされ、コンテンツライブラリ機能の初期設定では、コンテンツ管理サーバとして Apache を利用する設定になってます。既にコンテンツ管理サーバを運用、または自身でコンテンツ管理サーバを運用する場合は、そのサーバを利用し、本コンテンツライブラリ機能と連携することができます。ここではその設定方法について説明します。

- サーバーの設定ファイル（インストールディレクトリの ‘braviasignageserver.xml’ ）にCONTENTS_SERVER_DOCROOT の環境変数を追加し、お使いの HTTP サーバのドキュメントルートのパス文字列を指定します。
- 設定ファイル変更後にサーバーを再起動してください。
- 設定画面でドキュメントルートの設定値が反映されていることを確認してください。

```
<service>
    <id>braviasignageserver.exe</id>
    <name>BRAVIA Signage Server</name>
    <description>BRAVIA Signage Server</description>
    <executable>%BASE%\app.exe</executable>
    <arguments>--max_old_space_size=2000 -- -f "%BASE%\server\app.js" -l "BRAVIA Signage Server" -g 0.25 -w 1 -r 3 -a
n</arguments>
    <logmode>reset</logmode>
    <startmode>Automatic</startmode>
    <env name="NODE_ENV" value="production"/>
    <env name="CONTENTS_SERVER_DOCROOT" value="C:\Apache24\htdocs2"/>
</service>
```

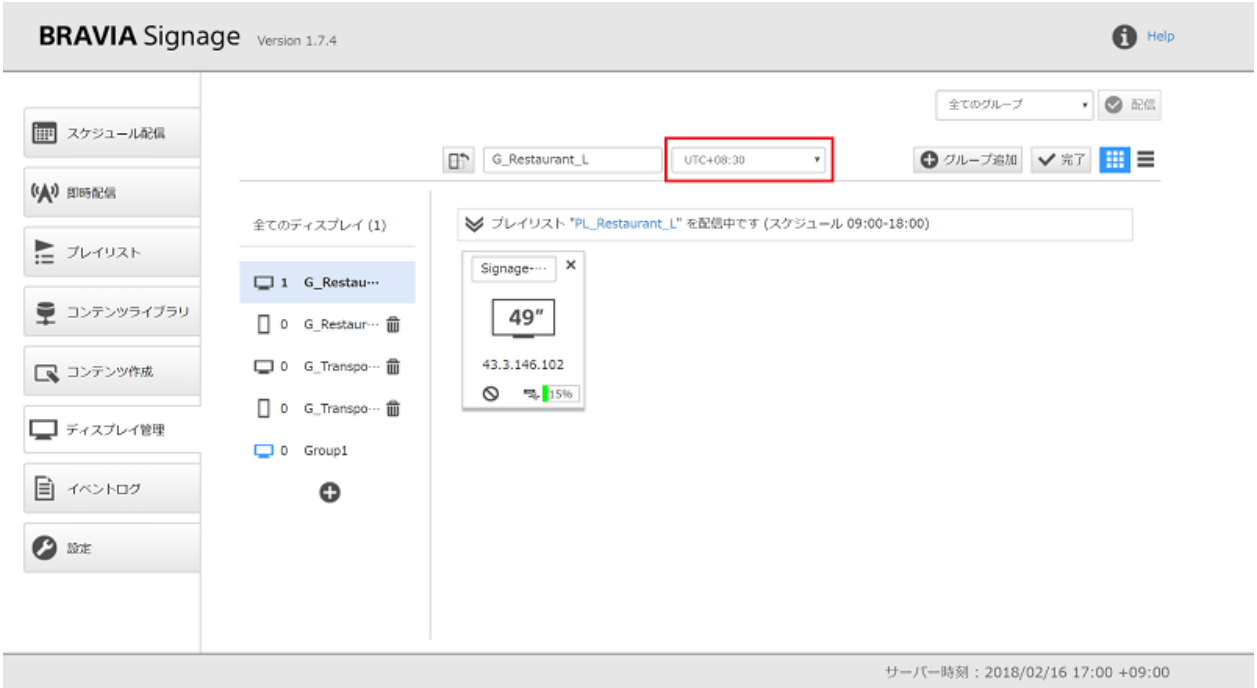
- ドキュメントルートとは、HTTP サーバに対し外部からアクセス可能な最上位のフォルダ階層を指しています。
- コンテンツ登録時、お使いの HTTP サーバのドキュメントルート配下にファイル書き込みが必要になるため、BRAVIA Signage Server が稼働しているサーバ PC から指定された HTTP サーバのドキュメントルートに対しファイル書き込みできる必要があり、ネットワーク経由でアクセスする際には、ドキュメントルートがマウントされている必要があります。

複数のタイムゾーンでの配信スケジュールの運用

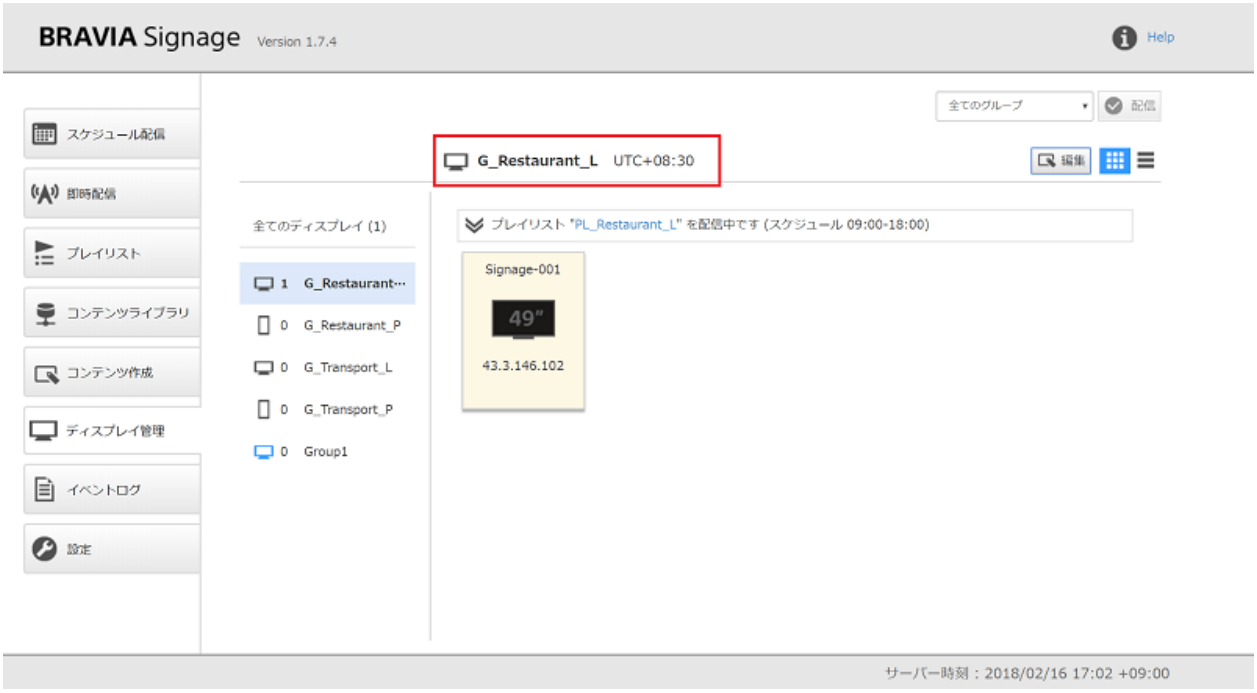
複数のタイムゾーンのある国や地域での運用において、[スケジュール配信] 画面でのスケジュール登録など時刻差を考えることなく、スケジュールの情報を管理することができます。グループにタイムゾーンの設定をすることができ、そのグループに所属するディスプレイは、設定されたタイムゾーンでの時刻を基準に動作します。

タイムゾーンの設定方法

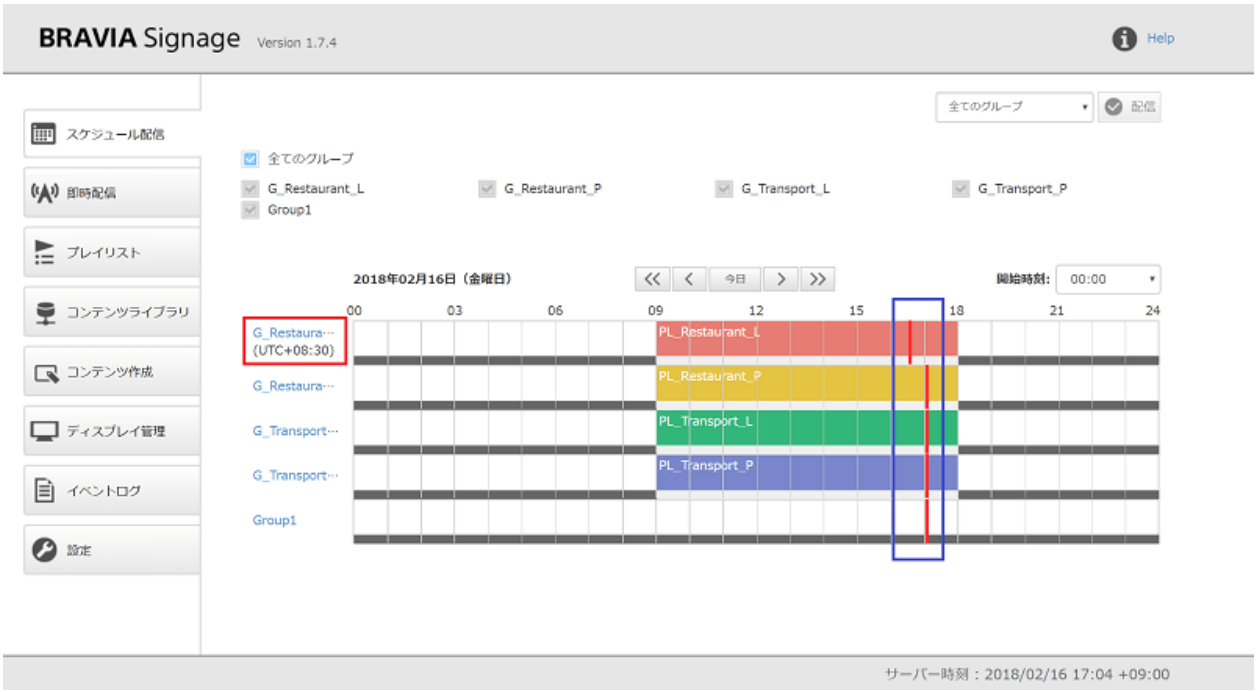
[1] [ディスプレイ管理] 画面に移動し、画面右上の [編集] ボタンを押下し、タイムゾーンの設定を変更します。



[2] 変更後、[完了] ボタンを押下すると、グループ名と合わせ、設定したタイムゾーンの情報が表示されます。ここで設定を変更したグループに所属するディスプレイはすべて再起動されます。


BRAVIA Signage
Version 1.7.4
Help
スケジュール配信
即時配信
プレイリスト
コンテンツライブラリ
コンテンツ作成
ディスプレイ管理
イベントログ
設定
全てのグループ
配信
G_Restaurant_L UTC+08:30
編集
全てのディスプレイ (1)
プレイリスト "PL_Restaurant_L" を配信中です (スケジュール 09:00-18:00)
1 G_Restaurant…
0 G_Restaurant_P
0 G_Transport_L
0 G_Transport_P
0 Group1
Signage-001
49"
43.3.146.102
サーバー時刻：2018/02/16 17:02 +09:00

[3] 手順 [2] のディスプレイの再起動後、変更したタイムゾーンと登録した配信スケジュールや電源スケジュールに従い動作します。[スケジュール配信] 画面に移動すると、手順 [1] で設定を変更したグループ名に配下にタイムゾーンが表示されていますが、サーバ時刻を基準に現在時刻を表す赤線が時刻の差分だけずれて表示されます。



メールでのレポーティング

BRAVIA Signage には運用時に発生した問題や日々の実行結果を指定のメールアドレスへ送信するための機能があります。メールでレポートされる内容は以下のとおりです。

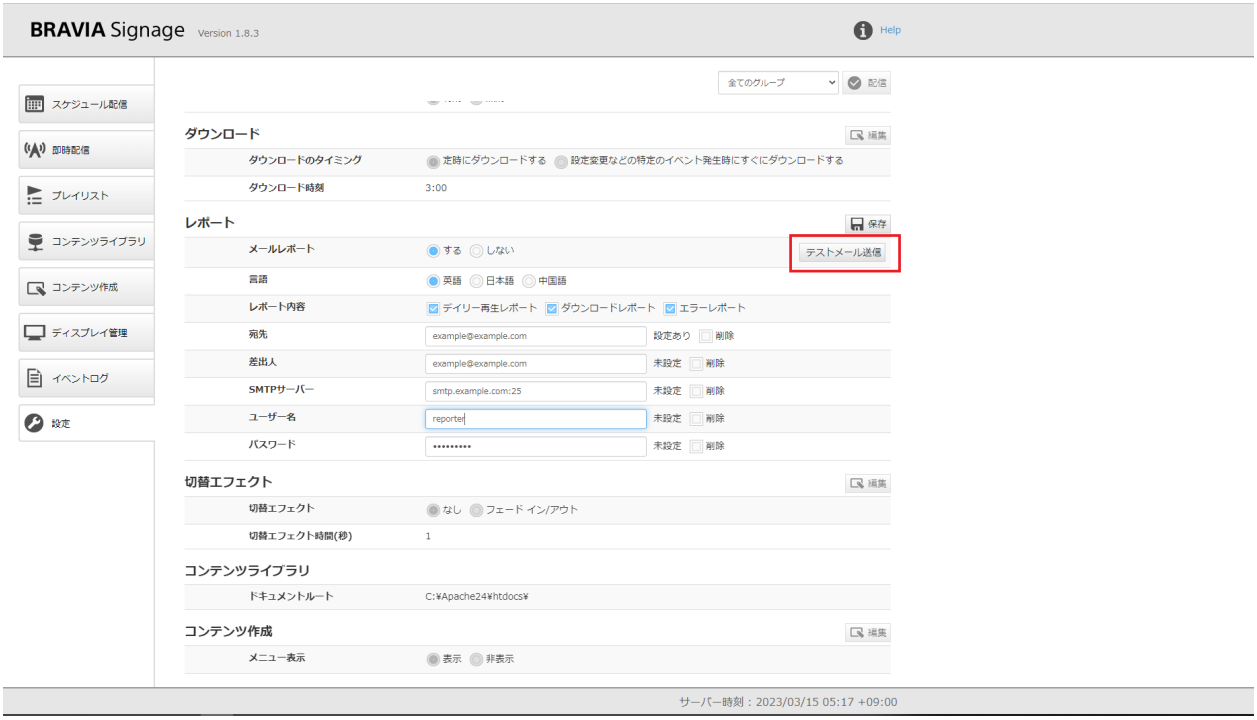
レポートされる内容

種類	説明
デイリー再生レポート	毎日午前 1 時に前日の再生結果が送信されます。
ダウンロードレポート	プレイリストのダウンロードが完了すると、そのダウンロード実行結果が送信されます。
エラーレポート	以下の種類がレポートされます。エラーが発生時にすぐに送信されます。 - ディスプレイがオフラインになったとき - 設定した電源スケジュールどおりにディスプレイの電源をオンにできなかった - 設定した電源スケジュールどおりにディスプレイの電源をオフにできなかった - 設定した電源スケジュール以外の要因でBRAVIAの電源がオンになった - 設定した電源スケジュール以外の要因でBRAVIAの電源がオフになった - プレイリストの再生の開始に失敗した - プレイリストの再生が終了したが再生できなかったものがある - コンテンツの再生ができなかった - プレイリストのダウンロードが終了したがダウンロードできなかったものがある - コンテンツのダウンロードが失敗した (リトライする) - コンテンツのダウンロードが失敗した

設定手順

[1] [設定] 画面を開き、[レポート] の内容について、設定画面 の内容を参考に設定を行ってください。

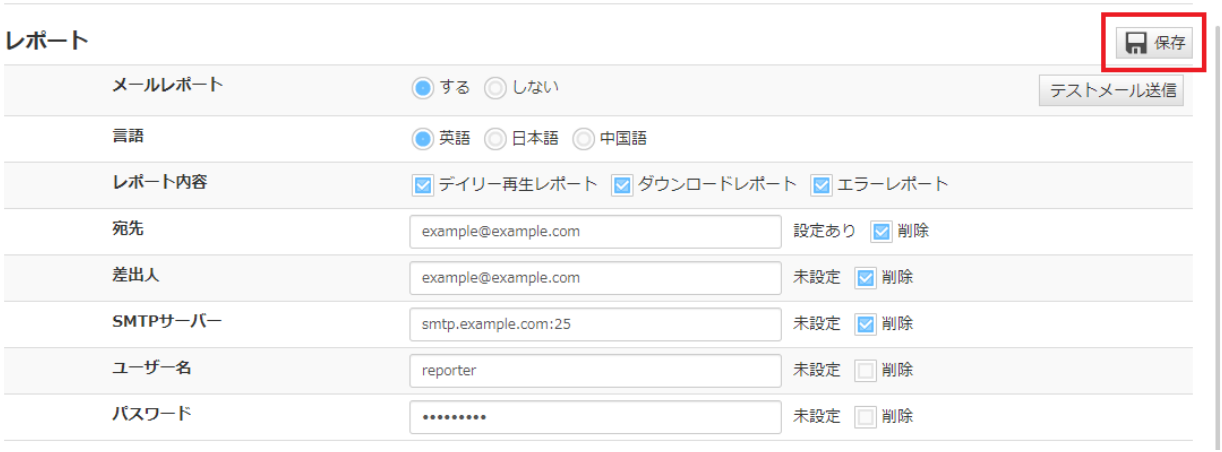
[2] 設定を保存する前に、[テストメール送信] ボタンを押下すると設定値が適切かどうか確認することができます。設定項目を入力した上で本ボタンを押下すると、SMTP サーバーやユーザ名、パスワードなど入力した内容に従いテストメール (英語) が送信されます。


BRAVIA Signage
Version 1.8.3
Help
スケジュール配信
即時配信
プレイリスト
コンテンツライブラリ
コンテンツ作成
ディスプレイ管理
イベントログ
設定
全てのグループ
配信
ダウンロード
編集
ダウンロードのタイミング
定時にダウンロードする
設定変更などの特定のイベント発生時にすぐにダウンロードする
ダウンロード時刻
3:00
レポート
保存
メールレポート
する
しない
テストメール送信
言語
英語
日本語
中国語
レポート内容
デイリー再生レポート
ダウンロードレポート
エラーレポート
宛先
example@example.com
設定あり
削除
差出人
example@example.com
未設定
削除
SMTPサーバー
smtp.example.com:25
未設定
削除
ユーザー名
reporter
未設定
削除
パスワード
未設定
削除
切替エフェクト
編集
切替エフェクト
なし
フェード イン/アウト
切替エフェクト時間(秒)
1
コンテンツライブラリ
ドキュメントルート
C:¥Apache24¥htdocs¥
コンテンツ作成
編集
メニュー表示
表示
非表示
サーバー時刻：2023/03/15 05:17 +09:00

テストメールの内容

レポート内容	件名	文章
デイリー再生レポート	[BRAVIA Signage] MAIL REPORT SETTINGS TEST for Daily Play Report	SUCCESS!!! SETTINGS for Download Report are OK.
ダウンロードレポート	[BRAVIA Signage] MAIL REPORT SETTINGS TEST for Download Report	SUCCESS!!! SETTINGS for Daily Play Report are OK.
エラーレポート	[BRAVIA Signage] MAIL REPORT SETTINGS TEST for Error Report	SUCCESS!!! SETTINGS for Error Report are OK.

[3] 設定後、[保存] ボタンを押下し、設定を確定します。



Appendix I. プレイリストのダウンロード仕様

ディスプレイへプレイリストを配信し再生する際、ストリーミング再生でなく、ディスプレイに接続されている USB メモリーにコンテンツをダウンロードし、そのファイルを再生することができます。ここではそのダウンロードの動作や注意事項について説明します。

ダウンロードの対象となるプレイリストについて

[スケジュール配信] 画面に登録されているスケジュール、および [即時配信] 画面に登録されている即時配信の情報で設定されているプレイリストのうち、ダウンロード設定が有効になっているものが対象になります。

ダウンロードの実行開始条件について

[設定] 画面の [ダウンロード] の設定内容に応じ、以下のように開始条件が変わります。

[a] “定時にダウンロードする” が指定されている場合

- 設定しているダウンロード時刻になると、ダウンロードが実行されます。

[b] “設定変更などの特定のイベント発生時にすぐにダウンロードする” が指定されている場合

以下のようにプレイリストの利用状況によって、ダウンロードの実行開始条件が変わります。

- [スケジュール配信] 画面において登録されているスケジュールから参照されているプレイリスト
  - 画面上部の [配信] ボタンを押下時
  - ディスプレイの起動時など、ネットワーク接続状態が “オフライン” から” オンライン” になったとき
- [即時配信] 画面において登録されている配信情報から参照されているプレイリスト
  - [即時配信] 画面にて、該当の即時配信の情報の [保存] ボタンの押下時
  - [プレイリスト] 画面にて、該当のプレイリストの [保存] ボタン押下時
  - ディスプレイの起動時など、ネットワーク接続状態が “オフライン” から” オンライン” になったとき

情報更新時の動作について

プレイリストの情報が更新された場合およびコンテンツが更新された場合について、ダウンロードの再実行処理は以下のようになります。

[a] ダウンロード対象のプレイリストが更新された場合

- 上記の“**ダウンロードの実行開始条件について**”のようにダウンロード開始時、BRAVIA Signage Player はスケジュール再生や即時配信に含まれる最新のプレイリストの情報を参照し、ダウンロードしたコンテンツの削除や更新を行います。

[b] ダウンロードしたコンテンツが更新された場合

- 同様にダウンロード開始時、BRAVIA Signage はダウンロード済みの URL に対し、コンテンツの更新状況を確認し、その結果に応じコンテンツの更新ダウンロードを行います。なお、BRAVIA Signage ではコンテンツが更新されたかどうかを確認するために、HTTP レスポンスの Last-Modified ヘッダまたは Etag ヘッダの内容を確認しています。これらのヘッダが応答に含まれない場合、ダウンロードが開始されるタイミングで、更新されてないコンテンツについても常にダウンロード処理が実行されます。

ダウンロードが完了してないコンテンツの再生方法

ダウンロード対象のプレイリストについて、ダウロードが完了してない場合、当該コンテンツはストリーミング再生されます。ダウンロード完了後にファイル再生に切り替わります。

そのほか注意事項

- BRAVIA Signage ではダウンロードしたコンテンツをディスプレイに接続した USB メモリーに保存しますが、PC などから直接 USB メモリーにコンテンツをコピーしても、ダウンロードしたコンテンツとして認識されません。
- ディスプレイに接続する USB メモリーは 1 本のみ対応しております。複数の USB メモリーの利用には対応しておりません。

Appendix II. サイトマップファイル仕様

HTML コンテンツをダウンロードするためには、HTML コンテンツで使用している画像、動画、JavaScript、CSS などのファイルの URL を記述したサイトマップファイルを用意する必要があり、サイトマップファイルに記述された URL のファイルのみがダウンロードされます。 サイトマップファイルは http://www.sitemaps.org/ja/index.html で規定された XML 形式で記述する必要があります。

ここでは、BRAVIA Signage において HTML コンテンツのダウンロードで利用されるサイトマップファイルについて説明します。

サイトマップファイルのパス名

サイトマップファイルの名前は sitemap.xml とし、プレイリストの URL に指定された HTML と同じ階層か、より上位の階層に配置する必要があります。

例)

URL に指定された HTML の URL:

- http://www.example.com/app/index.html

サイトマップファイルの URL (以下のいずれかが有効となります):

- http://www.example.com/app/sitemap.xml
- http://www.example.com/sitemap.xml

サイトマップで定義されるのタグ名

BRAVIA Signage の HTML コンテンツのダウンロードで使用されるタグ名は以下のとおりです。

タグ名	親タグ名	指定	説明
urlset	-	必須	ルートタグ。xmlns 属性に以下の値を指定してください。 "http://www.sitemaps.org/schemas/sitemap/0.9"
url	urlset	必須	ダウンロード対象の URL の親タグになります。
loc	url	必須	ダウンロード対象の URL を指定してください。

なお、サイトマップファイルに記述できる URL は sitemap.xml の URL と同じスキーム、かつ、sitemap.xml と同じ階層か、より下位の階層である必要があります。

例)

サイトマップファイルの URL:

- http://www.example.com/app1/sitemap.xml

サイトマップに記述できる URL:

- http://www.example.com/app1/app1.js
- http://www.example.com/app1/image/image.jpg

サイトマップに記述できない URL:

- http://www.example.com/app2/app2.js
- http://www.example.com/style.css
- https://www.example.com/app1/app1.js

サイトマップファイルのサンプル

BRAVIA Signage の HTML コンテンツのダウンロードに使用されるサイトマップファイルのサンプルになります。なお、以下の内容のサイトマップのサンプルは提供物に同梱されています。

例) sitemap.xml の例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<urlset xmlns="http://www.sitemaps.org/schemas/sitemap/0.9">
  <url>
    <loc>http://www.example.com/app/video/video.mp4</loc>
  </url>
  <url>
    <loc>http://www.example.com/app/main.js</loc>
  </url>
  <url>
    <loc>http://www.example.com/app/style.css</loc>
  </url>
</urlset>
```

そのほか

- HTML コンテンツを作成する際、HTML ファイルから画像、動画、JavaScript、CSS などを指定するには相対パスで記述してください。”http://” や “https://” などで始まる URL で記述したファイルはダウンロードしたファイルではなく、指定された URL からネットワークで直接取得されます。

Appendix III. イベントログ一覧

- **システムの運用の機能に関わるイベント**

通知内容	レベル	説明
サーバーは 8080 番ポートで開始しました。	情報	BRAVIA Signage Server の起動時に通知されます。
メールレポートの送信に失敗しました。	警告	[設定] 画面のメールレポートの設定が適切でないか、メールレポートを送信するときのディスプレイのネットワーク接続状態がオフラインとなっているなど、メールレポートの送信に失敗したときに通知されます。
サーバーの切り替えを開始しました。	情報	SIer 向け機能 (外部公開 API) を利用し、BRAVIA Signage Player が接続するサーバを切り替えたときに通知されます。
サーバーの切り替えに失敗しました。	警告	SIer 向け機能 (外部公開 API) を利用し、BRAVIA Signage Player が接続するサーバを切り替え、処理に失敗したときに通知されます。
ディスプレイの有効/無効が切り替わりました。	情報	[ディスプレイ管理] 画面において、有効/無効を切り替えたときに通知されます。

- **サイネージの運用に関わるイベント**

通知内容	レベル	説明
(1) ディスプレイの稼働状態 (オンライン/オフライン) の通知		
ディスプレイがオンラインになりました。	情報	ディスプレイの稼働状態がオフラインからオンラインになったときに通知されます。
ディスプレイがオフラインになりました。	警告	ディスプレイの稼働状態がオンラインからオフラインになったときに通知されます。ディスプレイがネットワークにつながれているか確認してください。 なお、ディスプレイの再起動時や config.txt が保存された USB メモリーの接続時もオフラインになります。
ディスプレイを再起動します。	情報	ディスプレイを再起動したときに通知されます。
(2) ディスプレイの稼働状態 (電源オン/電源オフ) の通知		
ディスプレイが電源オンになりました。	情報	設定した電源スケジュールどおりにディスプレイの電源がオンになると通知されます。
ディスプレイが電源オフになりました。	情報	設定した電源スケジュールどおりにディスプレイの電源がオンになると通知されます。
ディスプレイが電源オンになりませんでした。	エラー	設定した電源スケジュールどおりにディスプレイの電源をオンにできなかった場合に通知されます。本エラーが発生した場合、以下の点を確認してください。(原因は以下に限りません) - ディスプレイ本体の Pre-Shared キーの設定 と config.txt の設定の整合性 - ディスプレイ本体の再起動後、[スケジュール配信] 画面から 電源オン/オフが制御できるかどうか - ディスプレイ本体が故障してないかどうか
ディスプレイが電源オフになりませんでした。	エラー	設定した電源スケジュールどおりにディスプレイの電源をオフにできなかった場合に通知されます。本エラーが発生した場合、以下の点を確認してください。(原因は以下に限りません) - ディスプレイ本体の Pre-Shared キーの設定 と config.txt の設定の整合性 - ディスプレイ本体の再起動後、[スケジュール配信] 画面から 電源オン/オフが制御できるかどうか - ディスプレイ本体が故障してないかどうか
ディスプレイが電源オンになりました。	警告	設定した電源スケジュール以外の要因 (以下) でディスプレイの 電源がオンになった場合、通知されます。以下の操作が想定しているものかどうかを確認し、想定外の場合、運用に支障がある可能性があります。 - ディスプレイ本体の設定 (省電力設定) - リモコン操作による電源オン

ディスプレイが電源オフになりました。	警告	設定した電源スケジュール以外の要因 (以下) でディスプレイの 電源がオフになった場合、通知されます。以下の操作が想定しているものかどうかを確認し、想定外の場合、運用に支障がある可能性があります。 - ディスプレイ本体の設定 (省電力設定) - リモコン操作による電源オフ
(3) 管理 Web アプリでの設定変更		
ディスプレイに最新のスケジュールが適用されました。	情報	ディスプレイに対し再生スケジュールが配信されたときに通知されます。
電源スケジュールが更新されました。	情報	[スケジュール配信] 画面から電源スケジュールの更新がされたときに通知されます。
ダウンロードスケジュールが更新されました。	情報	>ディスプレイとサーバを接続する際に通知されます。
再起動スケジュールが更新されました。	情報	>ディスプレイとサーバを接続する際に通知されます。
設定がディスプレイに適用されました。	情報	[設定] 画面から設定内容の更新がされたときに通知されます。
(4) スケジュール配信に関する再生開始/結果通知		
プレイリスト {プレイリスト名} の再生を開始しました。	情報	プレイリストの再生開始時に通知されます。
プレイリスト {プレイリスト名} の再生が正常に終了しました。	情報	プレイリストの再生が正常に終了した場合に通知されます。
プレイリスト {プレイリスト名} の再生が開始できませんでした。	警告	プレイリストの再生の開始に失敗した場合に通知されます。 設定したプレイリストに適切か、参照しているコンテンツへアクセスは可能かなどを確認してください。
プレイリスト {プレイリスト名} の再生が終了しましたが再生に失敗したコンテンツがあります。	警告	プレイリストの再生が終了したが、コンテンツ再生できなかったものがある場合に通知されます。設定したプレイリストに適切か、参照しているコンテンツへアクセスは可能かなどを確認してください。
コンテンツ {URL} の再生に失敗しました。	警告	上記と合わせ、再生ができなかった場合に通知されます。
(5) 即時配信に関する再生開始/結果通知		
即時配信としてプレイリスト {プレイリスト名} の再生を開始しました。	情報	プレイリストの再生開始時に通知されます。
即時配信としてプレイリスト {プレイリスト名} の再生が正常に終了しました。	情報	プレイリストの再生が正常に終了した場合に通知されます。
即時配信としてプレイリスト {プレイリスト名} の再生が開始できませんでした。	警告	プレイリストの再生の開始に失敗した場合に通知されます。 設定したプレイリストに適切か、参照しているコンテンツへアクセスは可能かなどを確認してください。
即時配信としてプレイリスト {プレイリスト名} の再生が終了しましたが再生に失敗したコンテンツがあります。	警告	プレイリストの再生が終了したが、コンテンツ再生できなかったものがある場合に通知されます。設定したプレイリストに適切か、参照しているコンテンツへアクセスは可能かなどを確認してください。
コンテンツ {URL} の再生に失敗しました。	警告	上記と合わせ、再生ができなかった場合に通知されます。
(6) ダウンロードに関する開始/結果通知		
プレイリスト {プレイリスト名} のダウンロードを開始しました。	情報	ダウンロードの開始時に通知されます。
プレイリスト {プレイリスト名} のダウンロードが正常に終了しました。	情報	ダウンロードが正常に終了した場合に通知されます。
プレイリスト {プレイリスト名} のダウンロードが正常に終了しました。ダウンロードが必要なコンテンツはありませんでした。	情報	ダウンロードを実行したが、更新されたコンテンツがなかった場合に通知されます。

プレイリスト {プレイリスト名} のダウンロードが終了しましたがダウンロードに失敗したコンテンツがあります。	警告	ダウンロードが終了したが、コンテンツダウンロードできなかったものがある場合に通知されます。
コンテンツのダウンロードに失敗しました。リトライします。	警告	ダウンロードが失敗した場合に通知されます。本通知受信後、ダウンロードの再開予定があります。
コンテンツのダウンロードに失敗しました。	警告	ダウンロードが失敗した場合に通知されます。ディスプレイとサーバとの接続状況やネットワーク環境を確認の上、必要に応じ再度ダウンロードを実行してください。
プレイリスト {プレイリスト名} のダウンロード済みコンテンツを削除しました。	情報	ダウンロード完了後、プレイリストのダウンロード設定を無効にすることによりダウンロードしたコンテンツは削除されます。コンテンツ削除後、本メッセージが通知されます。

Appendix IV. config.txt 仕様

config.txt は、BRAVIA Signage Player の設定ファイルです。本ファイルを USB メモリーのルートフォルダに保存し、BRAVIA Signage Player がインストールされたディスプレイの USB ポートに接続すると、config.txt に記載した設定に基づき設定されます。ここでは、config.txt 仕様について説明します。

ファイル形式

- JSON フォーマットで記載し、ファイル保存時のエンコーディングは UTF-8 で作成を行ってください。
- なお Byte Order Mark が付与された config.txt について、一部のディスプレイでは利用することができず、USB メモリーを接続しても BRAVIA Signage Player の設定画面が起動しないことがあります。ご利用のテキストエディタの種類に応じ、保存時に Byte Order Mark を付与するようなものがありますので config.txt の作成や編集においてはご注意ください。

設定値仕様

- config.txt に設定する設定項目は以下のとおりです。

項目名	型	指定	説明
settings	Object	必須	BRAVIA Signage Player に関する設定を表します。
server	String	必須	BRAVIA Signage Server の URL を "http://[サーバー PC のアドレス]:[ポート番号]" の形式で指定します。 例) http://192.168.100.100:8080 設定できるURLの最大長は 160 文字です。160 文字を超えた部分は切り捨てられます。
tv-name	Number	必須	管理 Web アプリで表示されるディスプレイの名前を指定します。(ディスプレイに付けた名前はあとから管理 Web アプリから変更することができます。) 設定できる文字列の最大長は 20 文字です。20 文字を超えた部分は切り捨てられます。" (半角ダブルクォート) と \ (半角円記号) 以外の任意のユニコード文字を指定することができます。
connection-error	Object	任意	BRAVIA Signage Player から BRAVIA Signage Server への接続エラーに関する設定を表します。
initial-timeout	Number	任意	BRAVIA Signage Player　の初回設定時 (初回接続時) において、接続エラーを判断するまでのタイムアウト(秒)を指定します。省略時の値は、60 秒となります。
timeout	Number	任意	接続エラーを判断するまでのタイムアウト(秒)を指定します。"-1" を指定した場合はタイムアウトなしとなり、接続エラーの画面が出力されることはありません。"60" 未満の場合は 60 秒が設定されます。省略時の値は、300 秒となります。なお、BRAVIA Signage Server と Player の接続状況に応じ 指定した時間より 1〜2 分程度、エラー画面の表示が遅れることがあります。
reboot	Boolean	任意	接続エラー時にディスプレイを再起動するかどうかを指定します。 true: 接続エラー時、ディスプレイにエラー画面を表示せず再起動します。 false: 接続エラー時、ディスプレイにエラー画面を表示します。 省略時の値は、falseとなります。
override	Boolean	任意	USB メモリーを挿入した時に、BRAVIA Signage Player に既に設定されている server と tv-name の値をUSBメモリに保存したソフトウェア設定ファイルで強制的に上書きするかどうかを指定します。 true: USB メモリーに保存したソフトウェア設定ファイルの内容を強制的に BRAVIA Signage Player に設定します。管理 Web アプリからディスプレイの名前を変更した場合もソフトウェア設定ファイルの内容で上書きされます。 false: BRAVIA Signage Player に既に設定されている server と tv-name の値が使用されます。管理 Web アプリで変更した値がそのまま使用されます。 省略時の値は、false となります。なお初回設定時は値によらず true に設定した場合の動作となります。
ssl-authentication	Boolean	任意	サーバとの SSL 通信時、サーバ証明書を検証するかどうかを指定します。 true: 証明書の検証を有効 false: 証明書の検証を無効 省略時の値は、falseとなります。
connection	Object	任意	BRAVIA Signage Server との通信プロトコルに関する設定を表します。
transports	Array	任意	BRAVIA Signage Server との通信で利用する接続プロトコルを指定します。 websocket のみを指定: BRAVIA Signage Server との通信において websocket を利用します。 polling のみを指定: BRAVIA Signage Server との通信において HTTP Long Polling を利用します。 両方を指定: BRAVIA Signage Server との通信において、原則 websocket が利用されますが、何らかの理由により websocket を利用できない場合は HTTP Loing Polling を利用します。 省略時の値は、websocket を利用します。
pre-shared-key	String	任意	ディスプレイ本体に設定された Pre-Shared キーの値を指定します。ディスプレイに Pre-Shared キーが設定されている場合のみ指定してください。
version	String	必須	本設定ファイルのバージョンを指定します。"1" を指定します。

config.txt のサンプル

以下に作成例を示します。

- **作成例 (1)**
  BRAVIA Signage Player は BRAVIA Signage Server に接続できない場合に、300 秒でタイムアウトし、エラーが画面が表示されます。

```
{
  "settings" : {
      "server" : "http://example.com:8080",
      "tv-name" : "Signage-001",
      "connection-error" : {
          "timeout" : 300,
          "reboot" : false
      },
      "override" : false
  },
  "version" : "1"
}
```

- **作成例 (2)**
  BRAVIA Signage Player は BRAVIA Signage Server と接続が切れても、エラー画面を表示せず、ダウンロードされたコンテンツとスケジュールで再生を続けます。

```
{
  "settings" : {
      "server" : "http://example.com:8080/",
      "tv-name" : "Signage-001",
      "connection-error" : {
          "timeout" : -1,
          "reboot" : false
      },
      "override" : false
  },
  "version" : "1"
}
```

- **作成例 (3)**

```
{
  "settings" : {
      "server" : "http://example.com:8080",
      "tv-name" : "Signage-001",
      "connection-error" : {
          "initial-timeout" : 120,
          "timeout" : 300,
          "reboot" : true
      },
      "override" : true,
      "ssl-authentication" : true,
      "connection" : {
          "transports" : ["websocket", "polling"]
      },
      "pre-shared-key" : "1234"
  },
  "version" : "1"
}
```

Appendix V. m3u8 ファイルについて

BRAVIA Signage では、HTTP Live Streaming の仕組みを利用し、コンテンツを配信することができます。.m3u8 ファイルと .ts ファイルを用いて実現することができ、ここでは、.m3u8 ファイルについて説明します。

.m3u8 ファイルの記載例は以下のとおりです。

```
#EXTM3U
#EXT-X-VERSION:3
#EXTINF:100.00,
sample_1.ts
#EXTINF:100.00,
sample_2.ts
#EXT-X-ENDLIST
```

上記の記載例で利用しているタグの説明を以下に示します。

タグ名	説明
EXTM3U	ファイル形式を表しています。
EXT-X-VERSION	ファイル形式のバージョン番号を表しています。
EXTINF	次の行に記載する .ts ファイルの再生時間を表しています。
EXT-X-ENDLIST	プレイリストの末尾であることを表しています。